



千葉工業大学

学生生活アンケート集計報告 2018年度

トピックス



学部・大学院

集計結果



学部・大学院

※学部または大学院をクリックしてください。

2019年3月

学生委員会

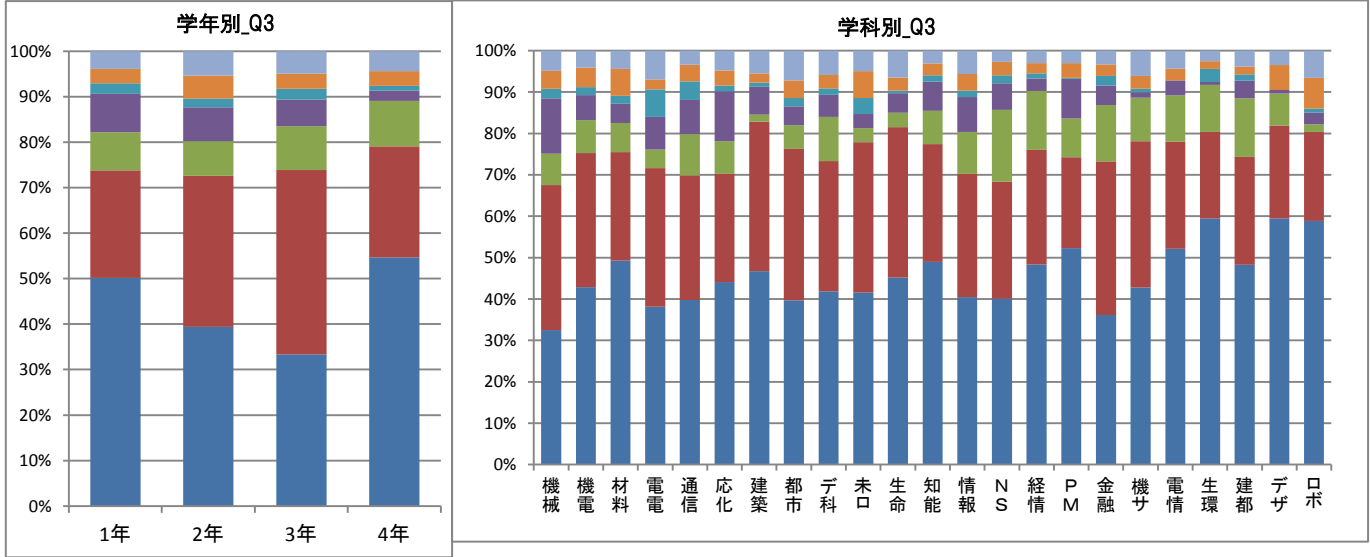
1. 時間割の検証

時間割の状況に関するデータ

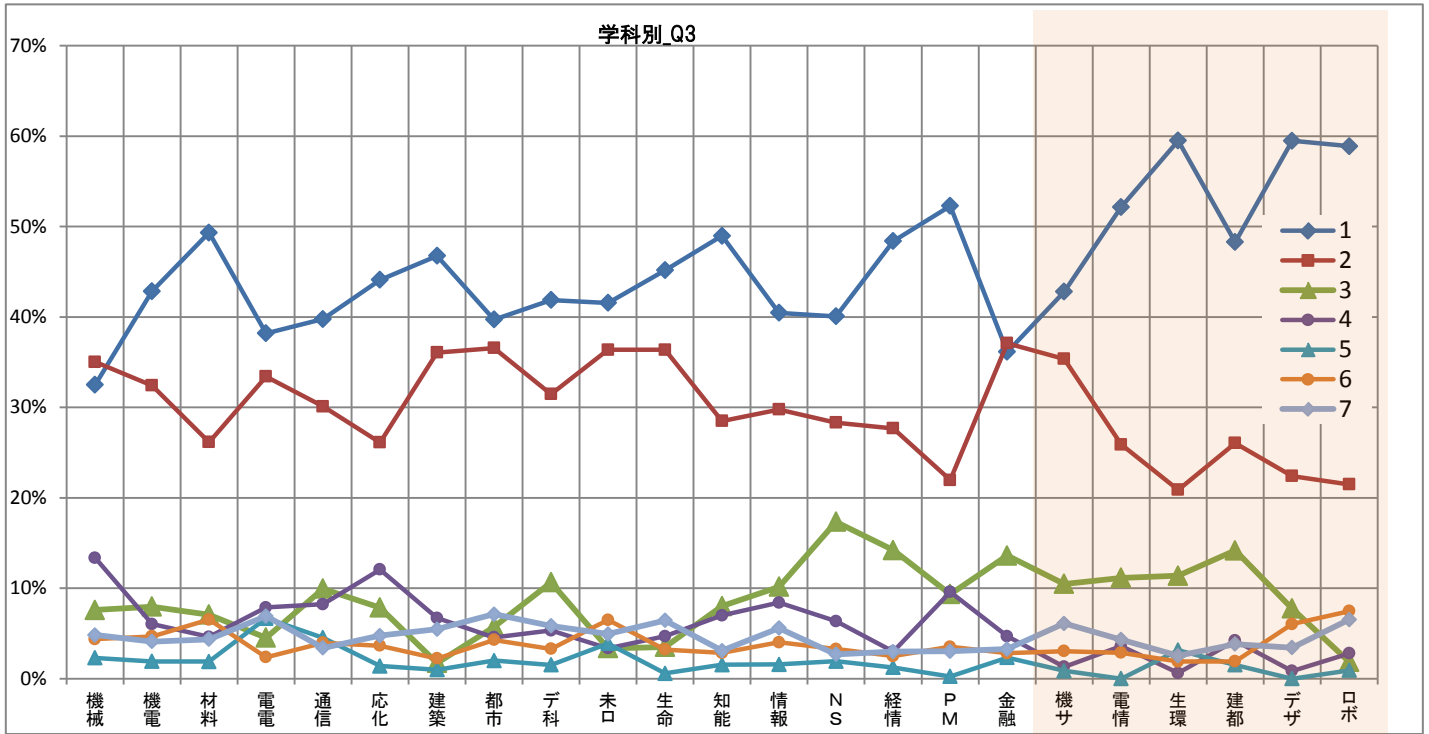
[所見]

時間割の満足度では、学年別において他の満足度と同様に1・4年次に比べ2・3年次が低くなる傾向にある。特に4年次の満足度が高い傾向にあるのは、研究室での活動が大半を占める状況になり、他の学年に比べて時間割上の制約が緩和されるためと考えられる。また、不満の要因では、学期による偏りや授業と授業の空き時間に比べ、曜日による科目数の偏りを不満と感じる傾向が強く、全体的な満足に影響している。また、学期間の偏りでは、前期に偏りを感じている傾向にある。また今回の調査では、学科別で見ると機械と金融が比較的に低い傾向であった。

■03_現在の時間割についてどのように感じていますか



- 1 満足している
- 2 曜日によって開講科目数に偏りがある
- 3 授業と授業の間に空き時間がある
- 4 前期の開講科目数が多すぎる
- 5 後期の開講科目数が多すぎる
- 6 科目の内容により週2回授業があったほうがよい
- 7 その他



[グラフ&集計方法の解説]

時間割についての感じている事⇒Q3について、各回答の割合を学年別、学科別にグラフ化した。

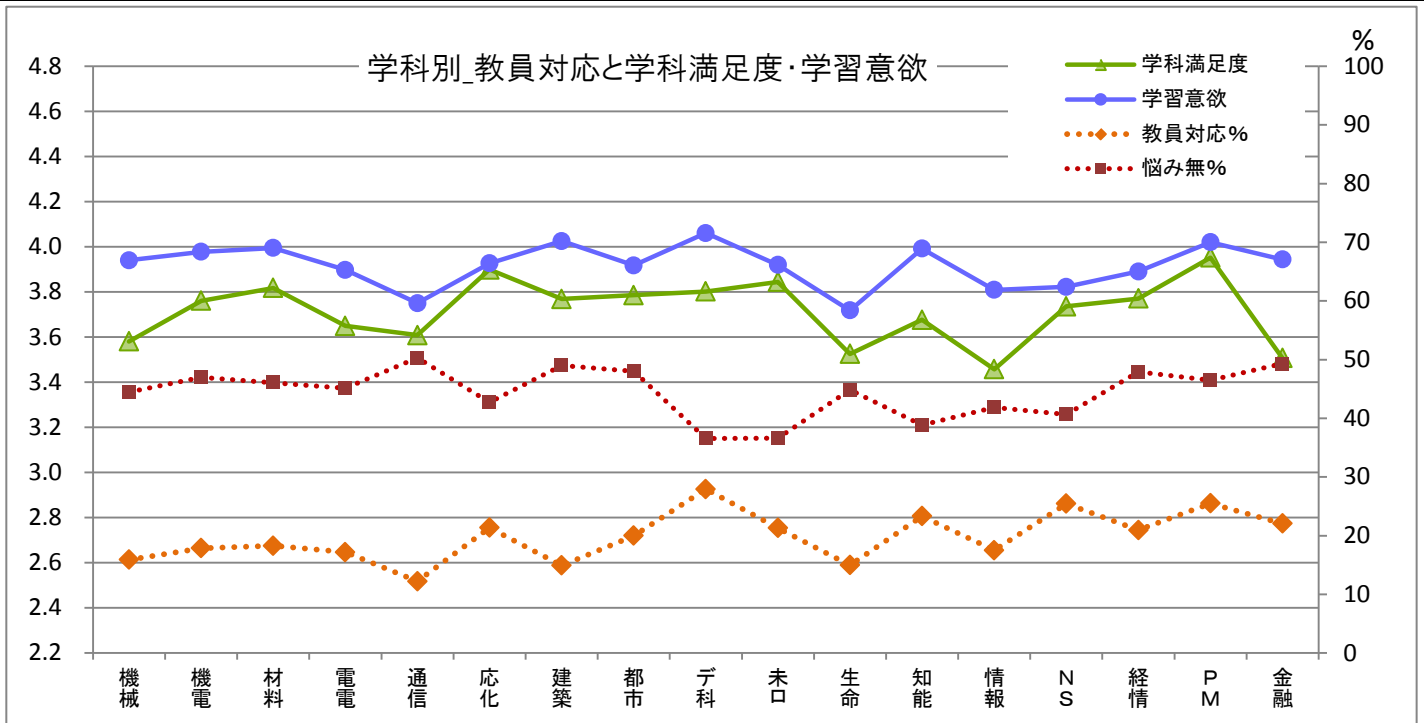
2. 学内相談体制の充実度

教員への相談・学科満足度・学習意欲の統合データ

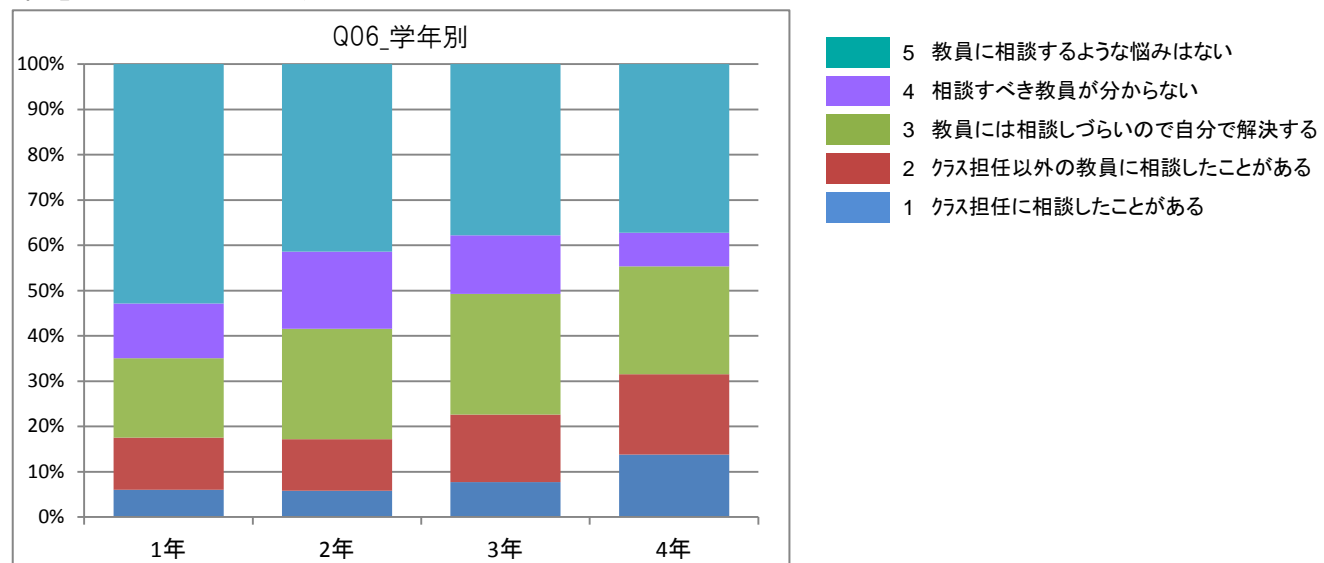
[所見]

想定のとおり、総じて「悩みは無い」と回答した割合の少ない学科ほどクラス担任を含め、教員に相談した割合が高くなる傾向にある。一方で、「悩みは無い」と回答した割合が多く、且つ教員に相談した割合の低い学科は、授業満足度や学習意欲が低い傾向を示している。

学年別に見た場合、学年進行に応じて悩みがない学生は少なくなる傾向が見えることから、何らかの悩みを持つ学生が増加する傾向があると思われる、教員に相談することは増加する傾向にある。なお、「相談する教員が分からない」の回答率は全体的に低いため、クラス担任やオフィスアワーの制度は概ね周知・活用されていると考えられる。



■ Q06_授業や生活面で教員に相談したことはありますか



[グラフ&集計方法の解説]

学科満足度⇒Q1 学習意欲⇒Q4 で得た回答を数値化し平均値を主軸とし、教員対応%⇒Q6の回答1(クラス担任に相談したことがある)または2(クラス担任以外の教員に相談したことがある)と回答した割合%と悩み無%⇒Q6の回答5(教員に相談するような悩みがない)と回答した割合%を2軸としグラフ化した。

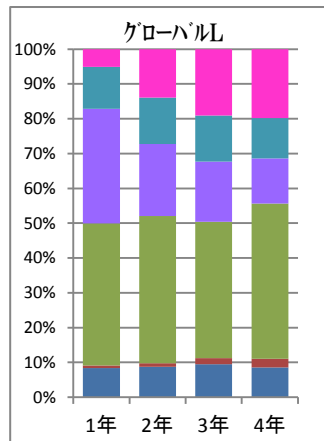
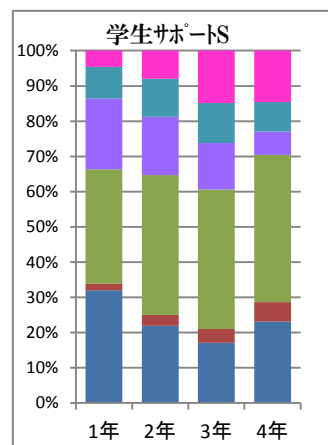
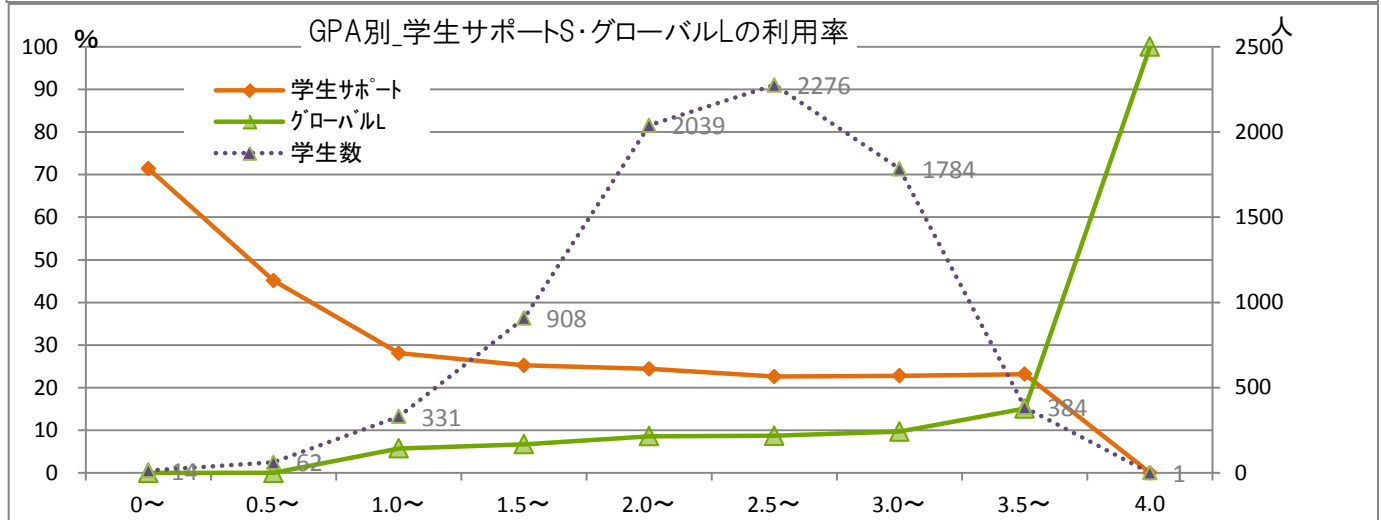
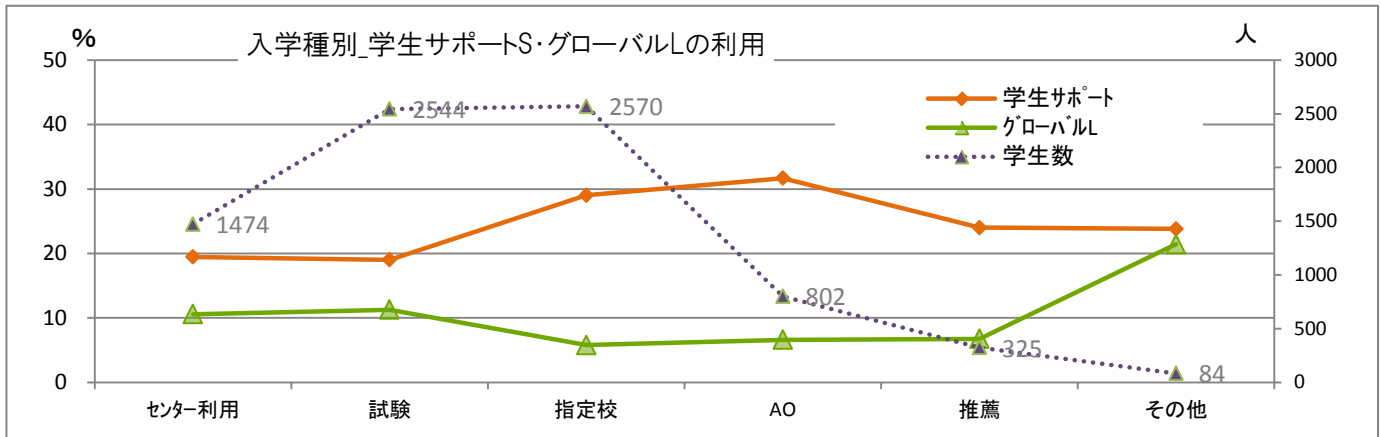
Q1とQ4については、回答 1⇒5点 2⇒4点 3⇒3点 4⇒2点 5⇒1点 に置き換えて集計

3. 学内施設利用の状況

学生サポートセンター・グローバルラウンジの利用状況データ及び入学試験種別・GPA関連データ

[所見]

利用状況と入学試験種別の相関では、推薦系の学生は「学生サポートセンター」の利用率が高く、試験系の学生は「グローバルラウンジ」の利用率が高い傾向にある。また、GPAとの相関は特に顕著であり、GPA値の低いほど学生サポートセンターの利用率が高く、GPA値の高いほどグローバルラウンジの利用率が高い傾向にある。最後に学年別で見ると、今年度から各施設の周知徹底を図る観点から、初年次教育で必須のツアーを行っているため、浸透度には効果が伺えるが、グローバルラウンジの利用率は改善されていないのが実情である。



- 6 場所を知らない
- 5 利用方法がわからないので利用していない
- 4 興味がないので利用していない
- 3 雰囲気かわからないので利用していない
- 2 利用したことがあるが対応が悪く今後利用したくない
- 1 利用したこともあり今後も利用したい

[グラフ&集計方法の解説]

学生サポートセンター⇒Q7 およびグローバルラウンジ⇒Q8 の利用率は、1「利用したことがある今後も利用したい」を回答した割合(%)を主軸、学生数(アンケート回答数)を2軸とし入学種別およびGPA別にグラフ化した。学年別については、各回答の割合(%)をグラフ化した。

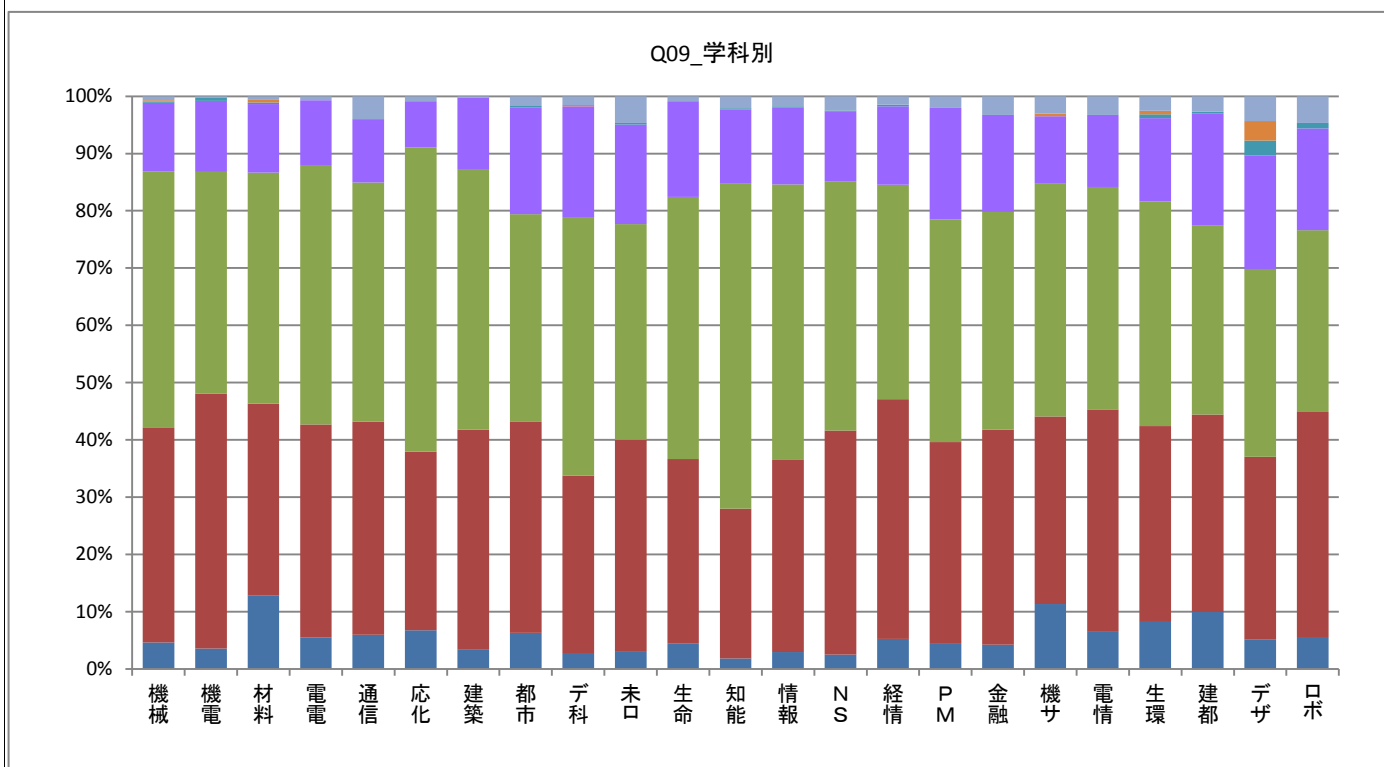
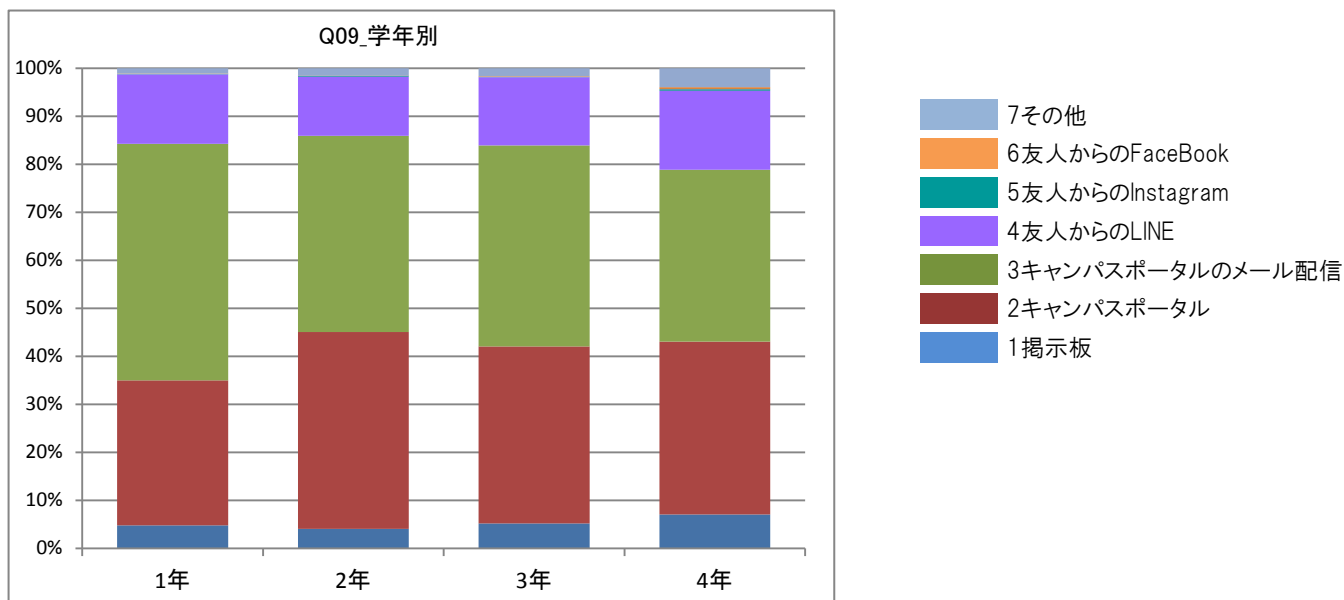
4. 大学からの通知利用

大学からの通知利用状況データ

[所見]

この設問は、学生への連絡通知について、各ツールの利用状況を把握し、より円滑な情報配信の改善に役立てるためのものであるが、総じて大学のツールである「キャンパスポータル」又は「キャンパスポータルのメール配信」の割合が高く、全体の7割程度を占めているため、一定の有効性は確認できる。但し、次点はLINEによる共有となっているため、今後もその動向を注視する必要がある。

■ Q09_大学からの通知やお知らせを得るために最も役に立っている方法はなんですか



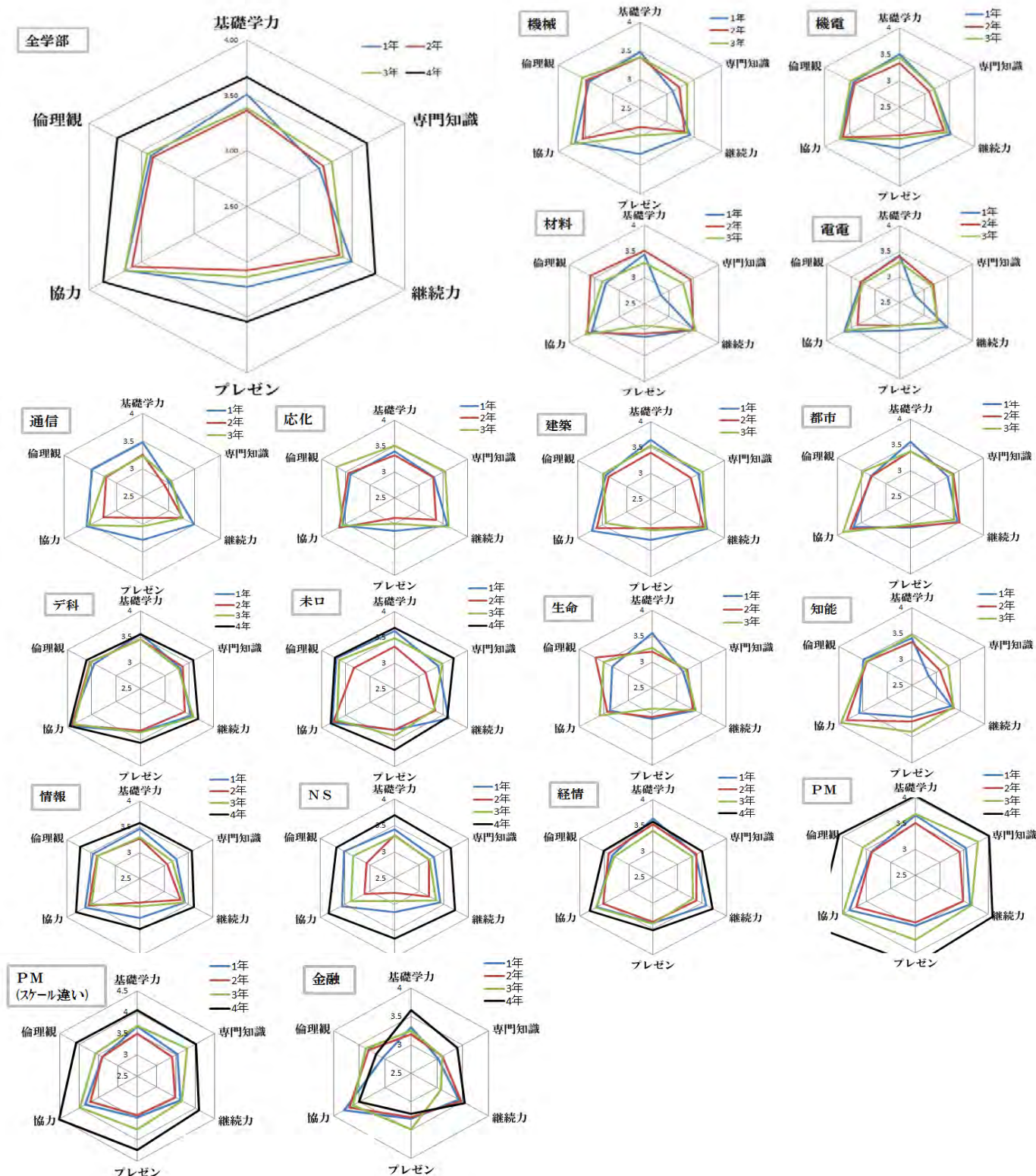
[グラフ&集計方法の解説]

大学からの通知・連絡の確認方法について⇒Q9 各回答の割合を学年別、学科別にグラフ化した。

5. 各種能力の自己評価

基礎学力・専門知識・継続力・プレゼン・協力・倫理観の自己評価統合データ

[所見]
 まず学年別で見た学部全体の能力値では、4年次の値がどの項目も突出しているのは当然のことであるが、1年次に比べて、2・3年次は低く評価する傾向にある。これらの能力は、多様な学びや経験の中で身に付くものであり、今後も経年的に測定する必要がある。また、学科別(新学部学科のデータは3年次まで)では、総じて他者との協力関係を構築しようとする意識の高さが伺える一方で、自分の考えを伝えるプレゼンテーション能力には、自信を持っていない状況が伺える。プレゼンも経験値が最も重要であるため、今後各学科の授業内でも取組が増えることに期待したい。なお、PMの自己評価点の高さは特に顕著な傾向である。



[グラフ&集計方法の解説]

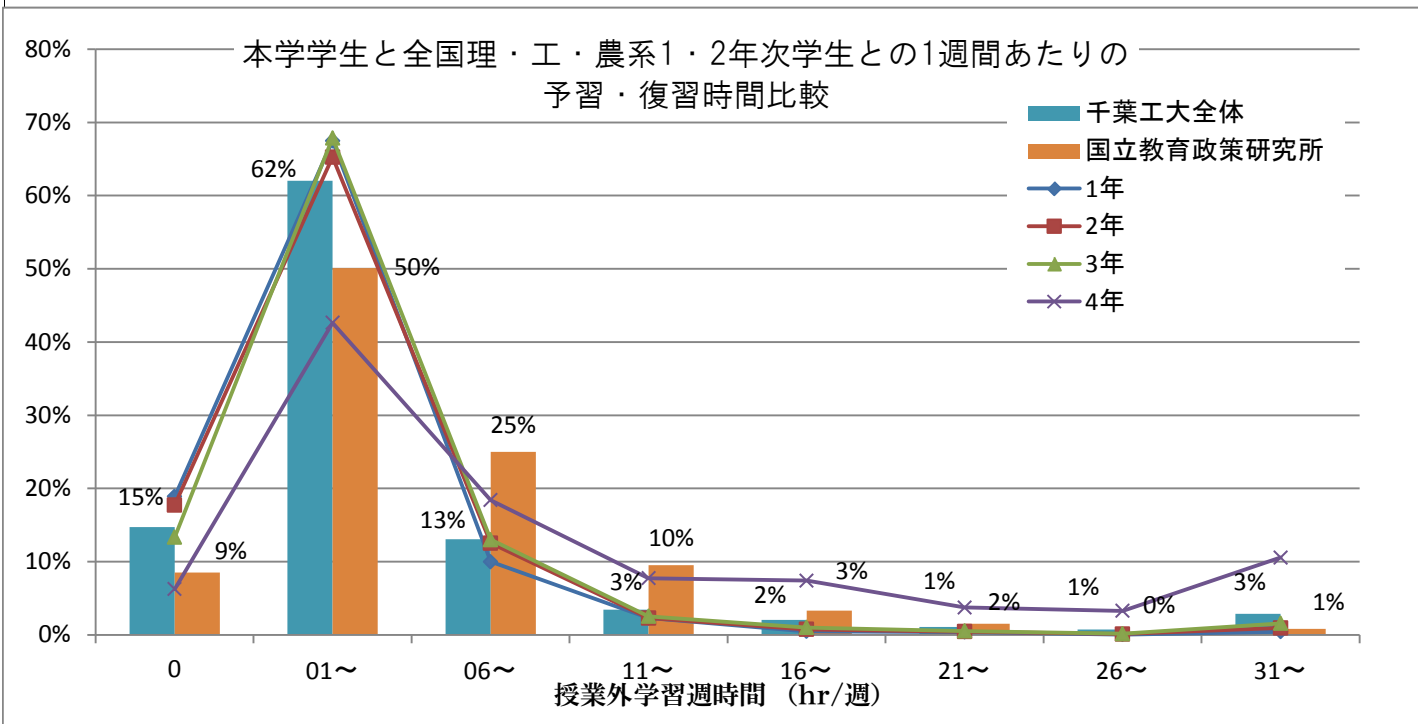
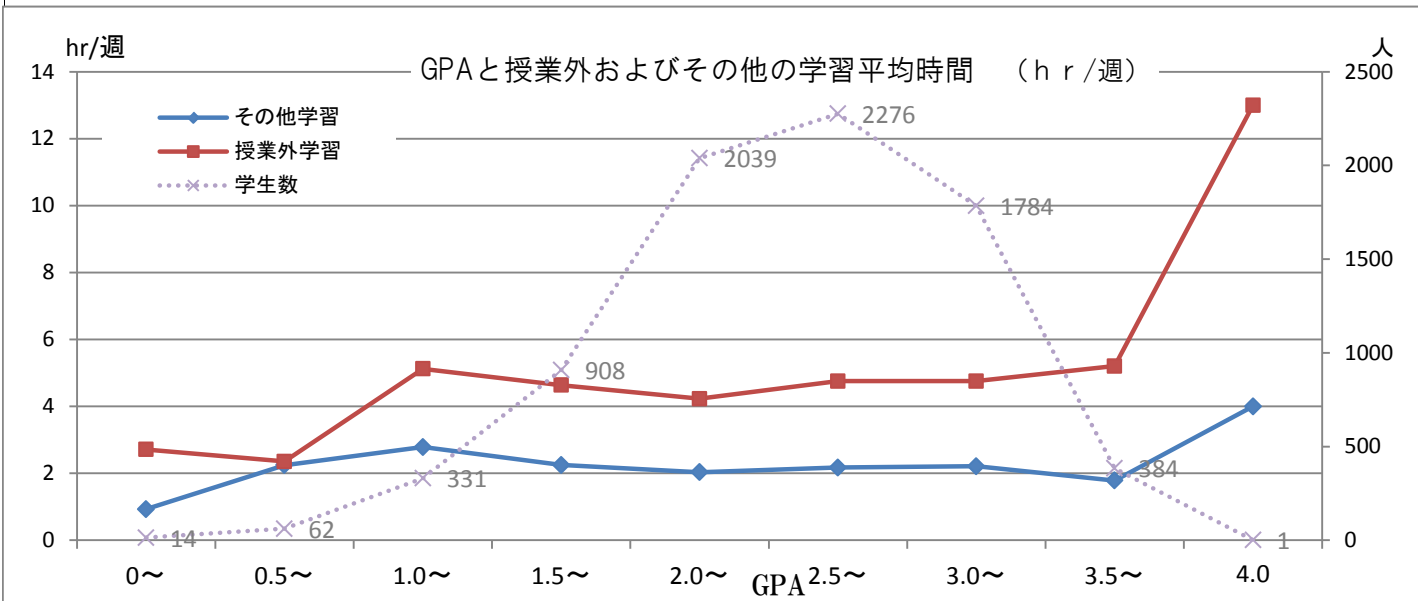
以下の6つの要素がどの程度身についていると感じているか?の回答を数値化し平均値をグラフ化した。
 基礎学力⇒Q11 専門知識⇒Q12 継続力⇒Q13 プレゼン⇒Q14 協力⇒Q15 倫理観:Q16
 回答 1⇒5点 2⇒4点 3⇒3点 4⇒2点 5⇒1点 に置き換えて集計

6. 授業外学習の状況

授業外学習(予習・復習)・授業以外の学習時間データ及びGPA関連・ベンチマーク比較データ

[所見]

GPA値の相関では、ボトムとトップでは学習時間との相関も見えるが、GPA値1.0から3.5の範囲内では学習時間は平均的に5時間程度である。結果的に成績の優劣に関わらず予習・復習の習慣付けと環境作りが必要である。また、ベンチマークとの比較では、週1時間から5時間の割合では上回っているが、それ以上の学習時間では総じて全国よりも低くなっているため、本学学生の予習・復習時間を確保する方策が必要である。



[グラフ&集計方法の解説]

GPAとの相関をみたグラフは、授業外学習⇒Q17 その他学習⇒Q18で回答した時間/週の平均を主軸、学生数(アンケート回答数)を2軸としてグラフ化した。

ベンチマーク: 国立教育政策研究所「2014年大学生の学習実態に関する調査研究」

※1週間あたりの予習・復習時間(理・工・農系学部1・2年次; ケース数約2,500人)

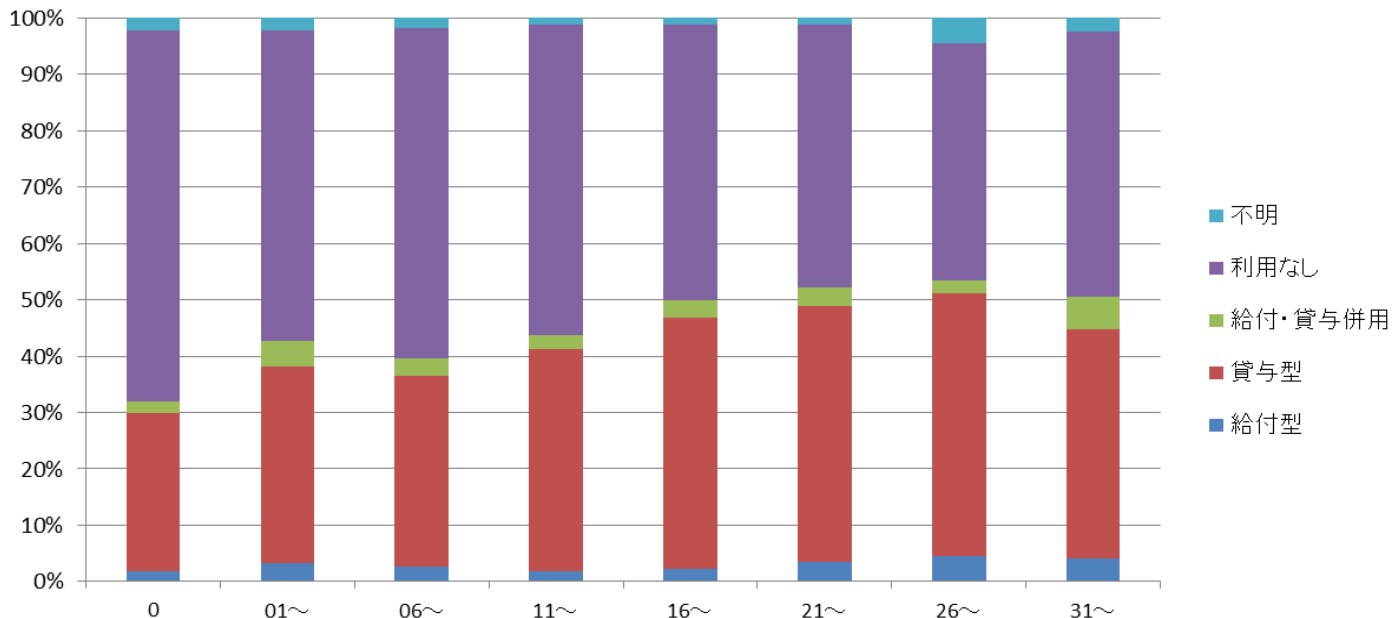
7.奨学金利用およびアルバイト状況

奨学金利用状況・1週間のアルバイト時間数集計データ

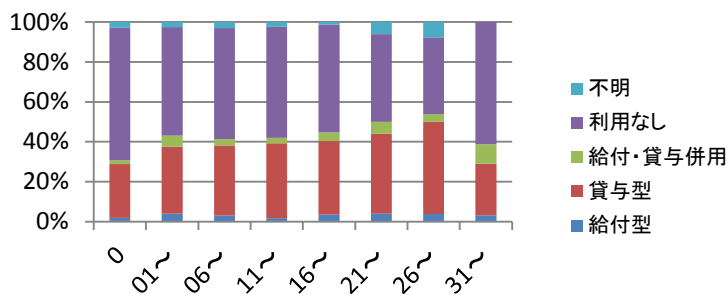
[所見]

奨学金は、全学生の4割が貸与もしくは給付を受けている。貸与型の多くは日本学生支援機構奨学金を利用しているが、同時にアルバイトにかける時間も多いたことがわかる。奨学金だけでは学費および生活費を賄うことが難しく、アルバイト時間が週16時間超の学生は5割が奨学金利用者である。学年別に見てもグラフに大きな変化はなく、4年間通して奨学金を継続的に利用し、アルバイトも並行して行わなければならない現状が見える。現在、国策として協議されている高等教育の無償化・減免に注視しながら、本学の奨学金制度を継続して行う必要があると考える。

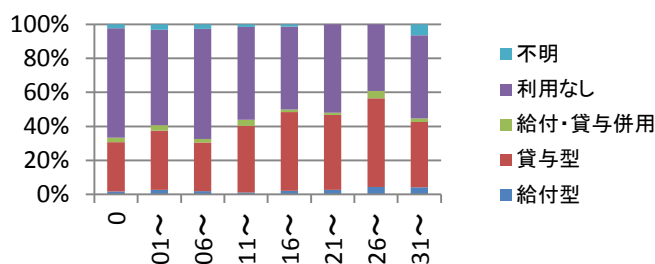
奨学金の利用状況とアルバイト時間数



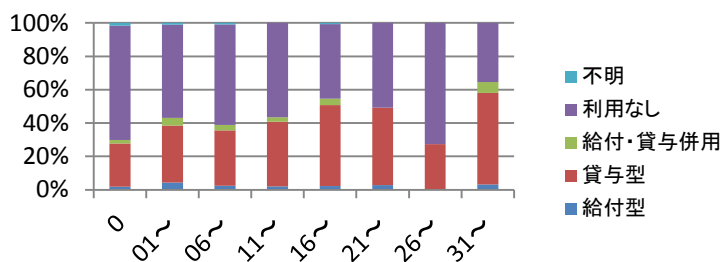
奨学金の利用状況とアルバイト時間数(1年)



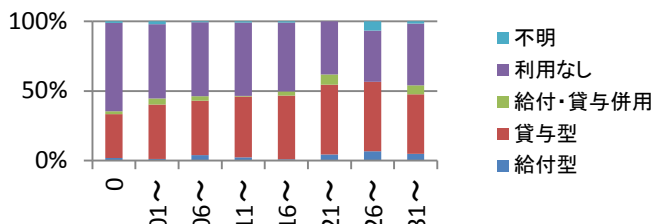
奨学金の利用状況とアルバイト時間数(2年)



奨学金の利用状況とアルバイト時間数(3年)



奨学金の利用状況とアルバイト時間数(4年)



[グラフ&集計方法の解説]

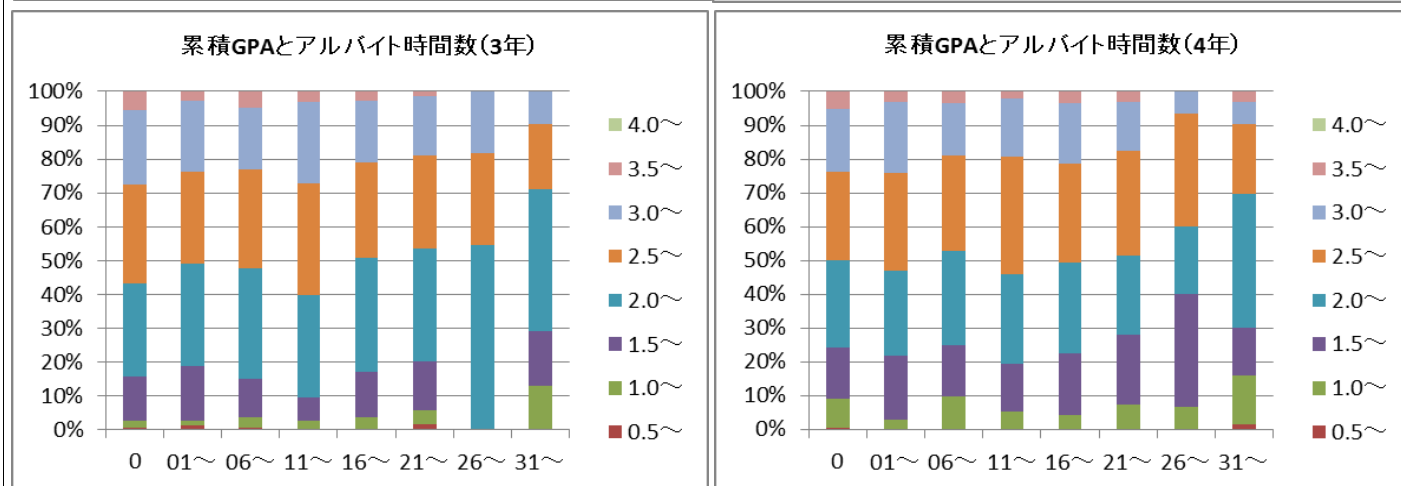
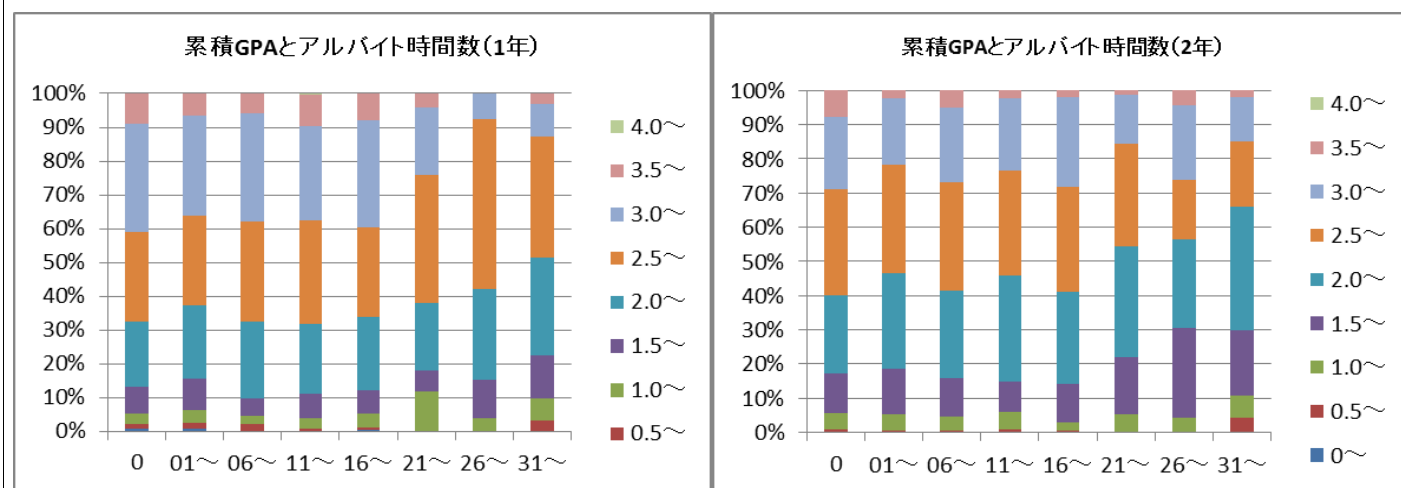
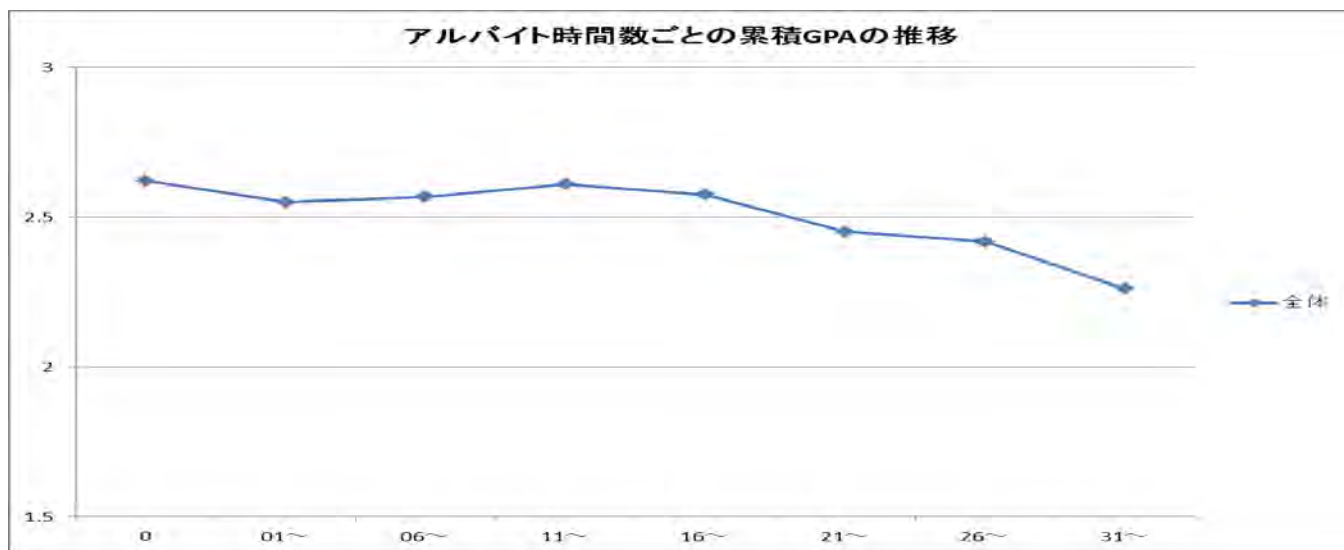
※奨学金の利用者と1週間当たりのアルバイト時間を全学部生および学年ごとに集計した。
奨学金利用状況⇒Q24 アルバイト時間数⇒Q20 各回答の割合を全体・学年別にグラフ化した。

8.アルバイトと学業

アルバイト時間数・GPA相関データ

[所見]

アルバイトにかける時間と学業成績(累積GPA)の相関では、全ての学年においてGPA値3.5以上が最も多いのはアルバイトを行っていない学生である。週31時間以上アルバイトを行っている場合、GPA値3.0以上の割合が最も少ないことがわかる。一概には言えないが、経済的に困難な状況では学業だけに集中することも難しく、また、時間だけでなく身体的にも厳しくなり集中力にも影響を及ぼしかねない。学業を優先的にこなせる環境作りが必要である。



[グラフ&集計方法の解説]

※学年別累積GPAとアルバイトの関係を集計した。

アルバイト時間数⇒Q20で得た回答を累積GPAと関連した割合でグラフ化した。

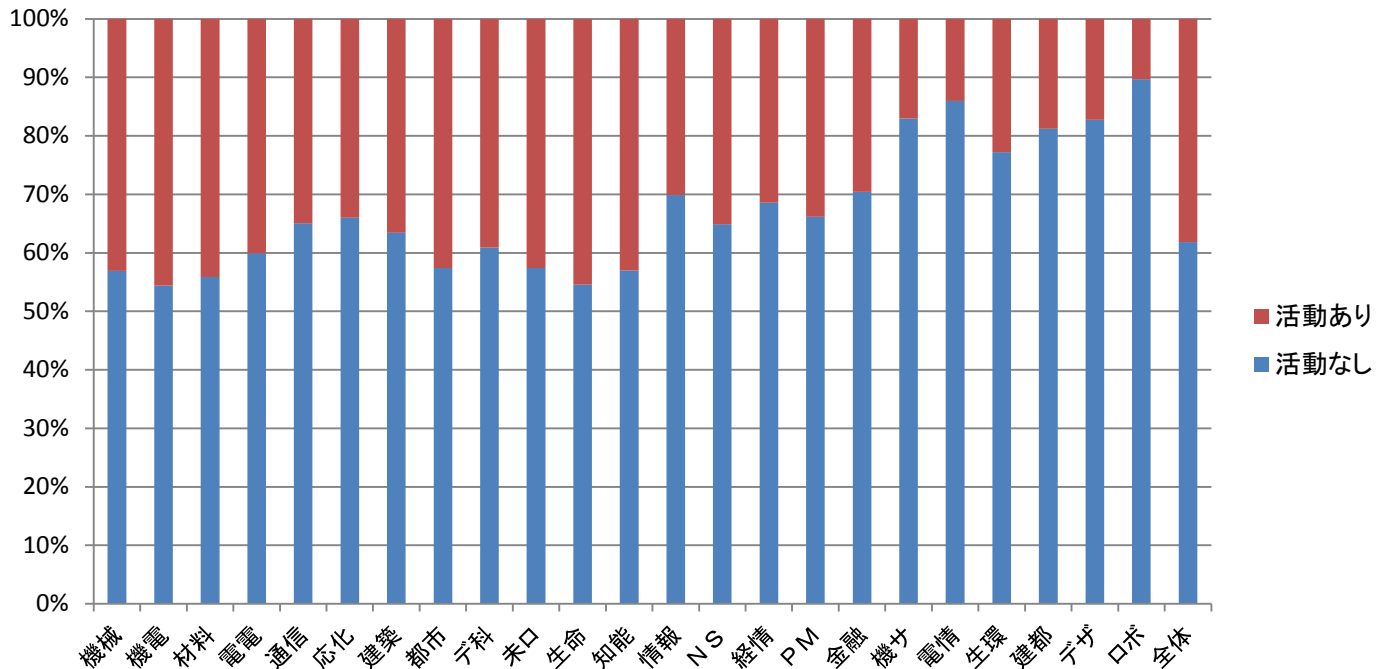
9.クラブ活動状況

クラブ加入状況・クラブ活動時間

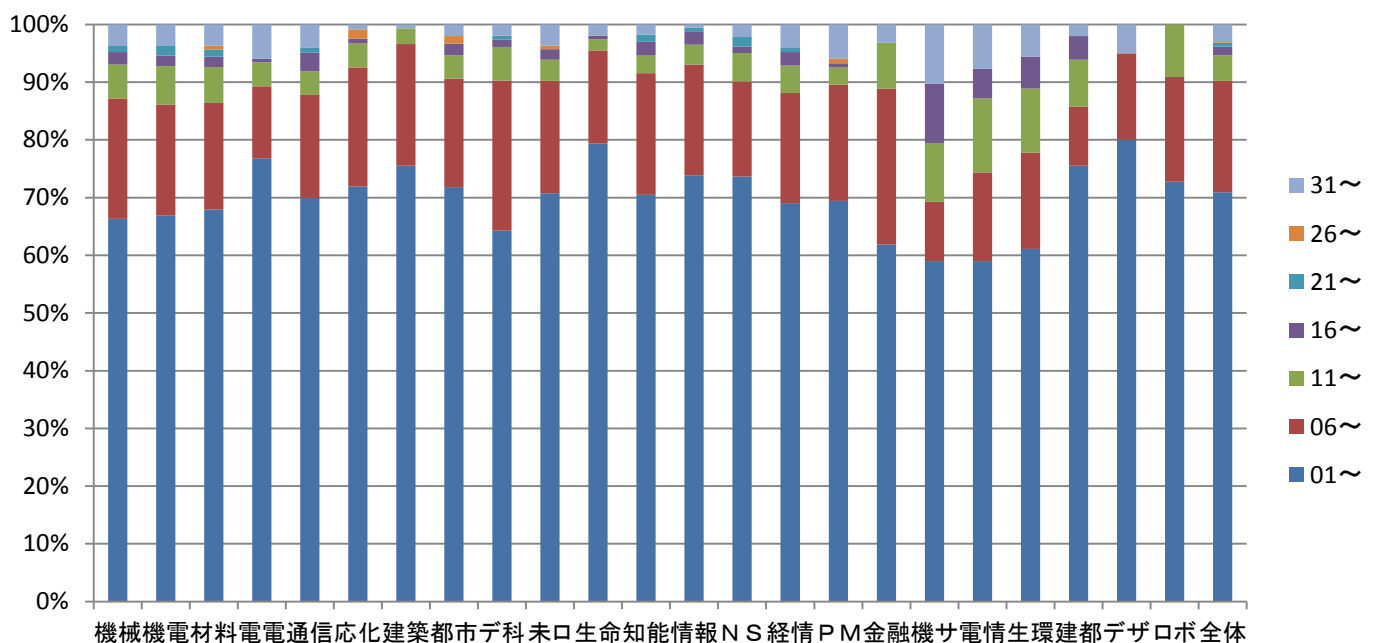
[所見]

クラブの加入状況は、新学科を見ると平均で4割となっている。大学公認のクラブも増え、体育館やグラウンド等の施設も整備され、活動が活性化されていることも要因の1つと言える。活動時間については、各クラブでバラつきはあるものの、学科別でみても週10時間以上が3割を超える学科は機サ以外は無い。学業に影響が出てしまうような時間での活動は見受けられない。クラブ活動で大学生活にメリハリをつけ、学業以外で身に付けられる要素を自ら考え、感じ、得られることを期待する。

学科別クラブ活動状況



学科別クラブ活動時間

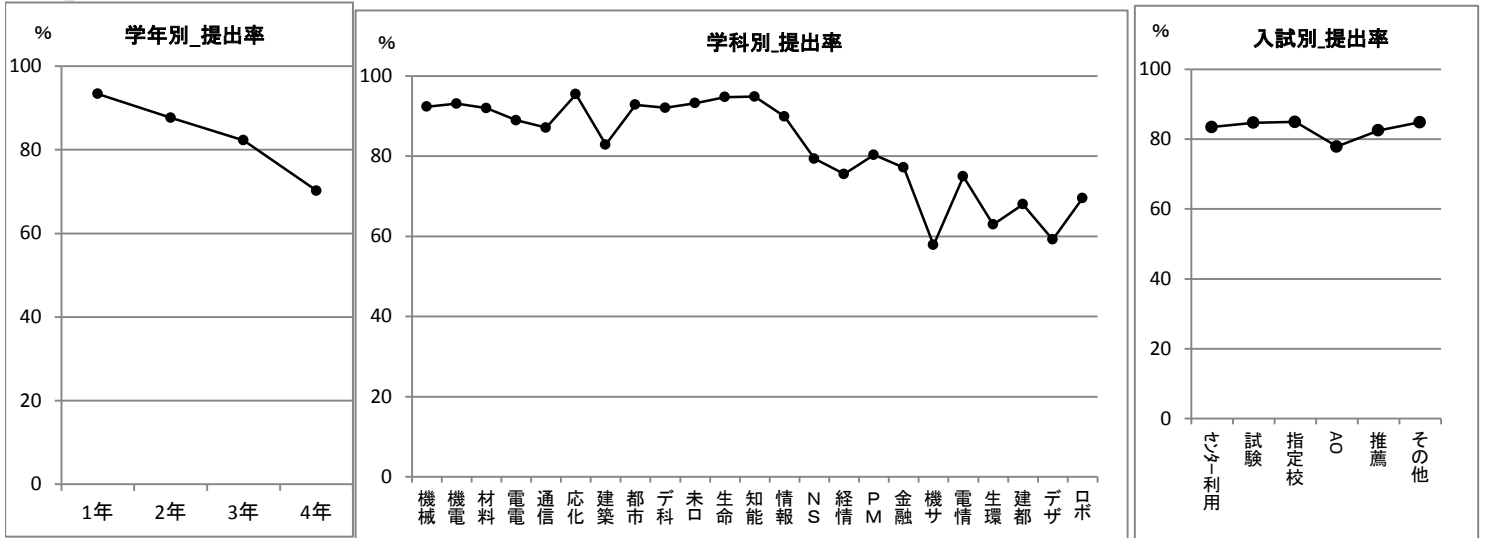


[グラフ&集計方法の解説]

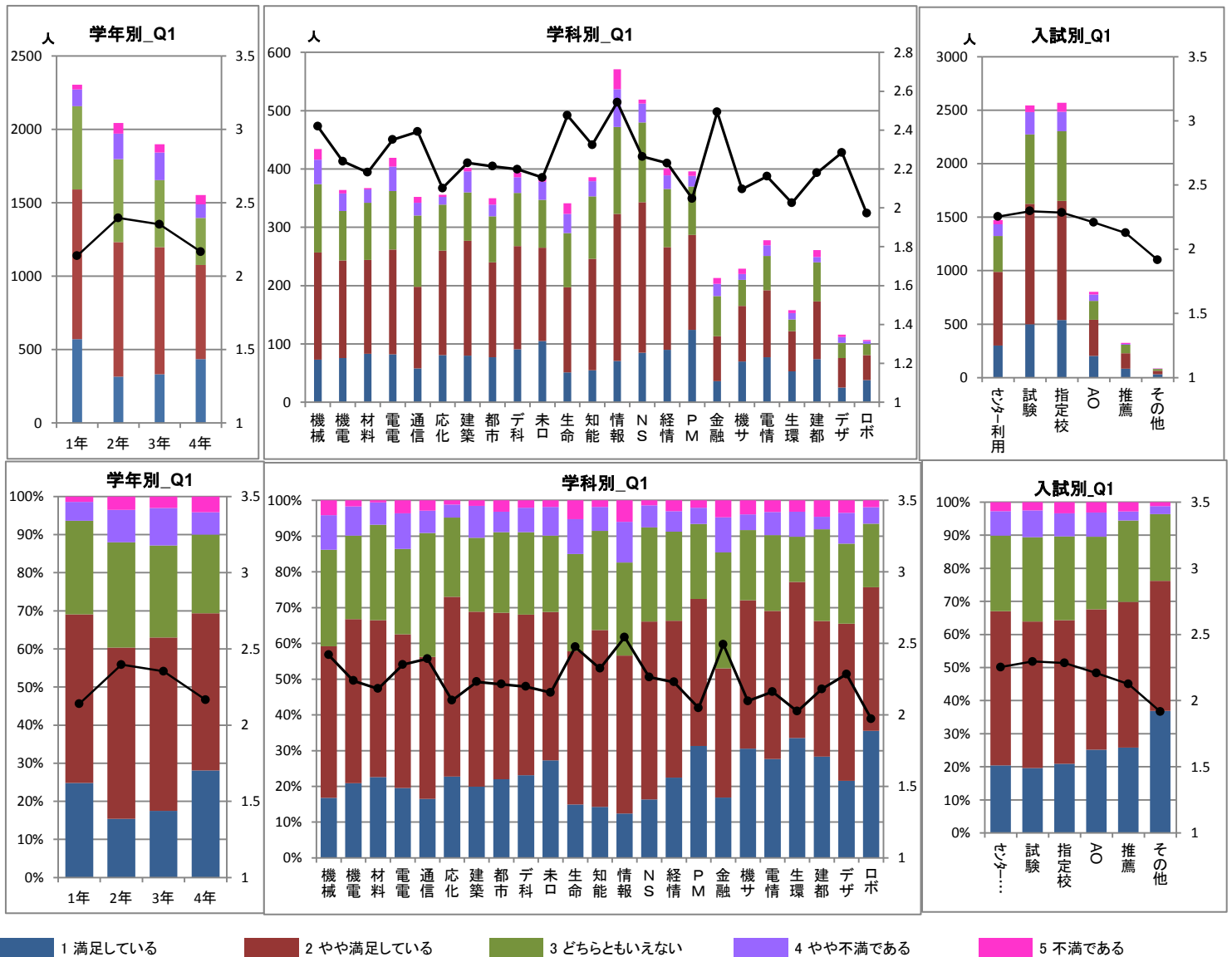
※学科別のクラブ活動に伴う時間数を集計した。
 クラブ活動時間⇒Q19 クラブ加入者データを学科別に集計した。

2018年度 学生生活アンケート集計結果

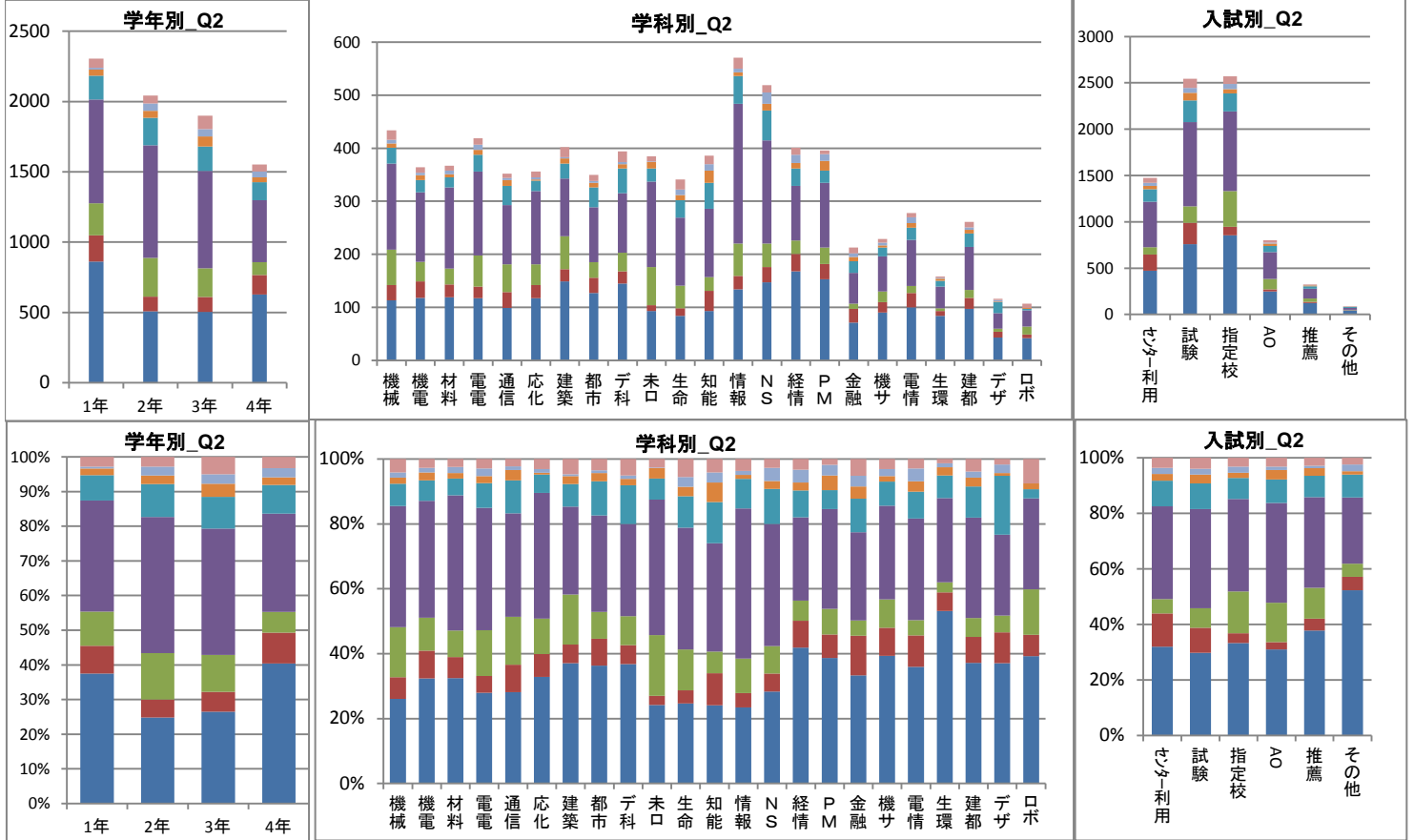
■00_提出率



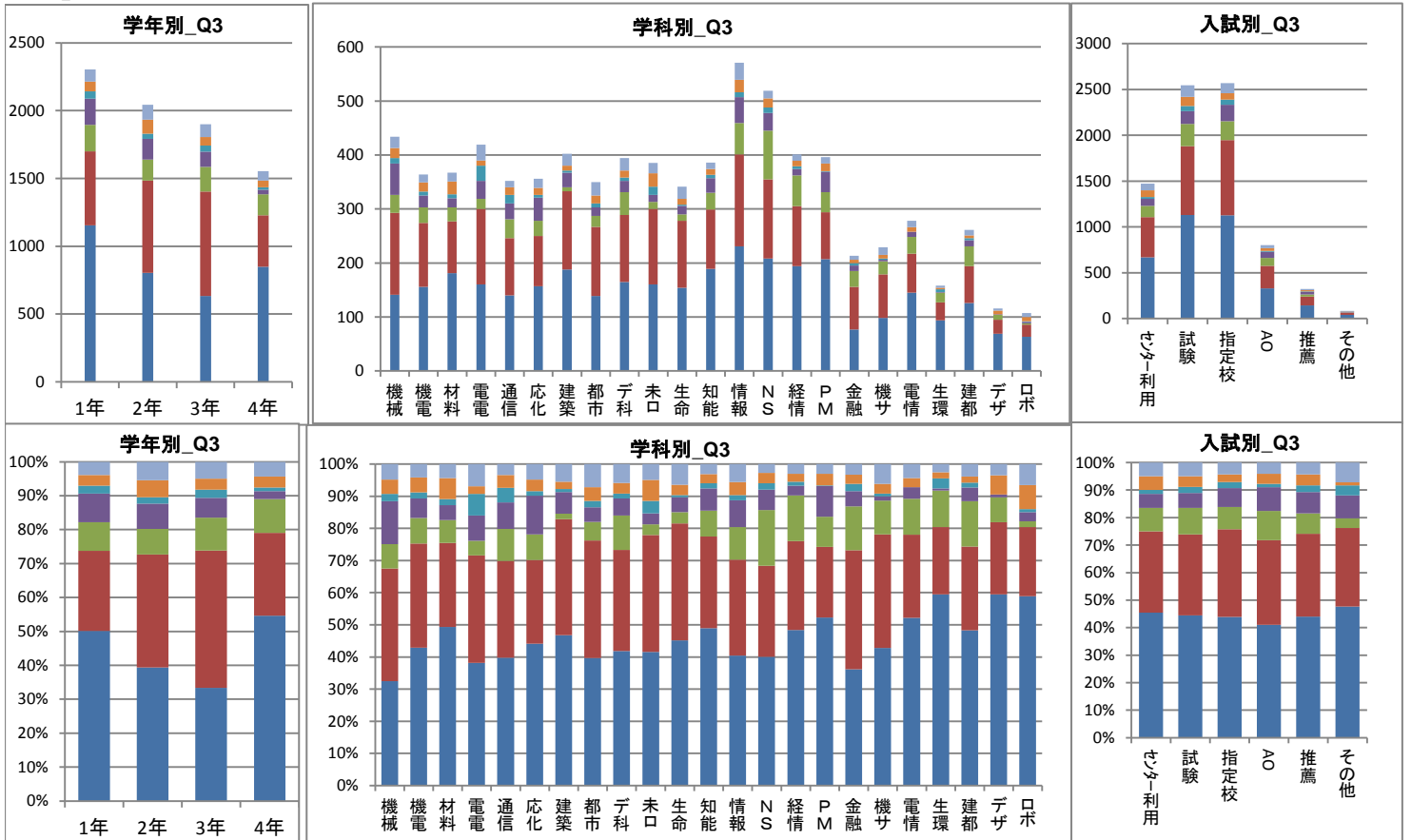
■01_現在在籍している学科についてどのくらい満足しているか



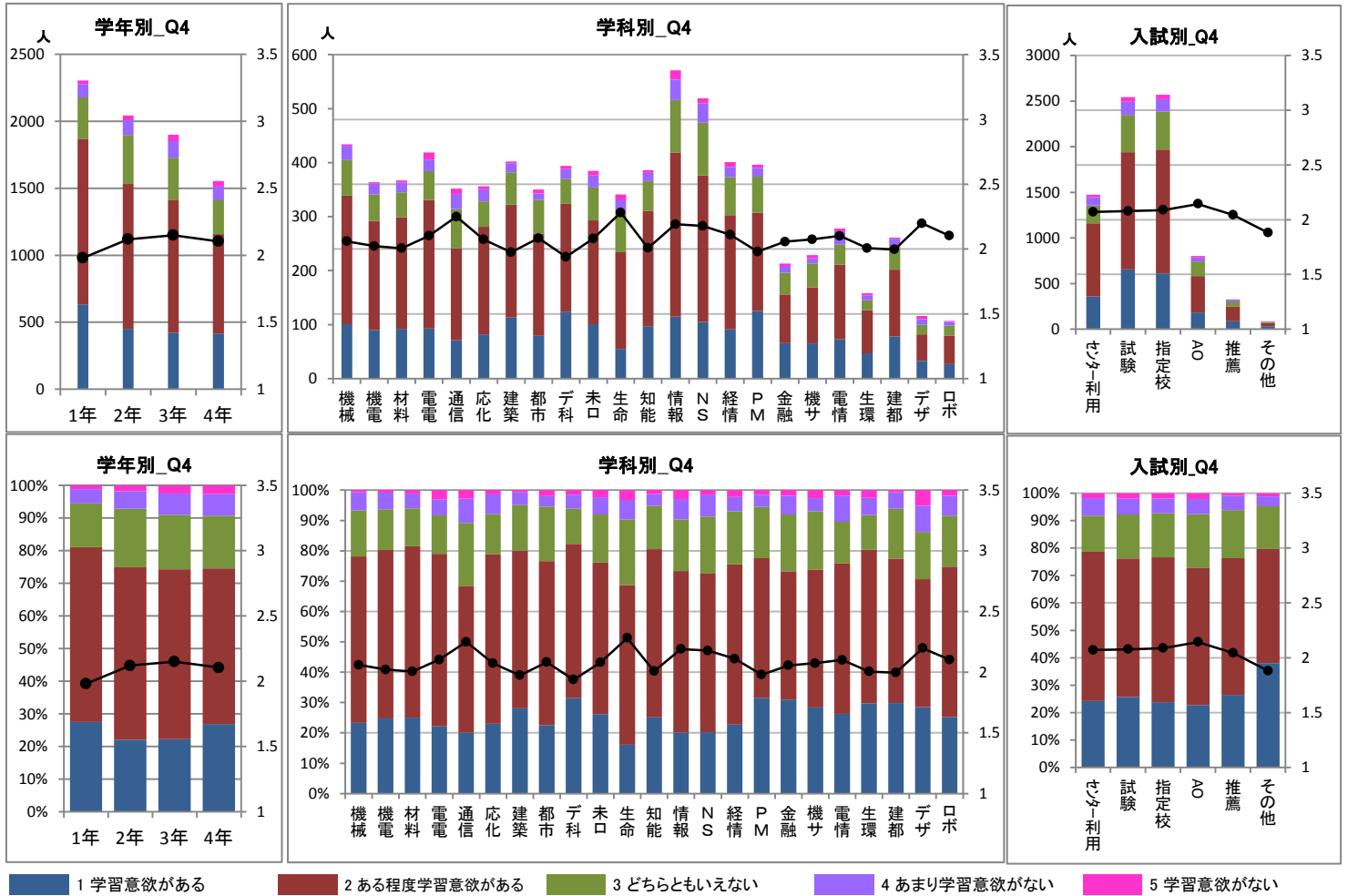
■02_現在のカリキュラムについてどのように感じていますか



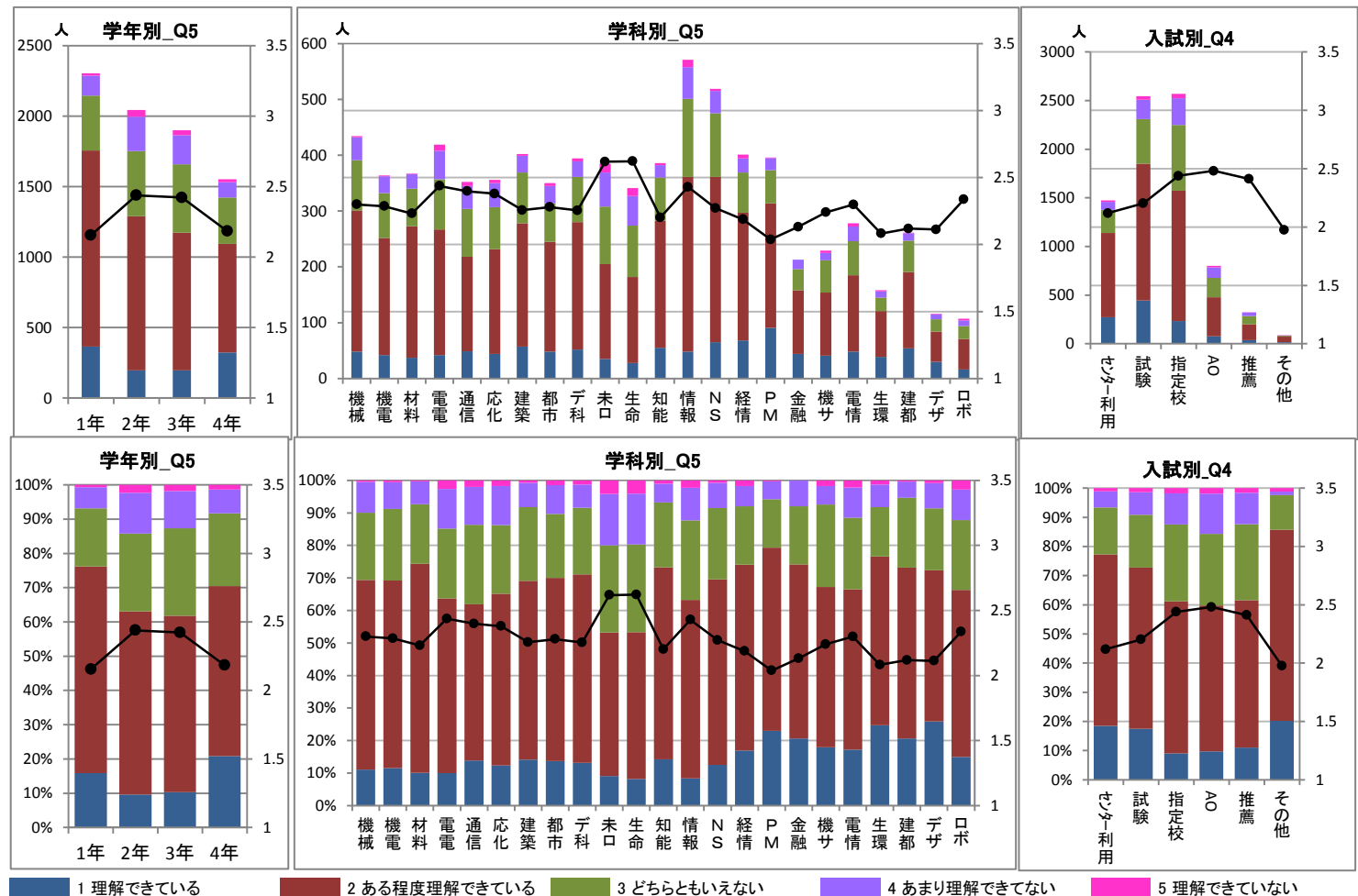
■03_現在の時間割についてどのように感じていますか



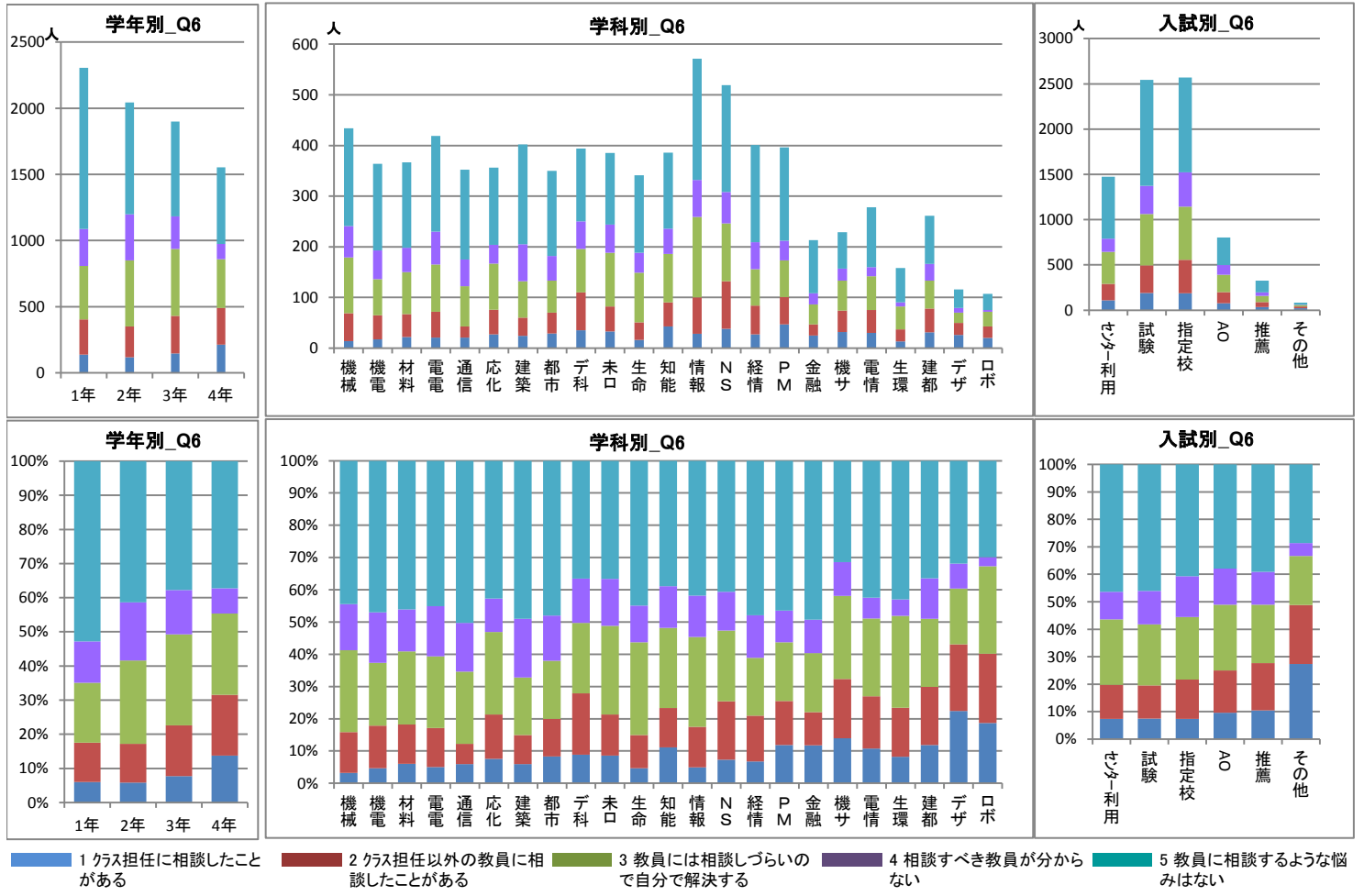
■04_現在、あなたは授業に対する学習意欲ほどの程度ありますか



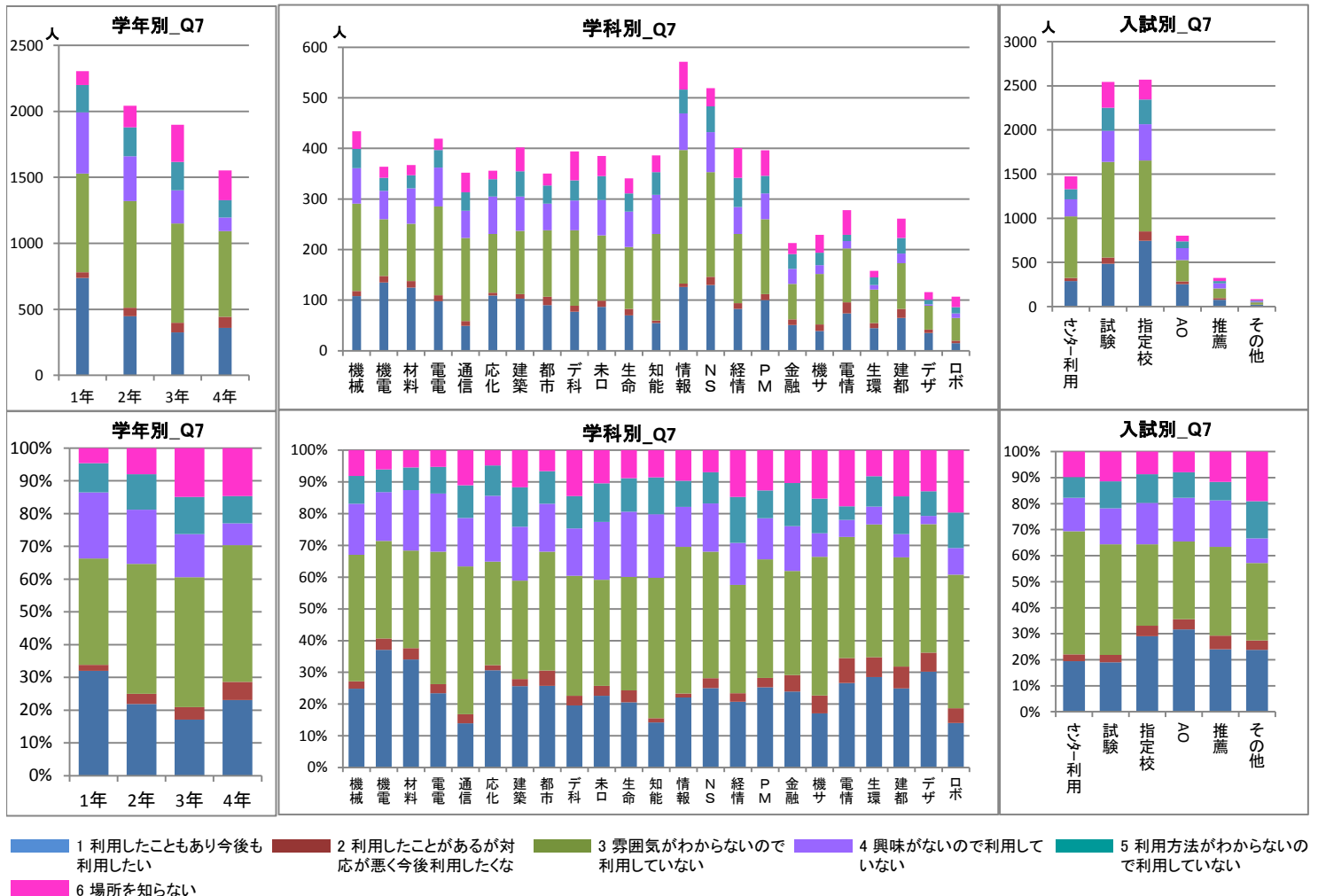
■05_現在、あなたは授業をどの程度理解できていますか



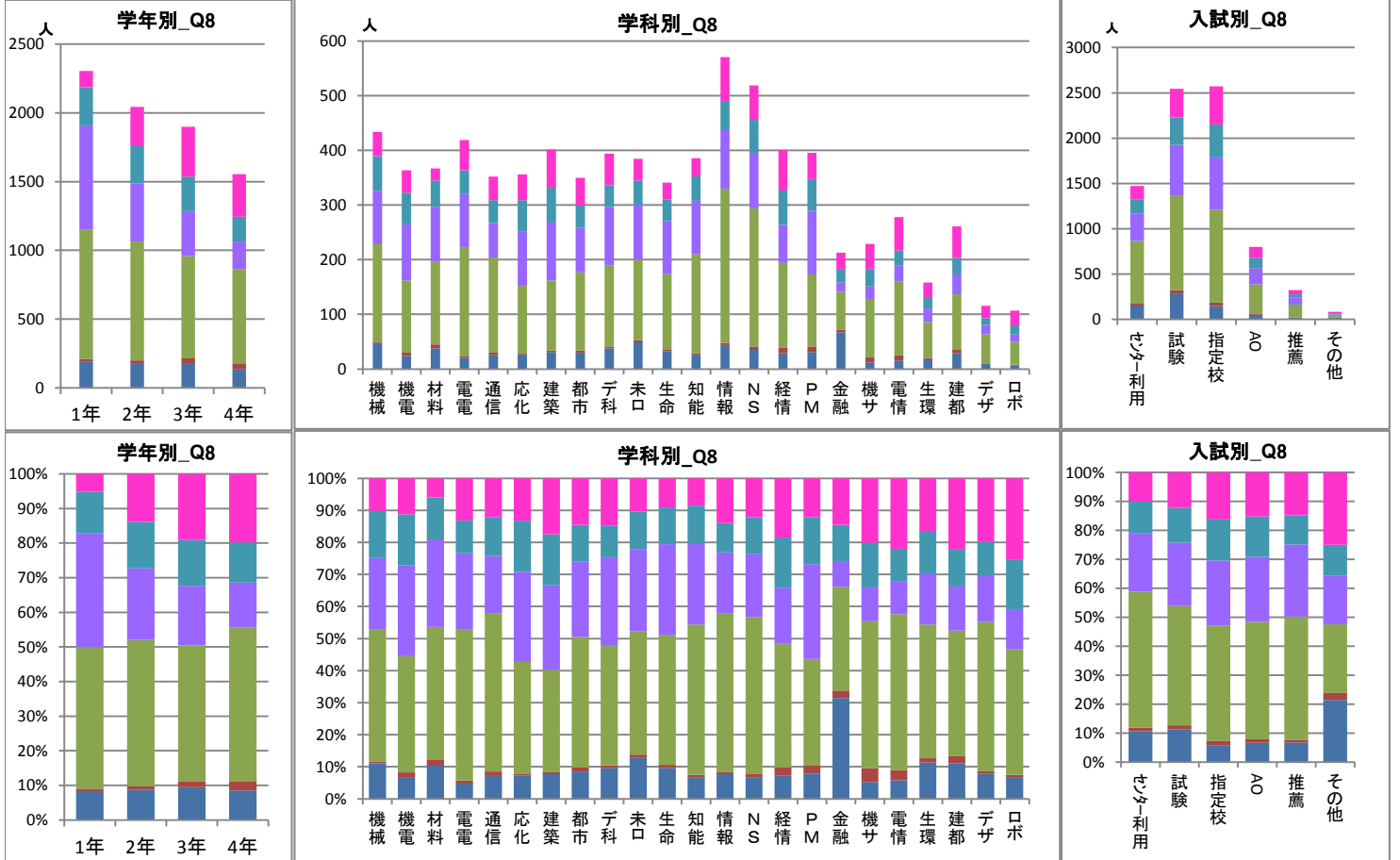
■06_授業や生活面で教員に相談したことはありますか



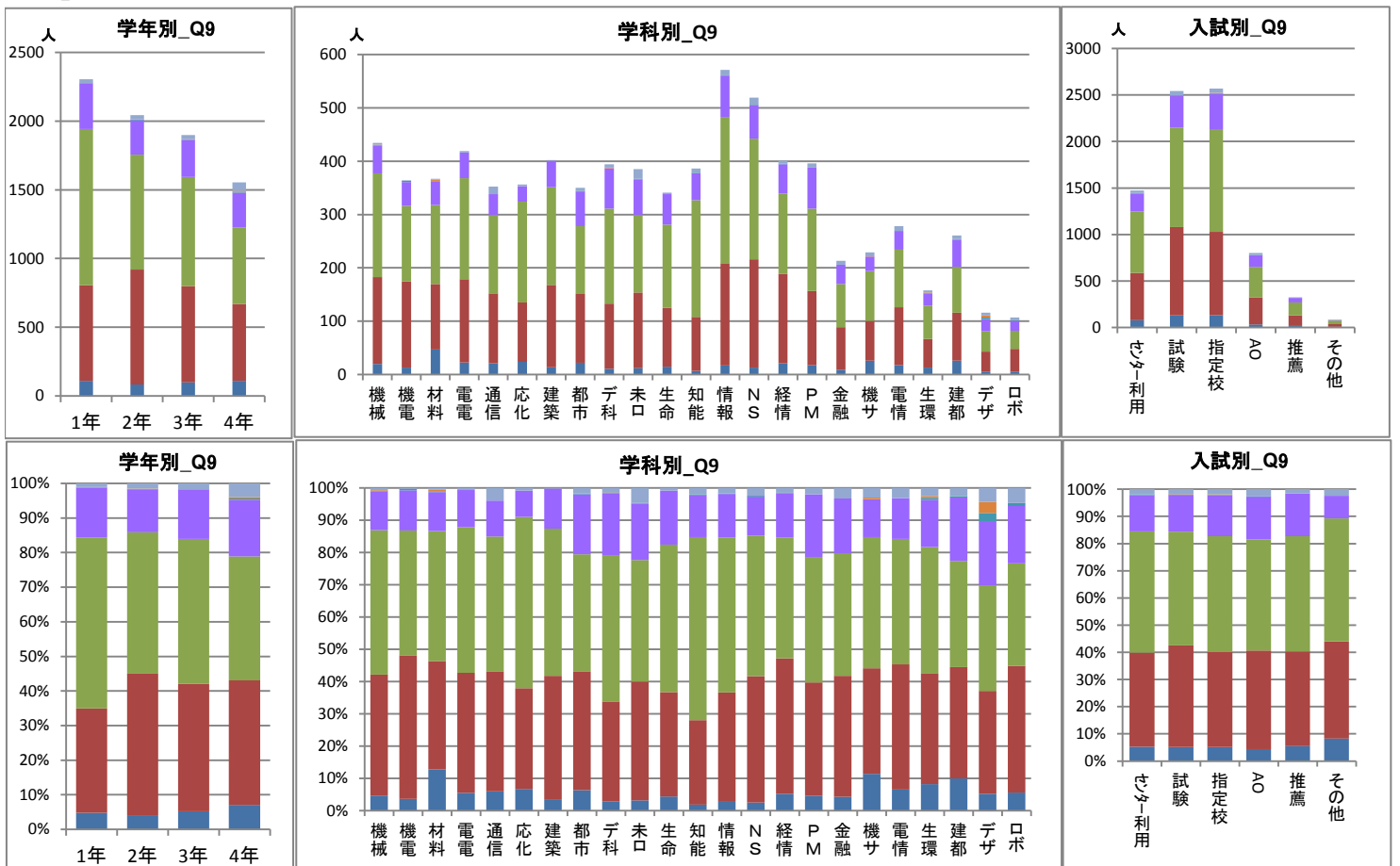
■07_学生サポートセンターを利用したことがありますか



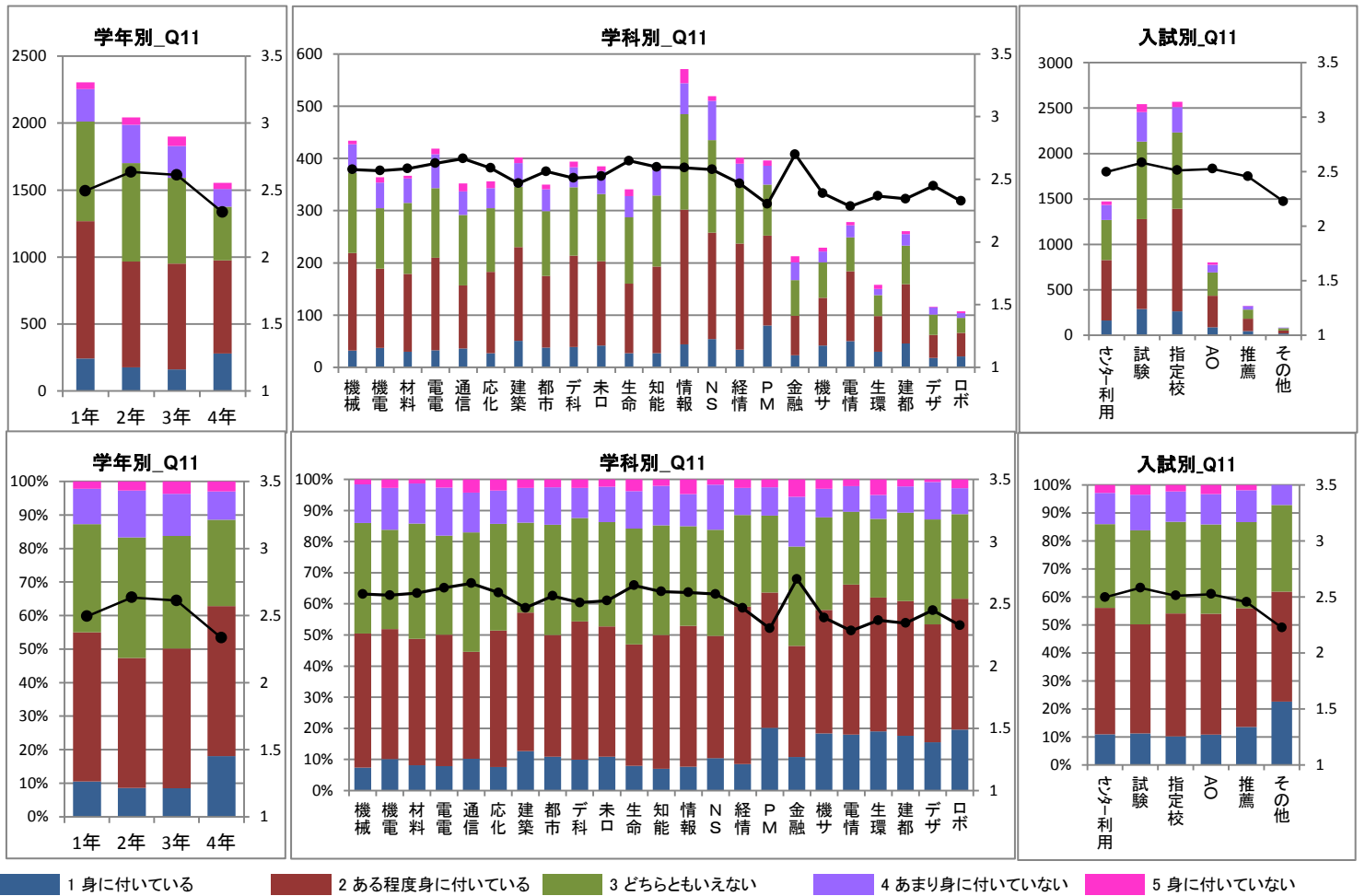
■08_英会話や英文読解などを身に付けるためにグローバルラウンジを利用したことはありますか



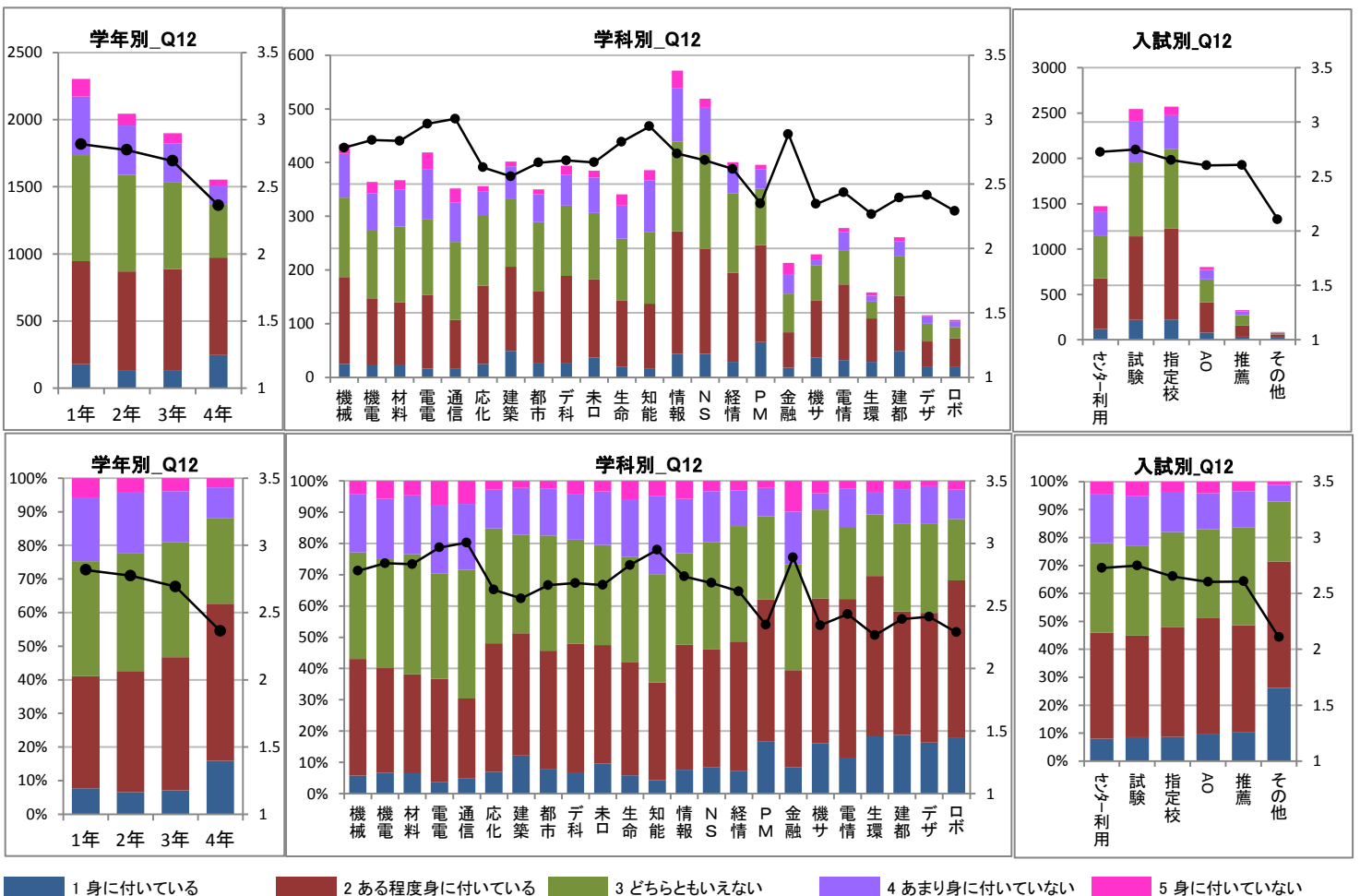
■09_大学からの通知やお知らせを得るために最も役に立っている方法はなんですか



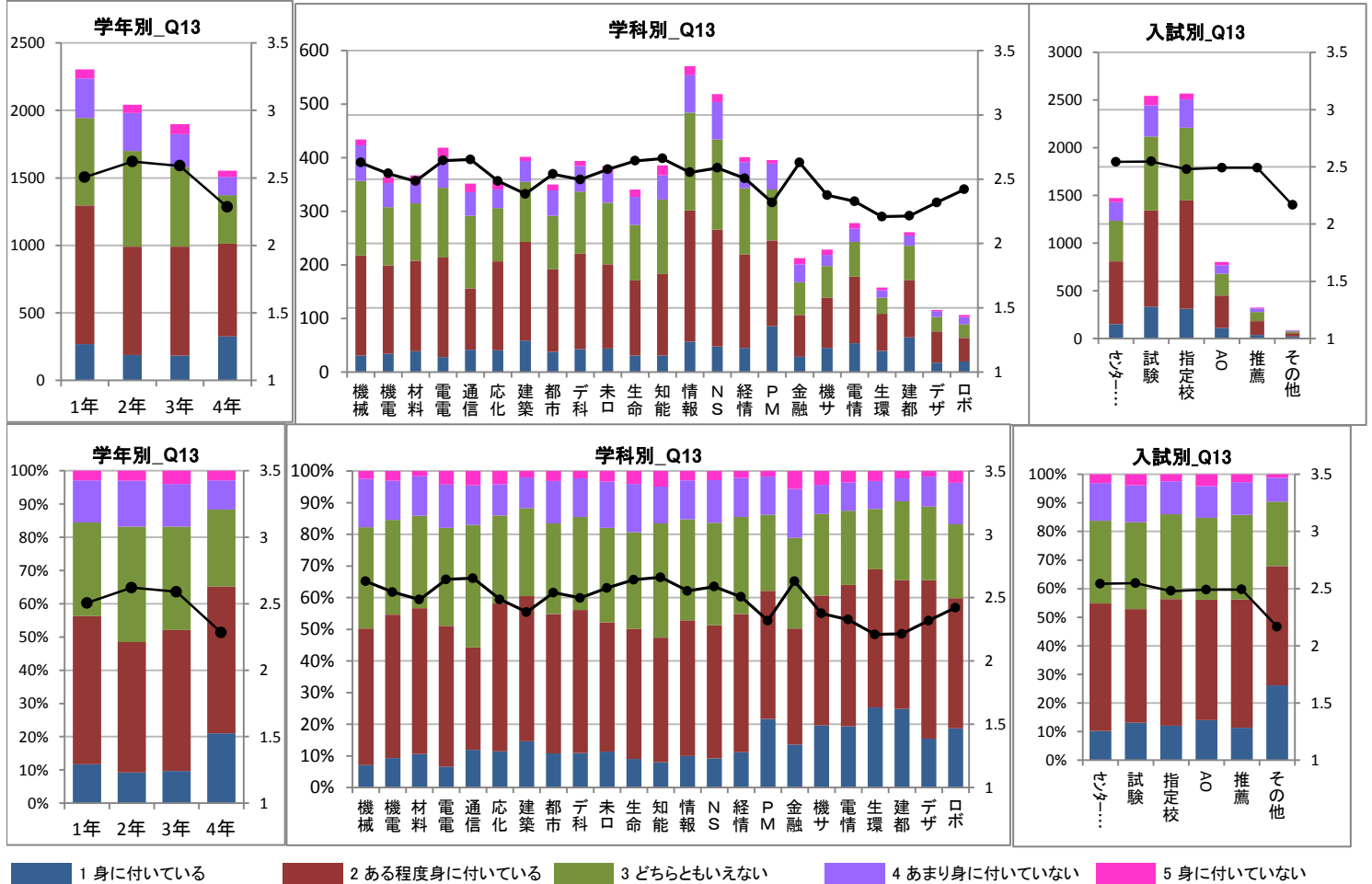
■以下の6つの要素がどの程度身についていると感じていますか■
 ■11_社会に出て活躍する際に必要な教養や基礎学力



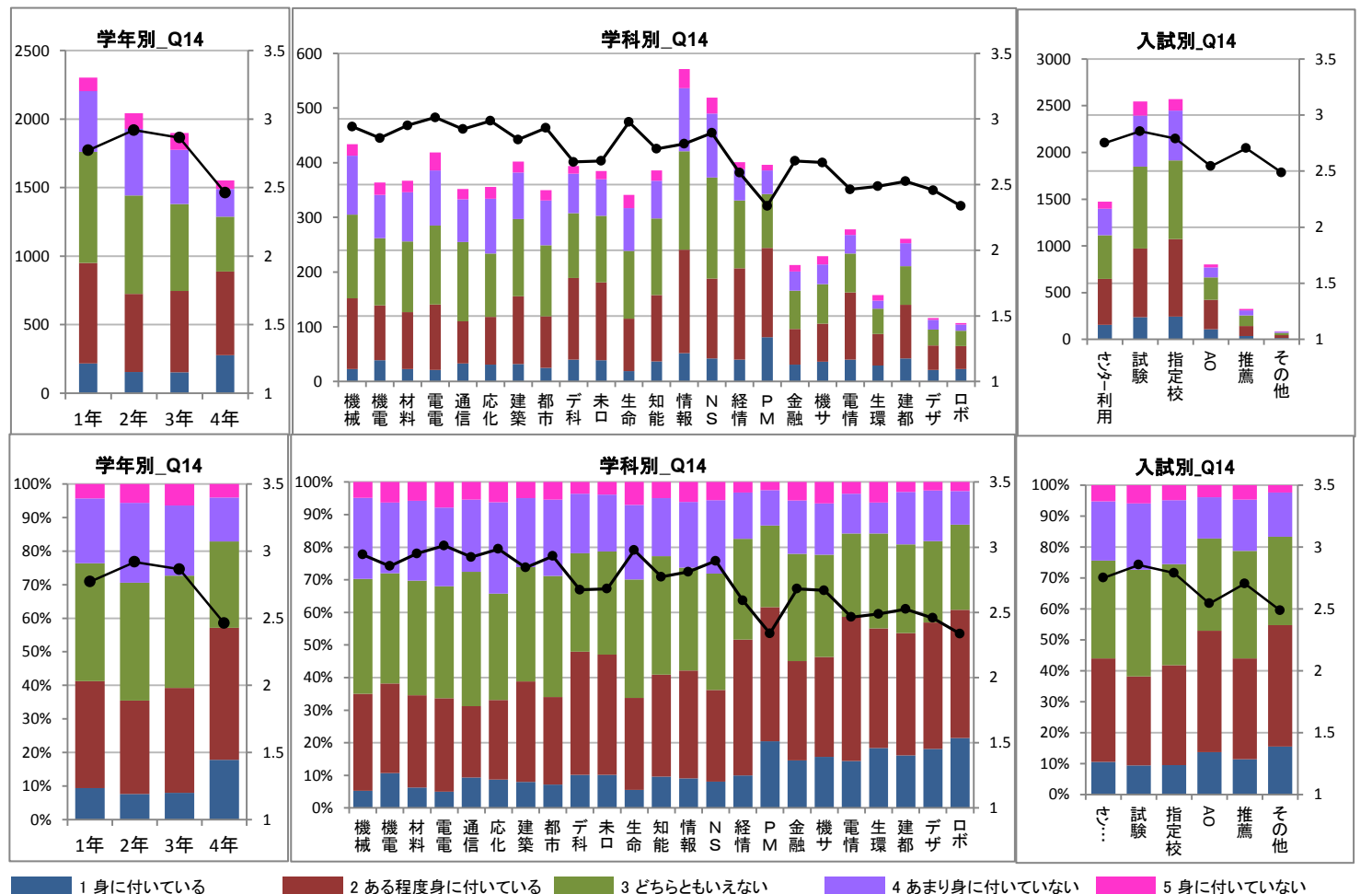
■12_専門分野における知識や技術



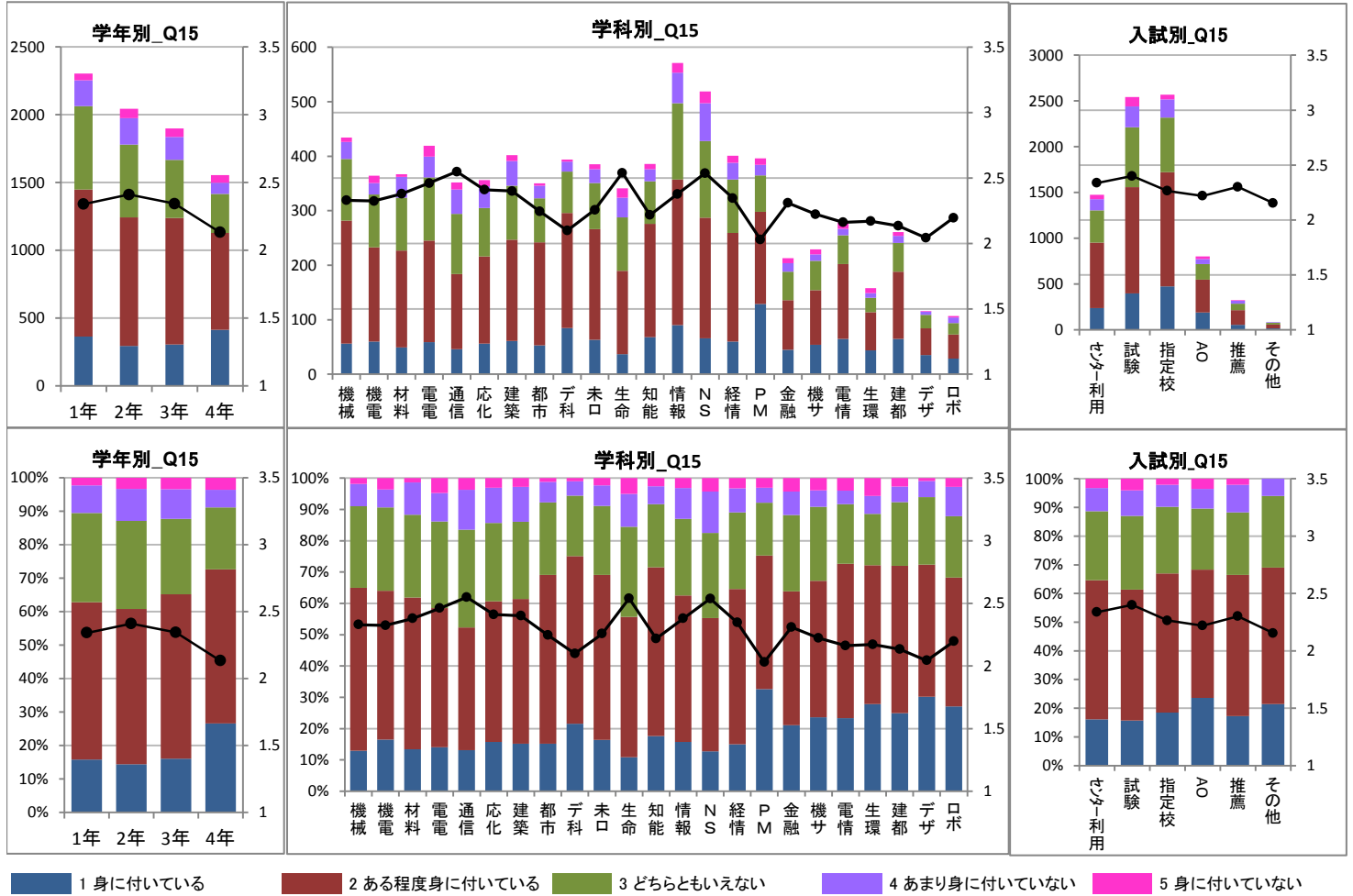
■13_自ら継続的に学ぶ能力



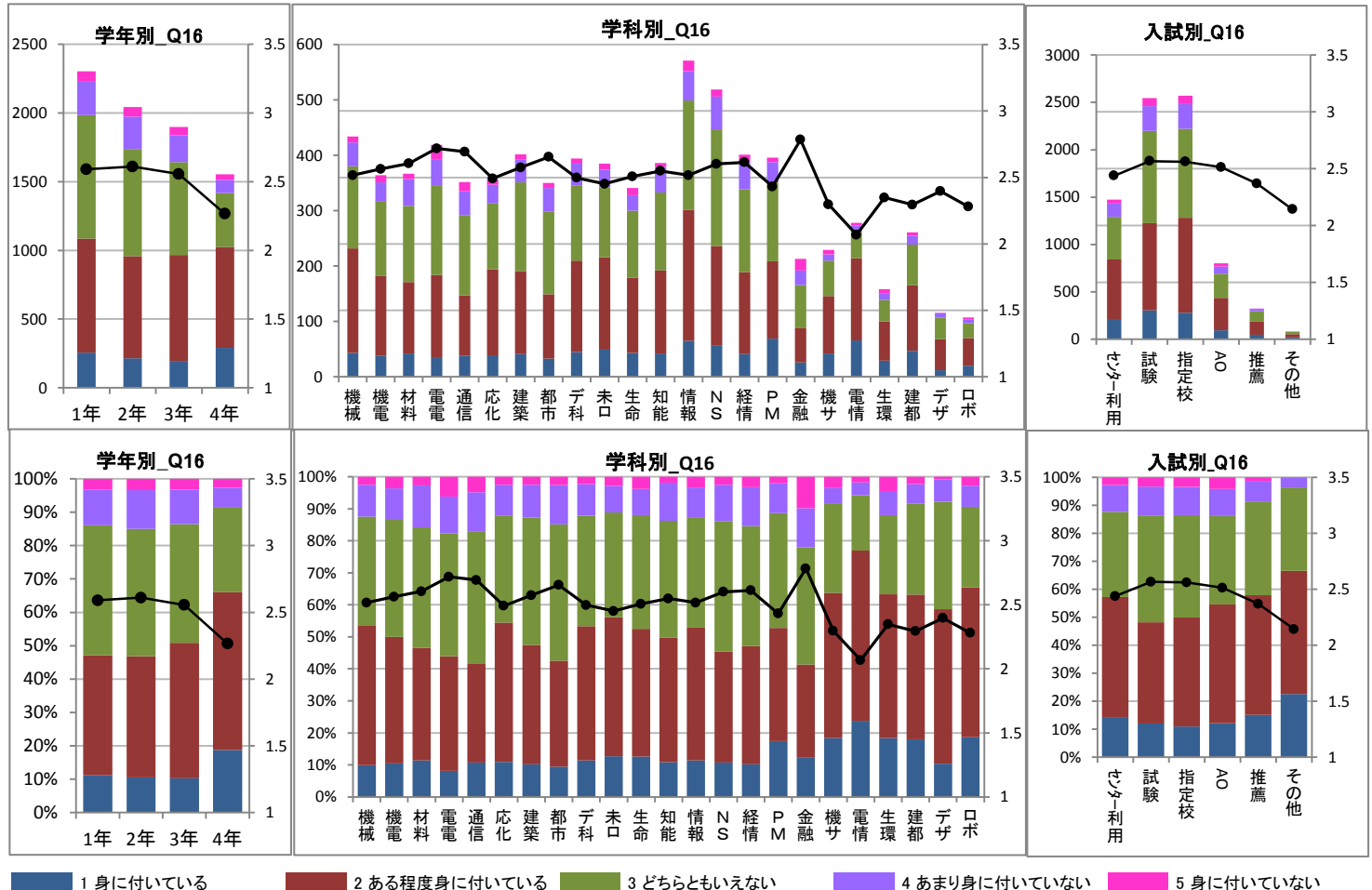
■14_自分の考えを伝えて相手の理解を得るプレゼンテーション能力



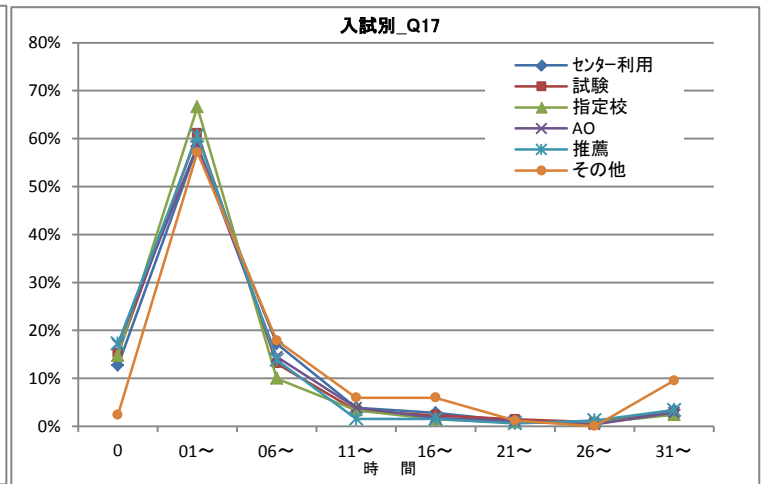
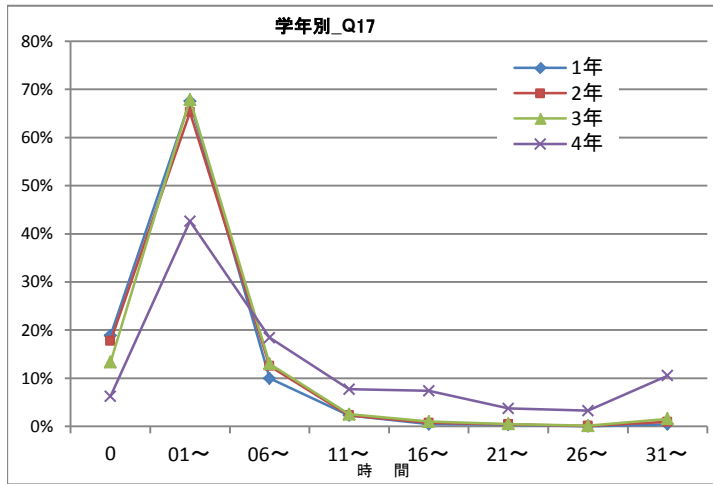
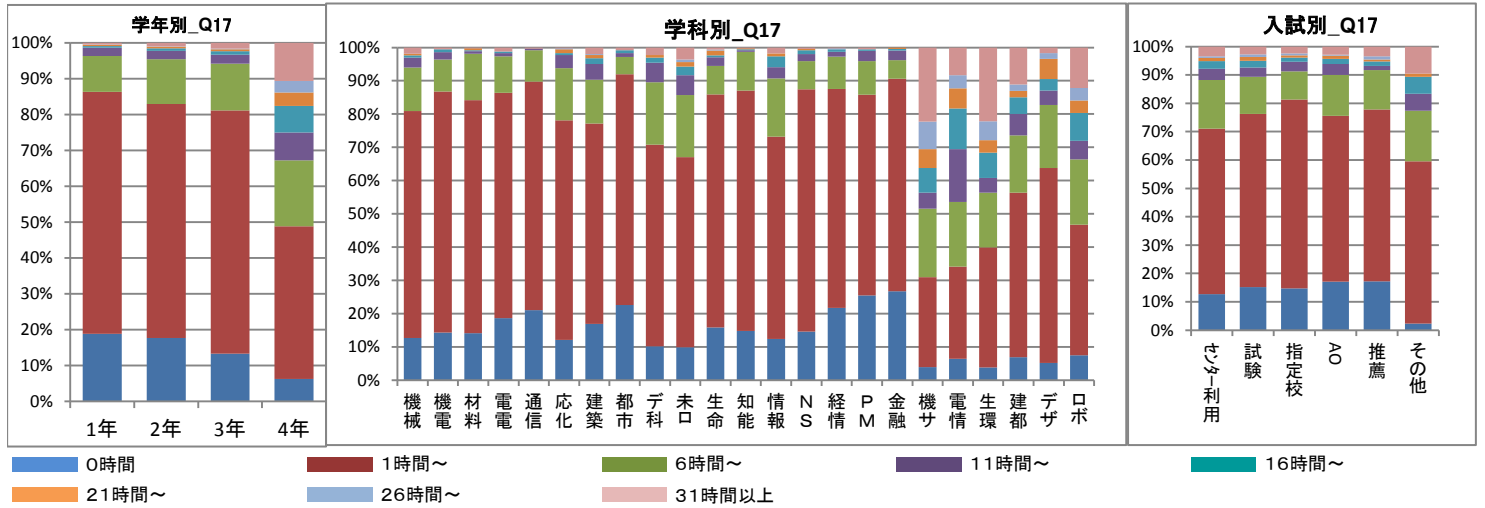
■15_共同作業を通じて他者と協力関係を作り上げる能力



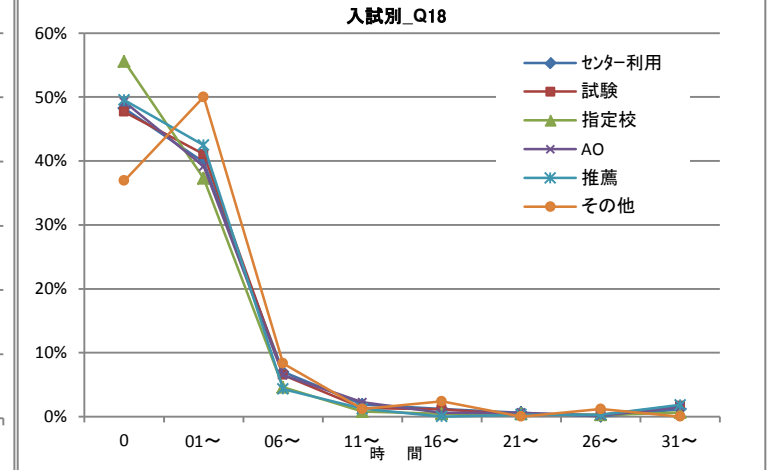
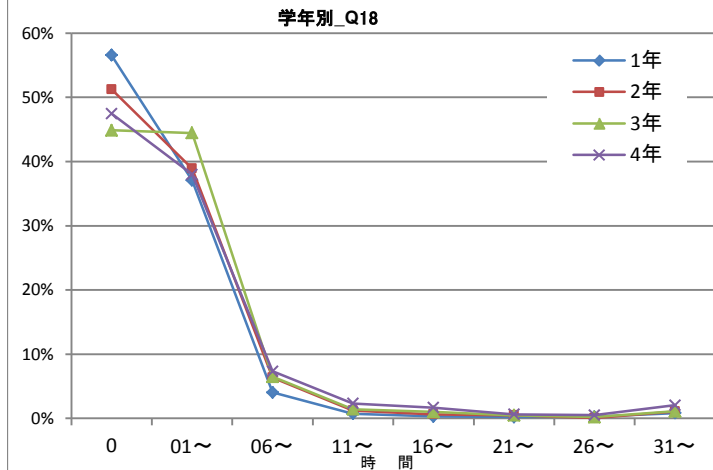
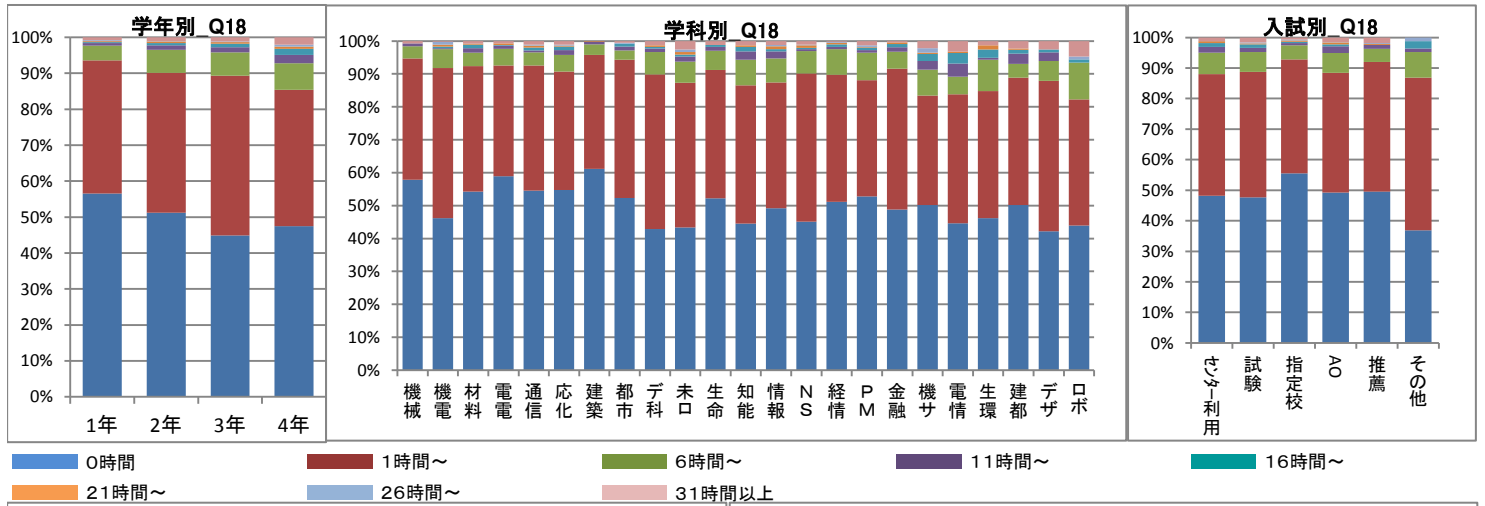
■16_技術者として持つべき倫理観



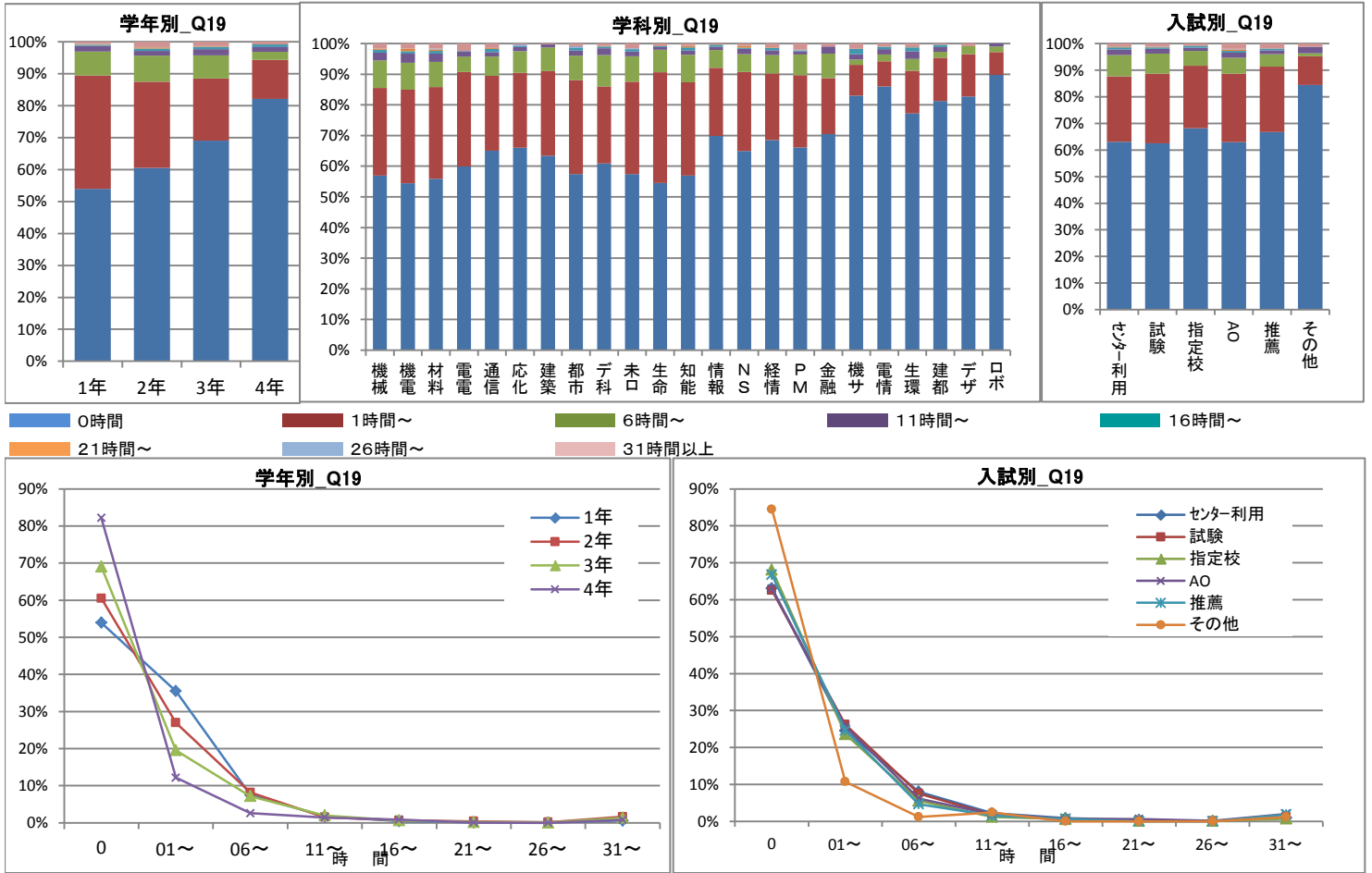
■17_授業時間以外に授業に関する学習をしている1週間当たりの時間（研究時間も含む）



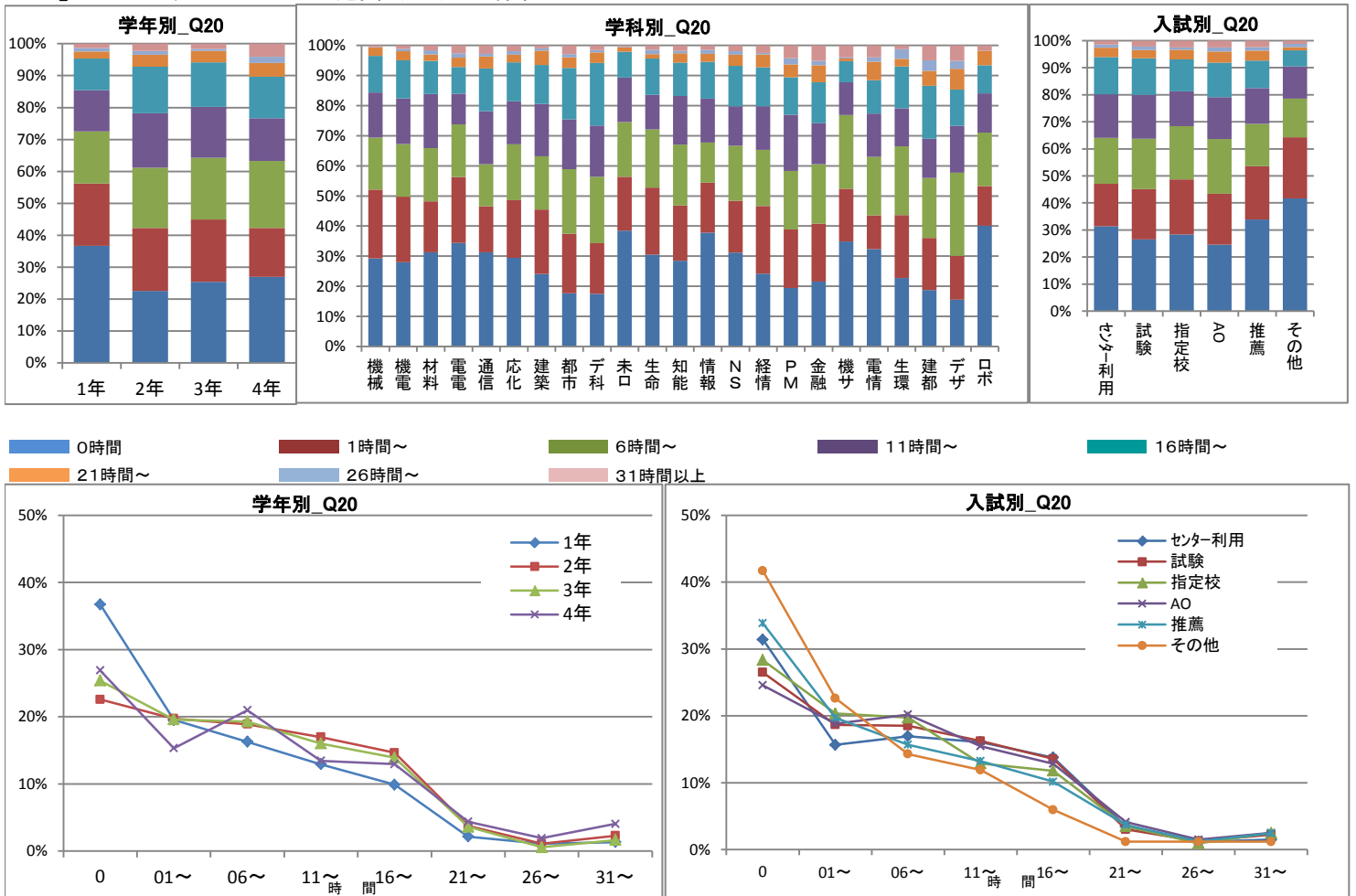
■18_授業とは直接関係のない学習をしている1週間当たりの時間（学生三会の活動・ボランティアも含む）



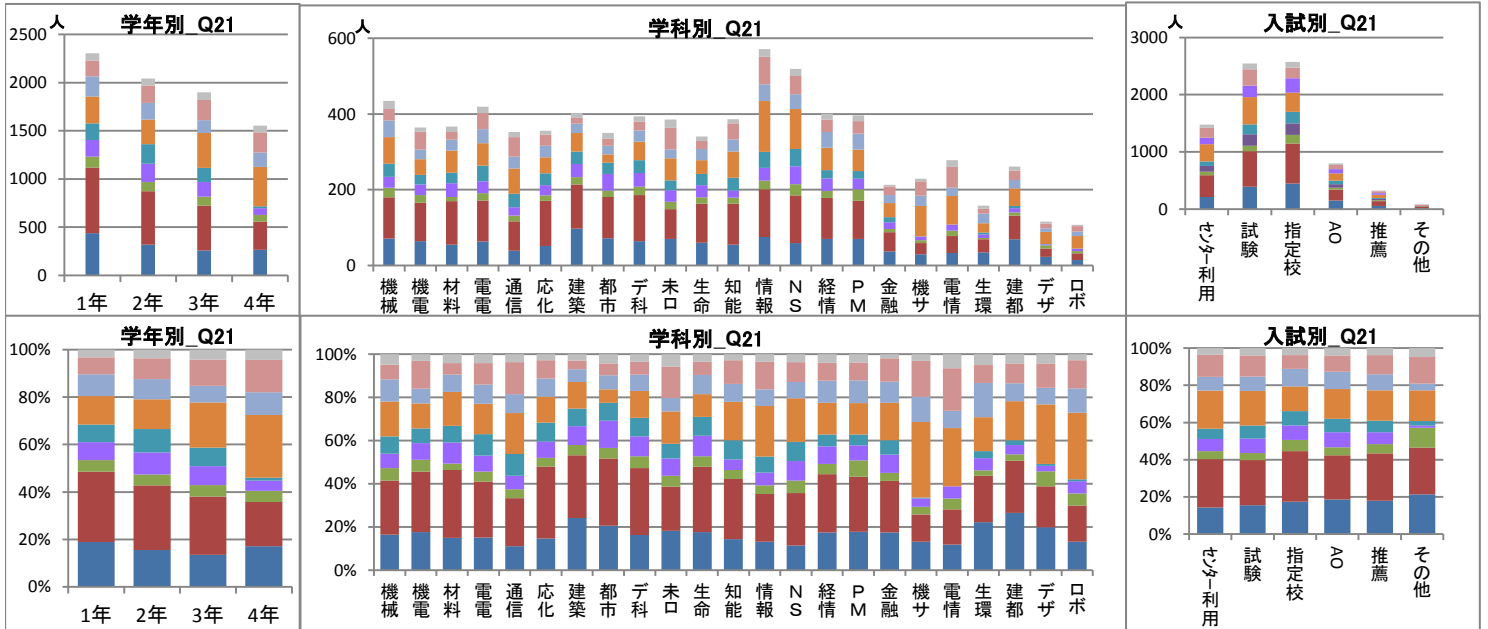
■19_クラブ活動をしている1週間当たりの時間



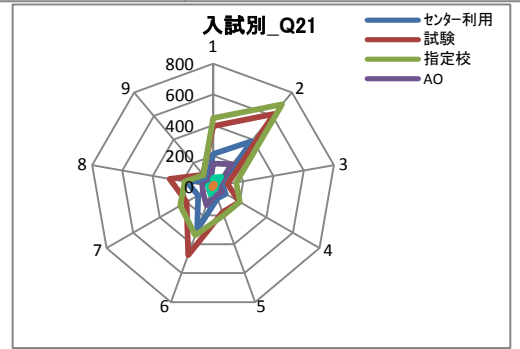
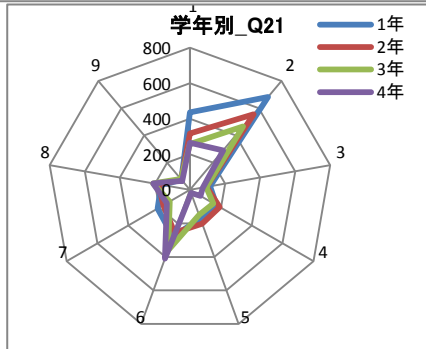
■20_アルバイトをしている1週間当たりの時間



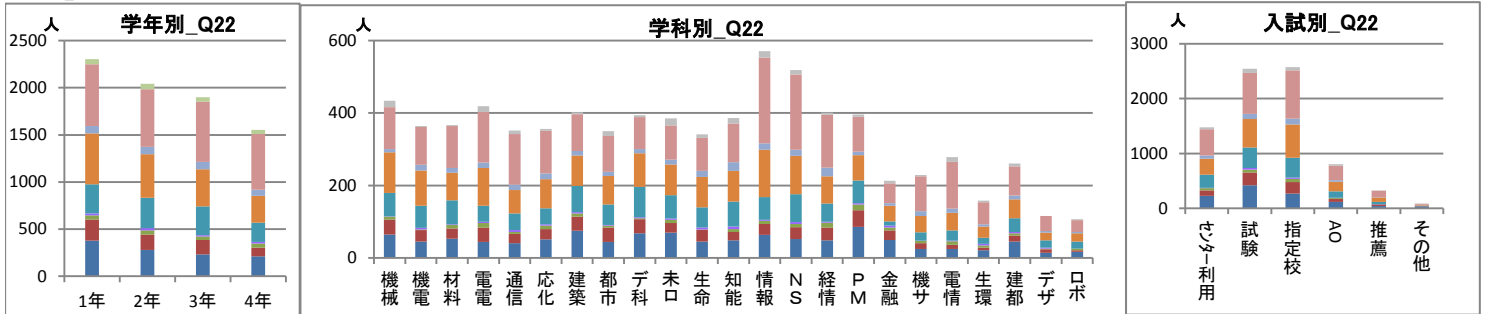
■21 授業での経験も含めてボランティア活動に対する自身の気持ちに最も当てはまるものは何ですか



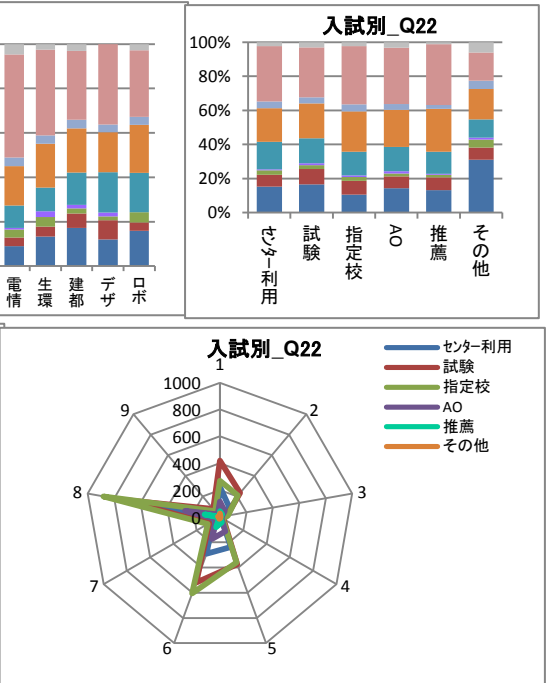
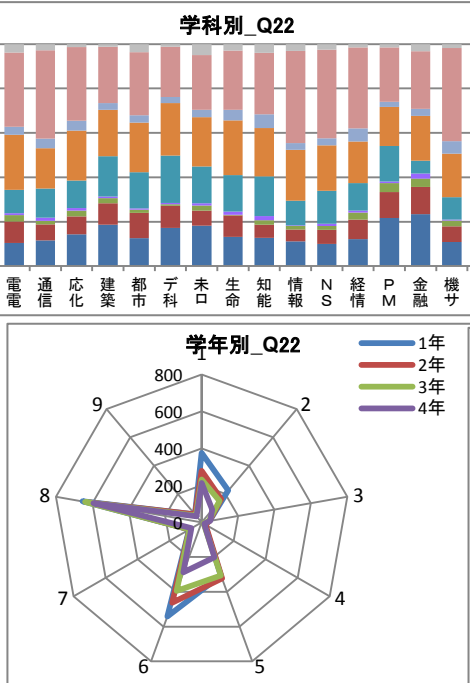
- 1. 誰かの役に立ちたいという気持ちから参加したい/参加した
- 2. 社会勉強の1つとして参加したい/参加した
- 3. 新しい出会いのために参加したい/参加した
- 4. 就職に役立つと思うから参加したい/参加した
- 5. 正課の授業だから参加したい/参加した
- 6. ボランティアに興味がない
- 7. 参加の仕方が分からない
- 8. 無給だから参加しない
- 9. その他



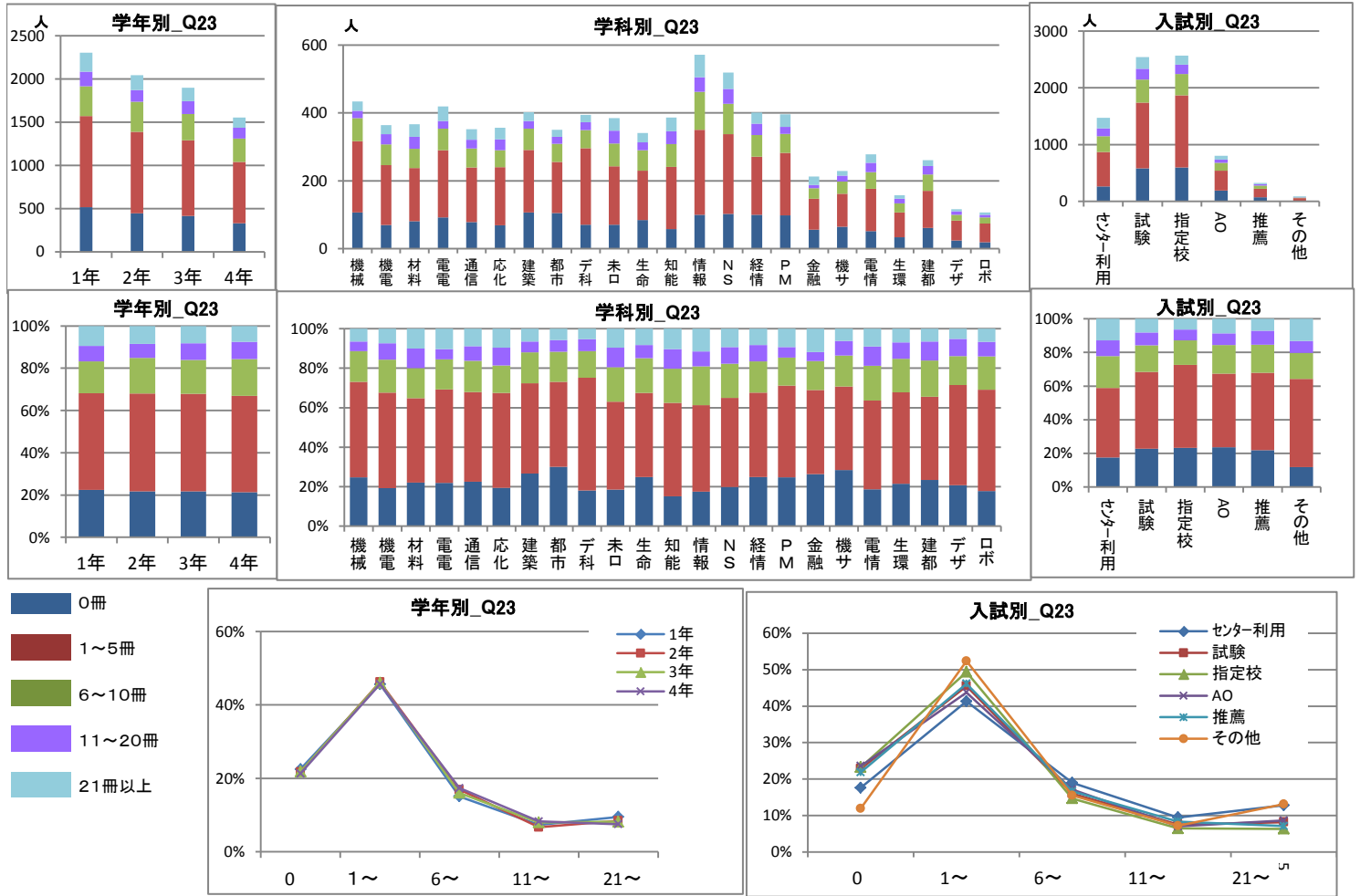
■22 海外留学について自身の気持ちに最もあてはまるものは何ですか



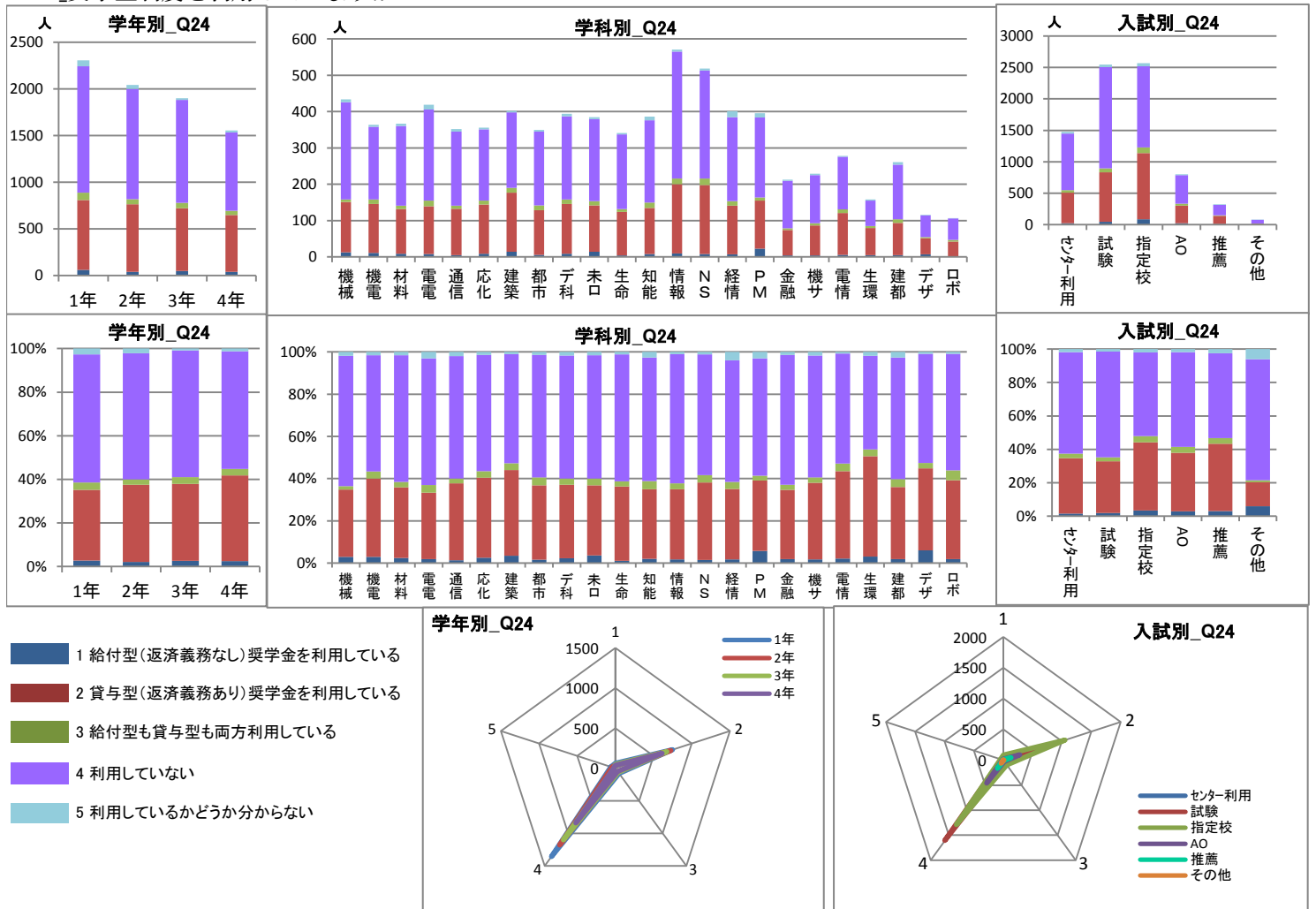
- 1 自身の見聞を広めるために留学したい/留学した
- 2 外国語を学ぶために留学したい/留学した
- 3 就職してから必要と感じているため留学したい/留学した
- 4 親に勧められているため留学したい/留学した
- 5 留学したいが経済的に余裕がない
- 6 留学したいが語学力が不安
- 7 留学したいが社会情勢や治安が不安
- 8 留学したくない
- 9 その他



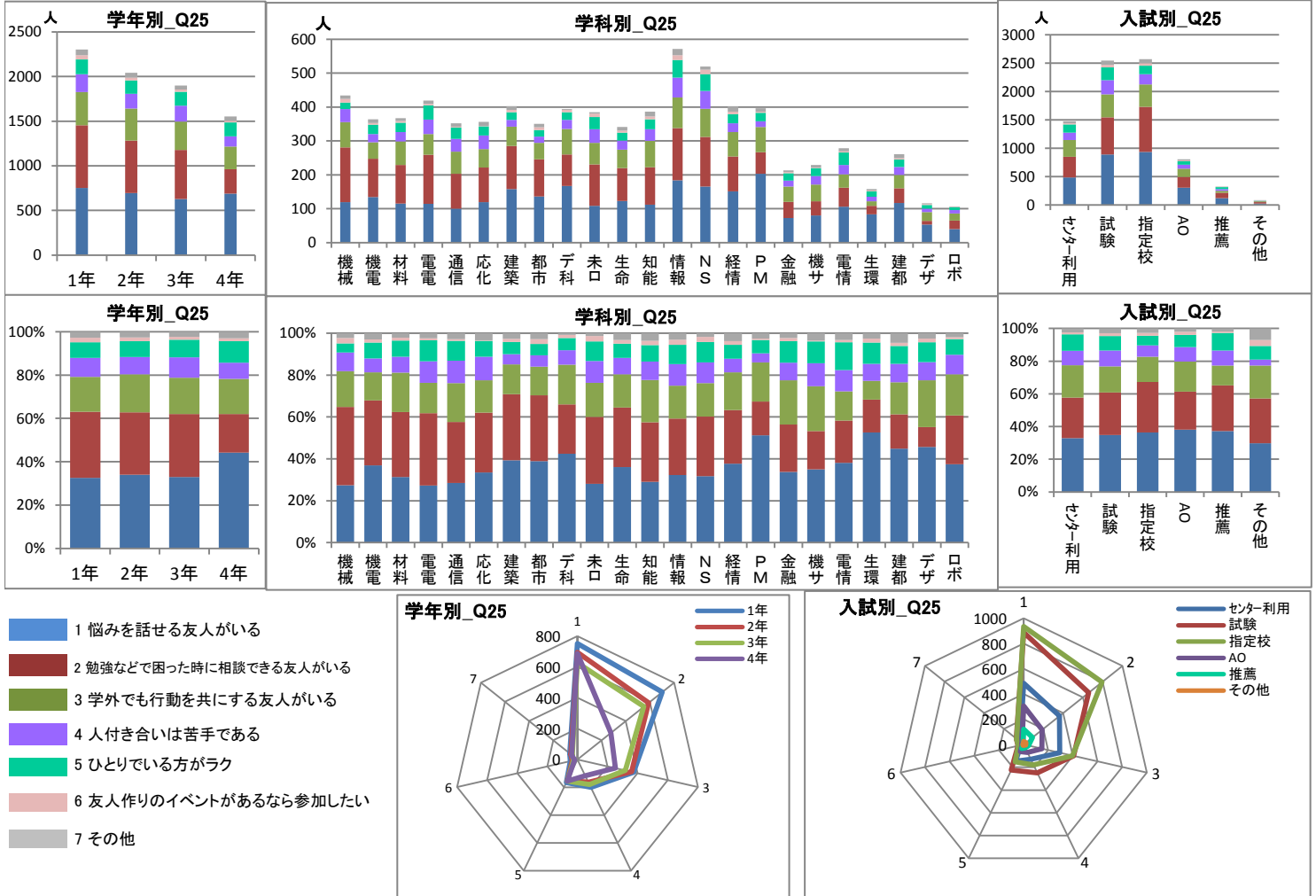
■23_最近1年間に書籍（雑誌は除く）など、何冊読みましたか



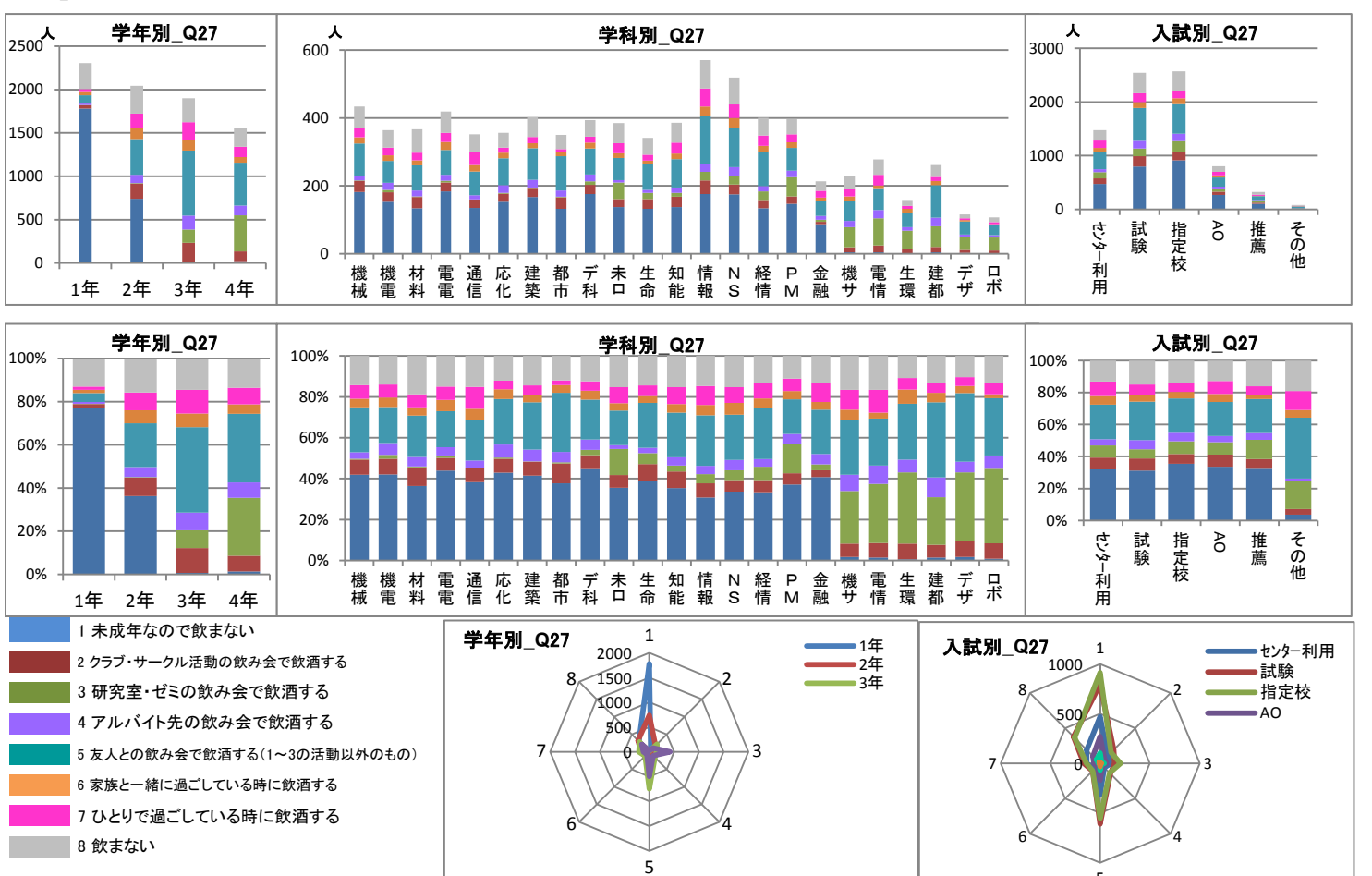
■24_奨学金制度を利用していますか



■25_「友人」について最もあてはまるものを選んでください



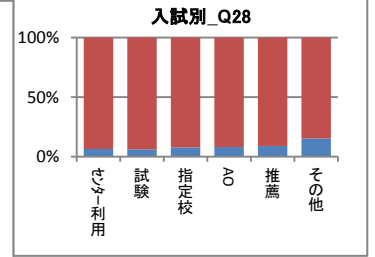
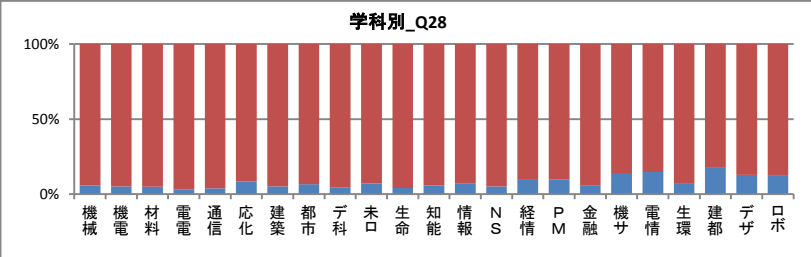
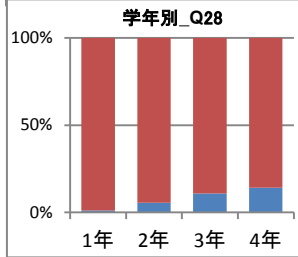
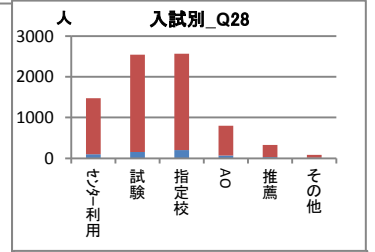
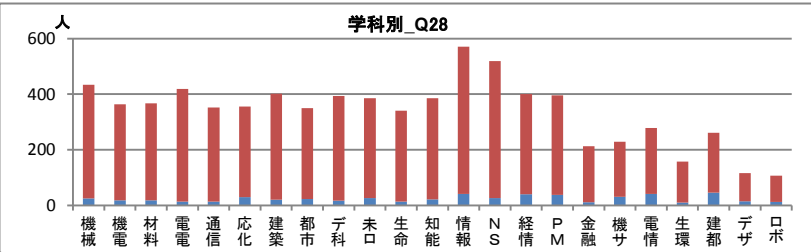
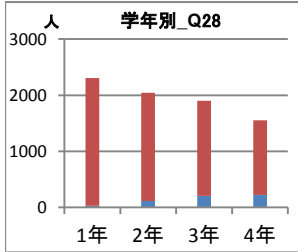
■27_飲酒について最も当てはまるものは何ですか



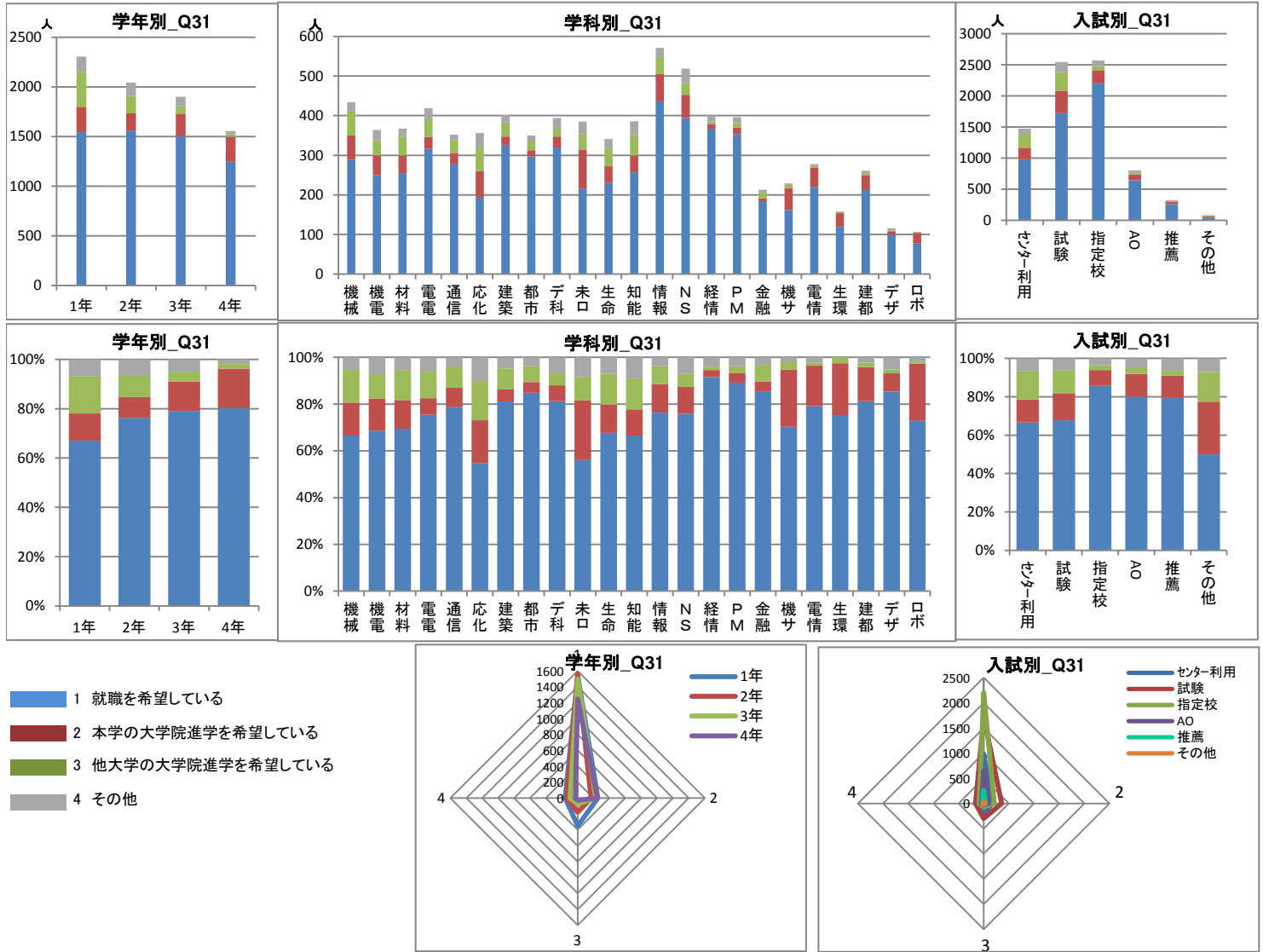
■28_あなたは喫煙しますか

1 はい

2 いいえ

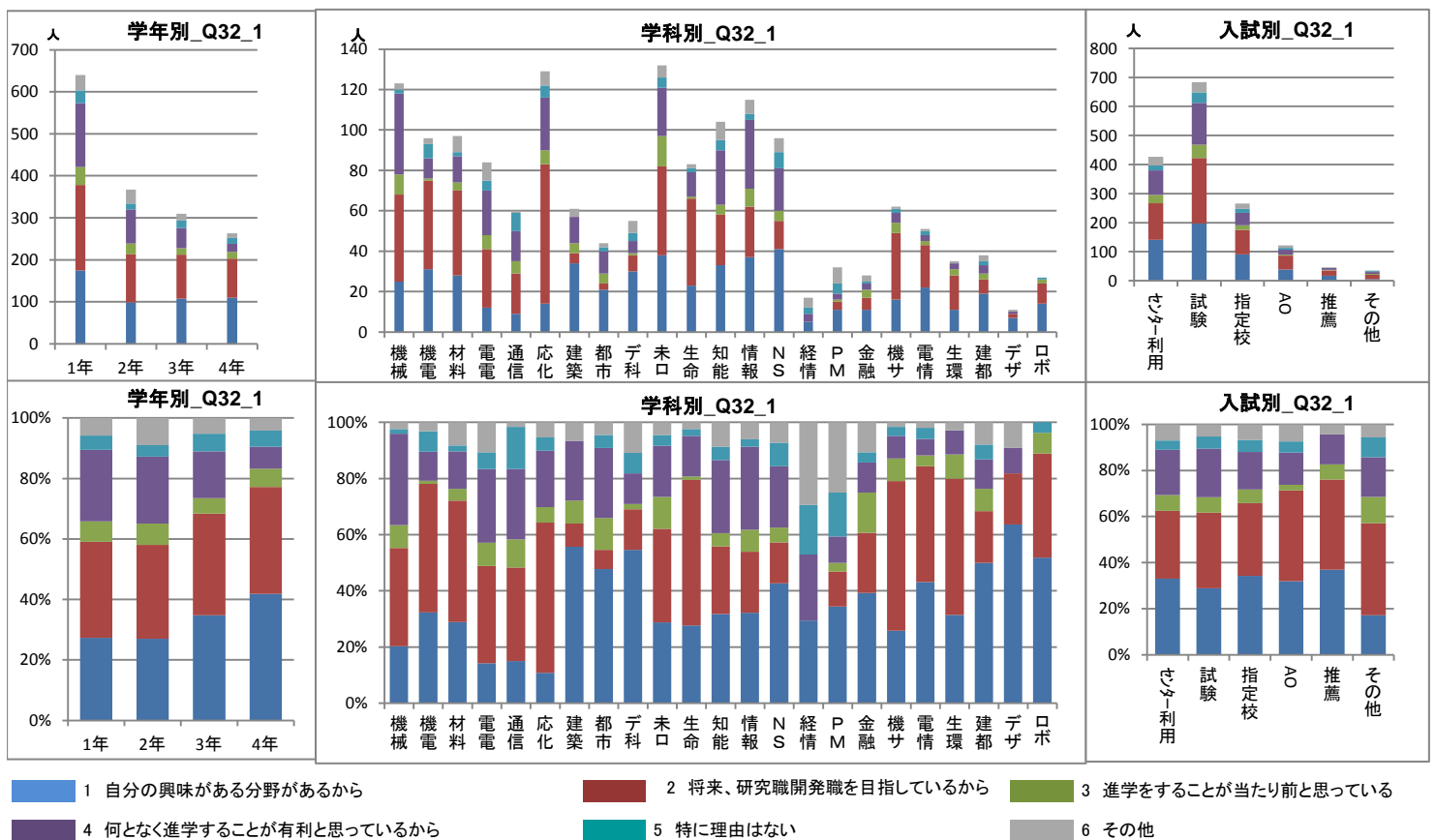


■31_学部卒業後の進路として就職と大学院進学のどちらを希望していますか

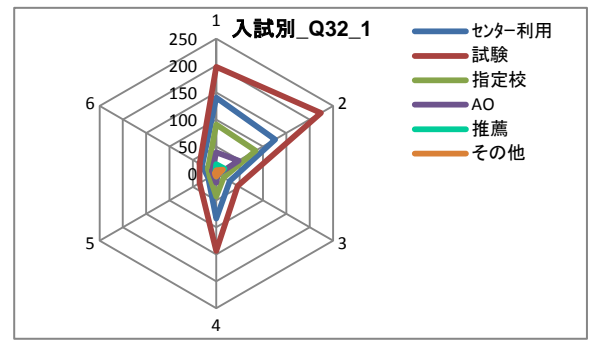
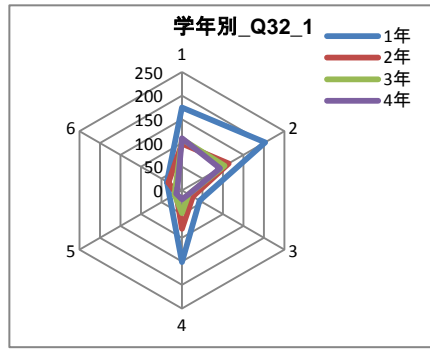


■32_大学院進学を希望する理由、または希望しない理由は何ですか

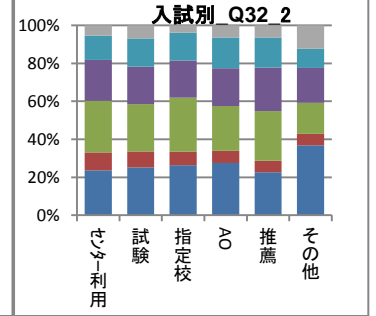
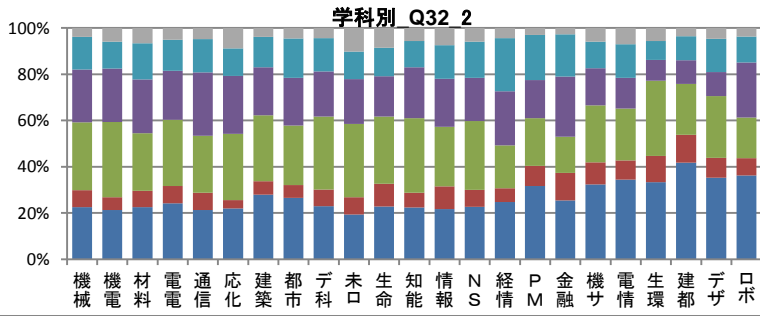
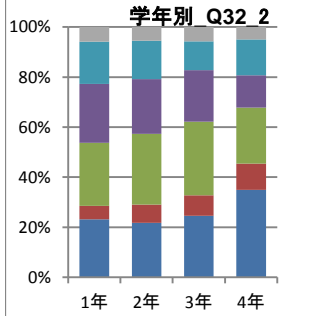
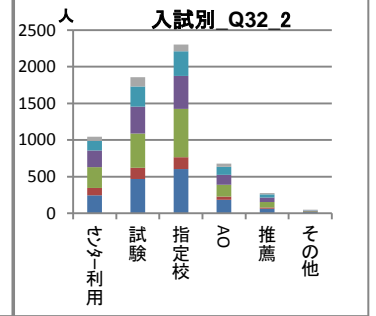
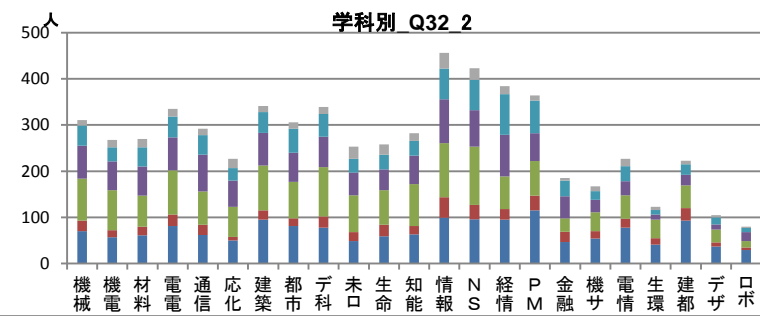
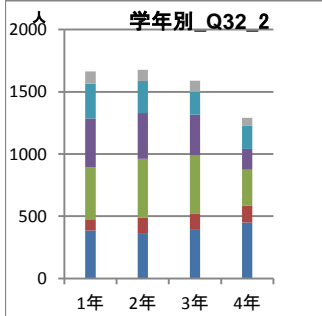
【大学院進学を希望する理由】



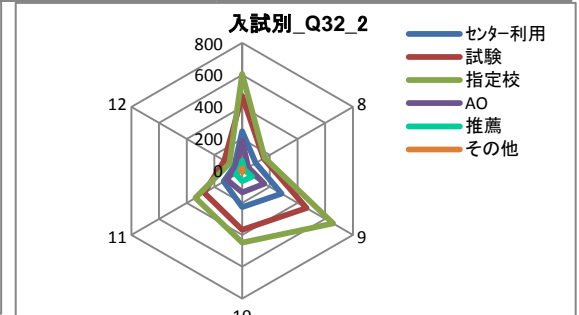
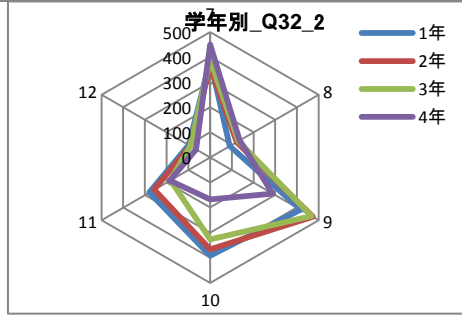
- 1 自分の興味がある分野があるから
- 2 将来、研究職・開発職を目指しているから
- 3 進学をすることが当たり前と思っているから
- 4 何となく(漠然と)進学することが有利と思っているから
- 5 特に理由はない
- 6 その他



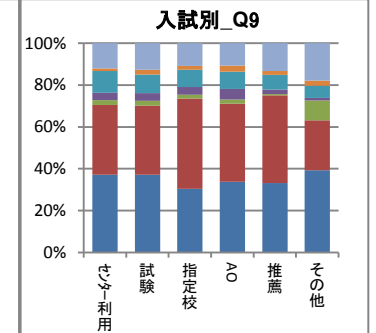
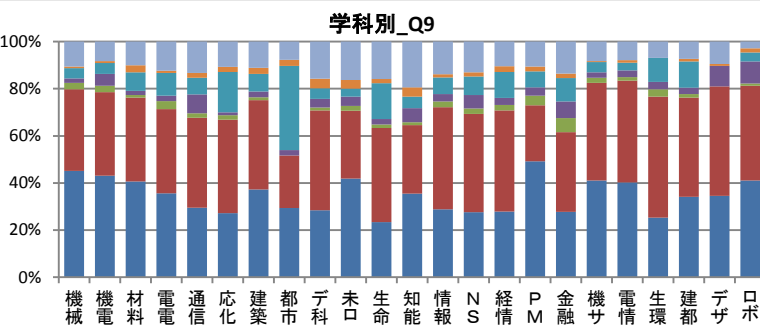
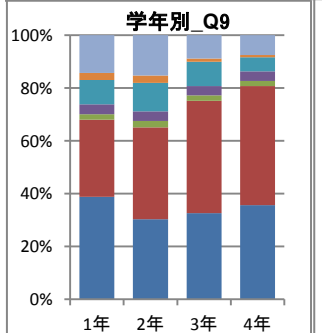
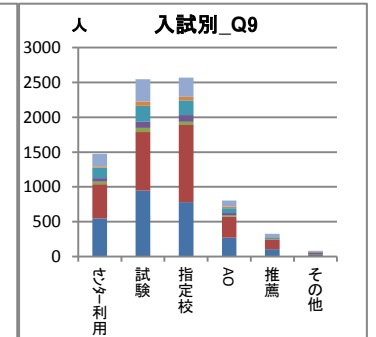
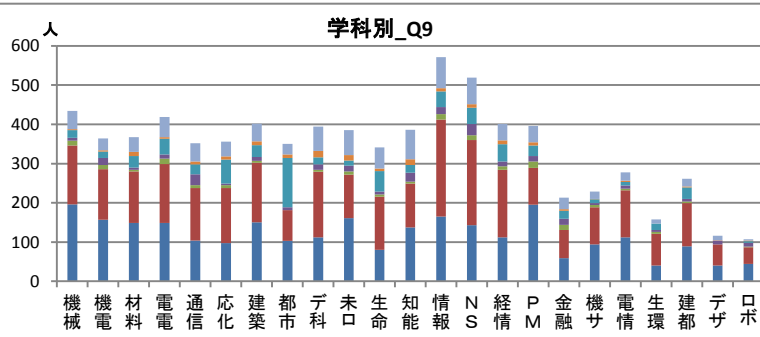
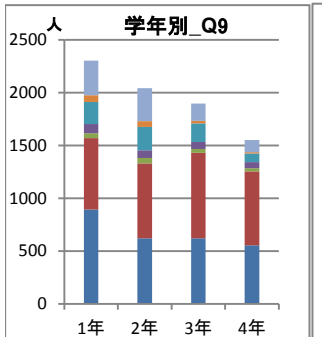
【大学院進学を希望しない理由】



- 7 早く社会に出て活躍したいから
- 8 大学院の専門性に興味がないから
- 9 経済的に困難だから
- 10 進学するイメージがわからないから
- 11 特に理由はない
- 12 その他

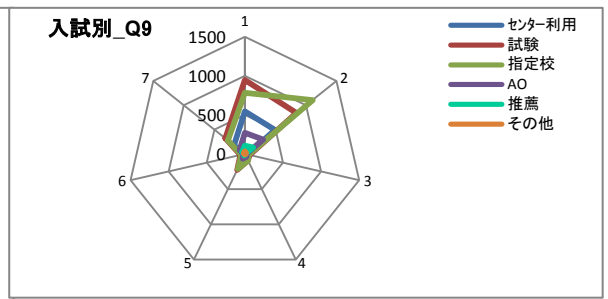
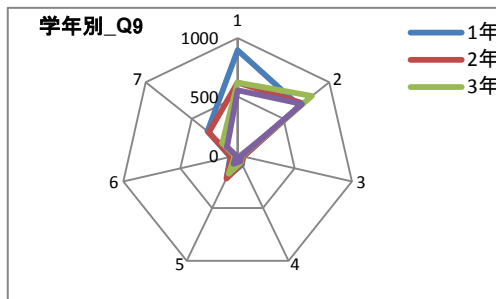


■33_卒業後の進路をどのように考えていますか (院進学を希望は大学院修了後を意識)

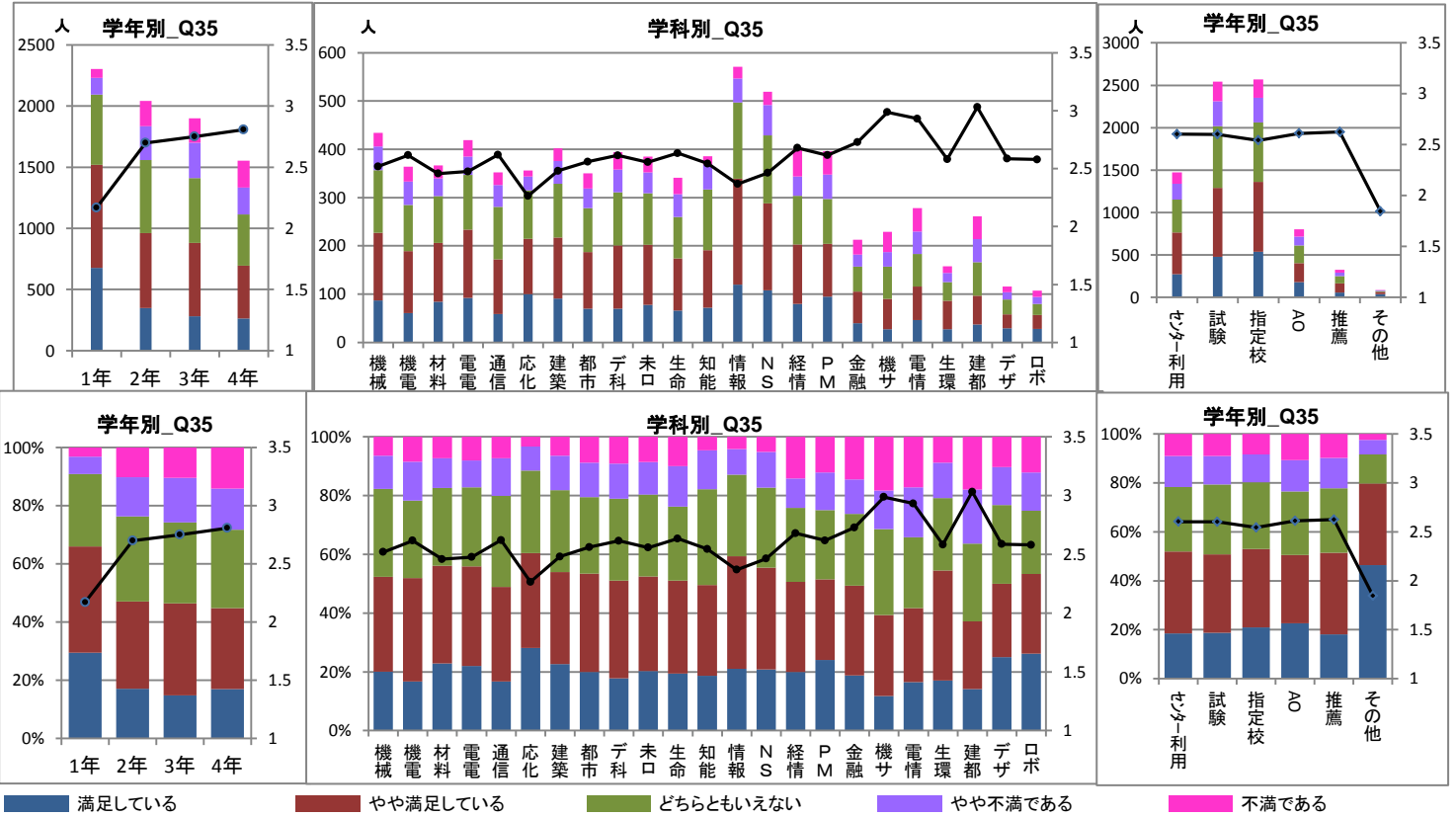


- 1 大手・上場企業への就職
- 2 中小企業への就職
- 3 外資系企業への就職
- 4 パート企業への就職
- 5 公務員・教員への就職
- 6 起業
- 7 その他

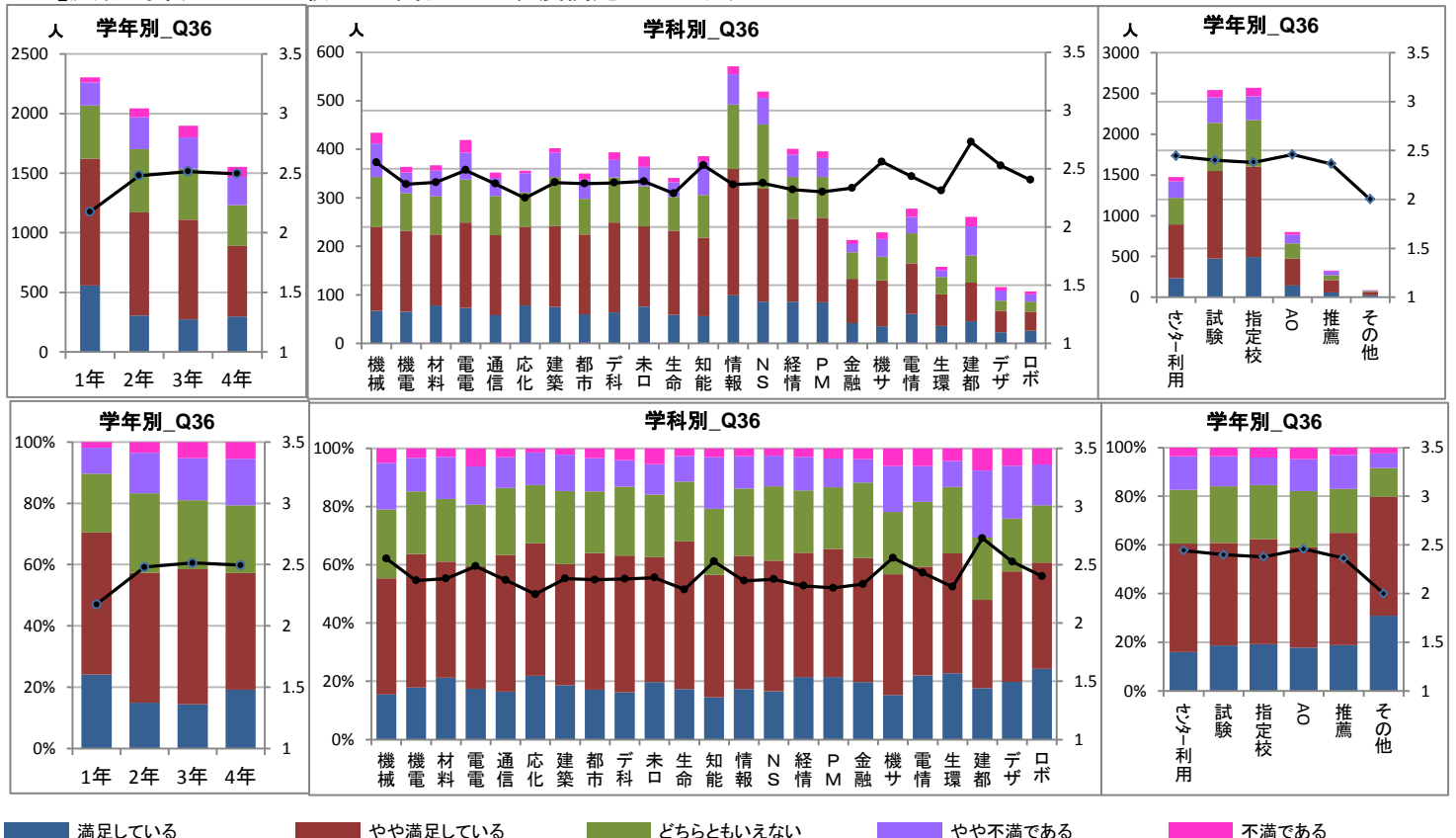
- 1 大手・上場企業への就職
- 2 中小企業への就職
- 3 外資系企業への就職
- 4 ベンチャー企業への就職
- 5 公務員・教員への就職
- 6 起業
- 7 その他



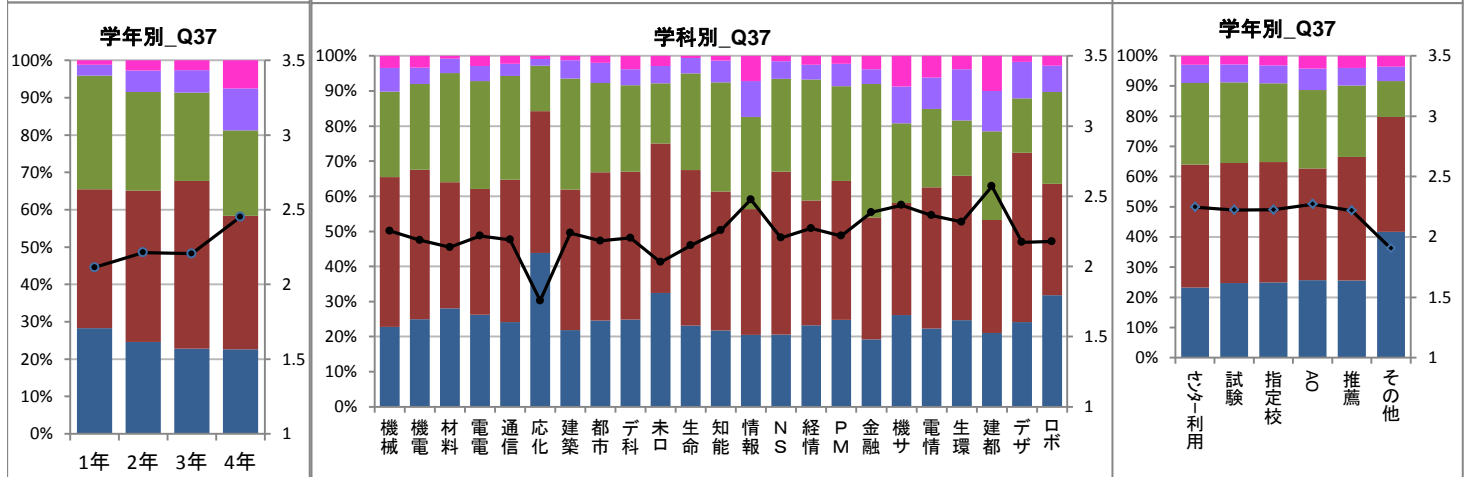
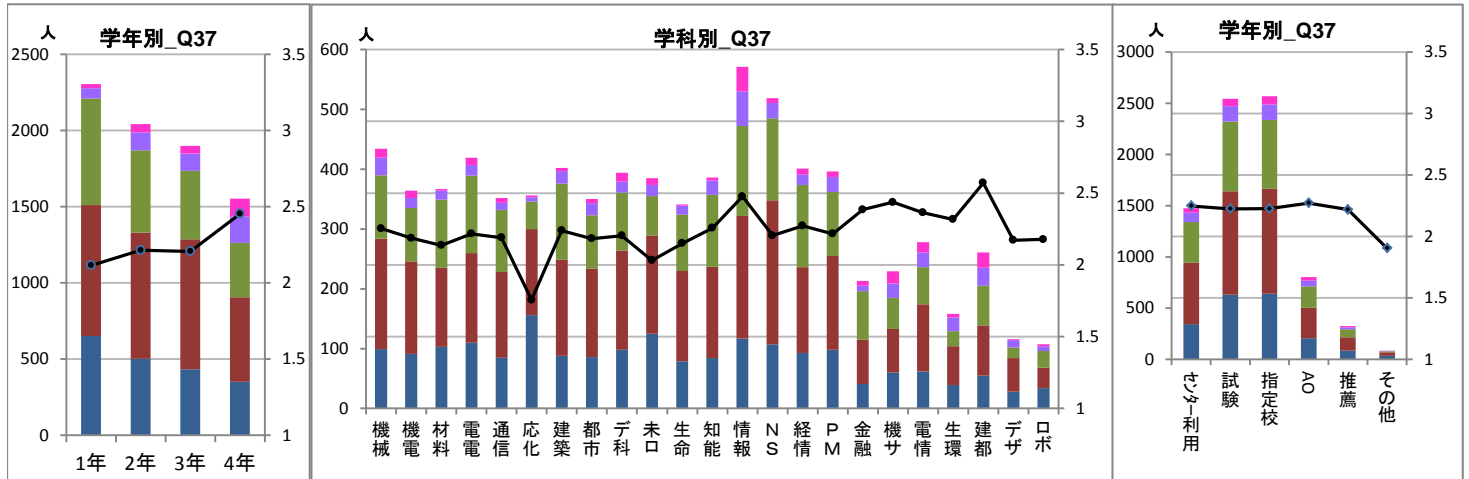
■35_本学の事務スタッフの対応についてどの程度満足していますか



■36_授業を受ける上で、教室の環境にどの程度満足していますか

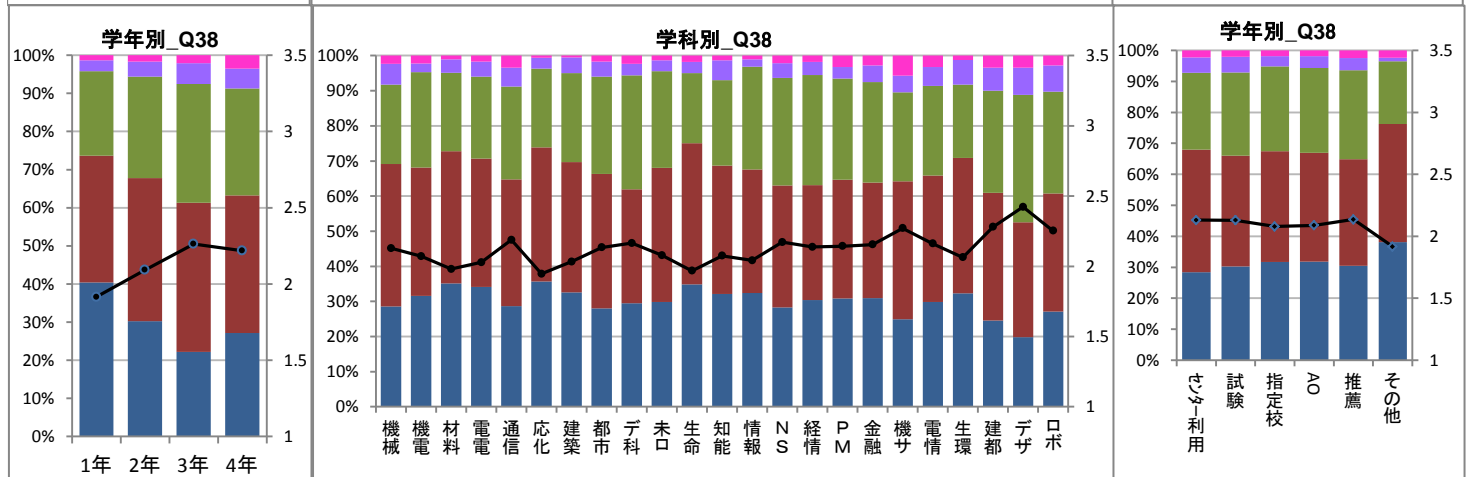
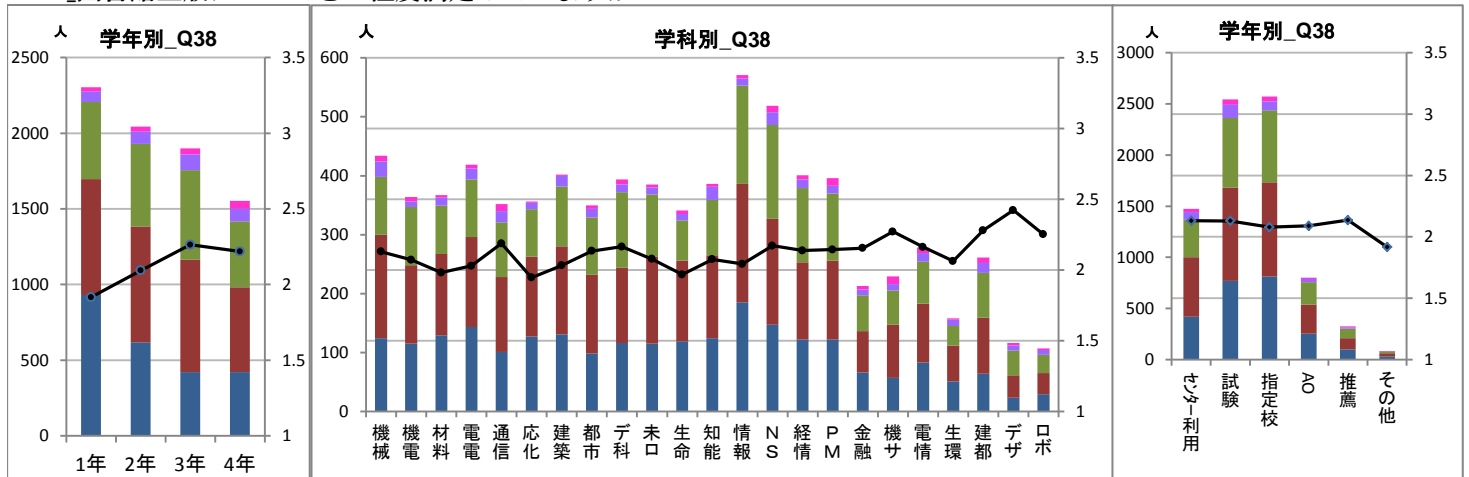


■37_実験・実習の設備や機器についてどの程度満足していますか



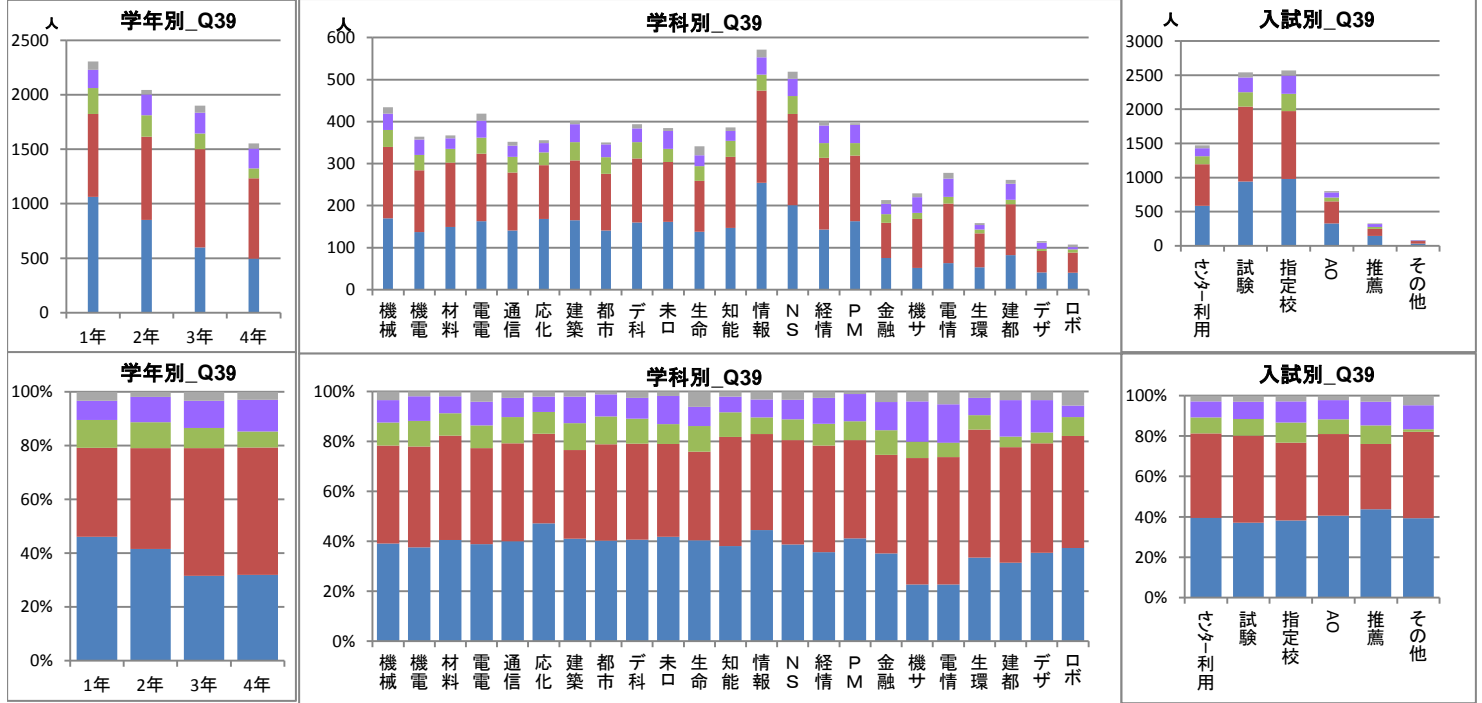
■ 満足している ■ やや満足している ■ どちらともいえない ■ やや不満である ■ 不満である

■38_図書館全般についてどの程度満足していますか



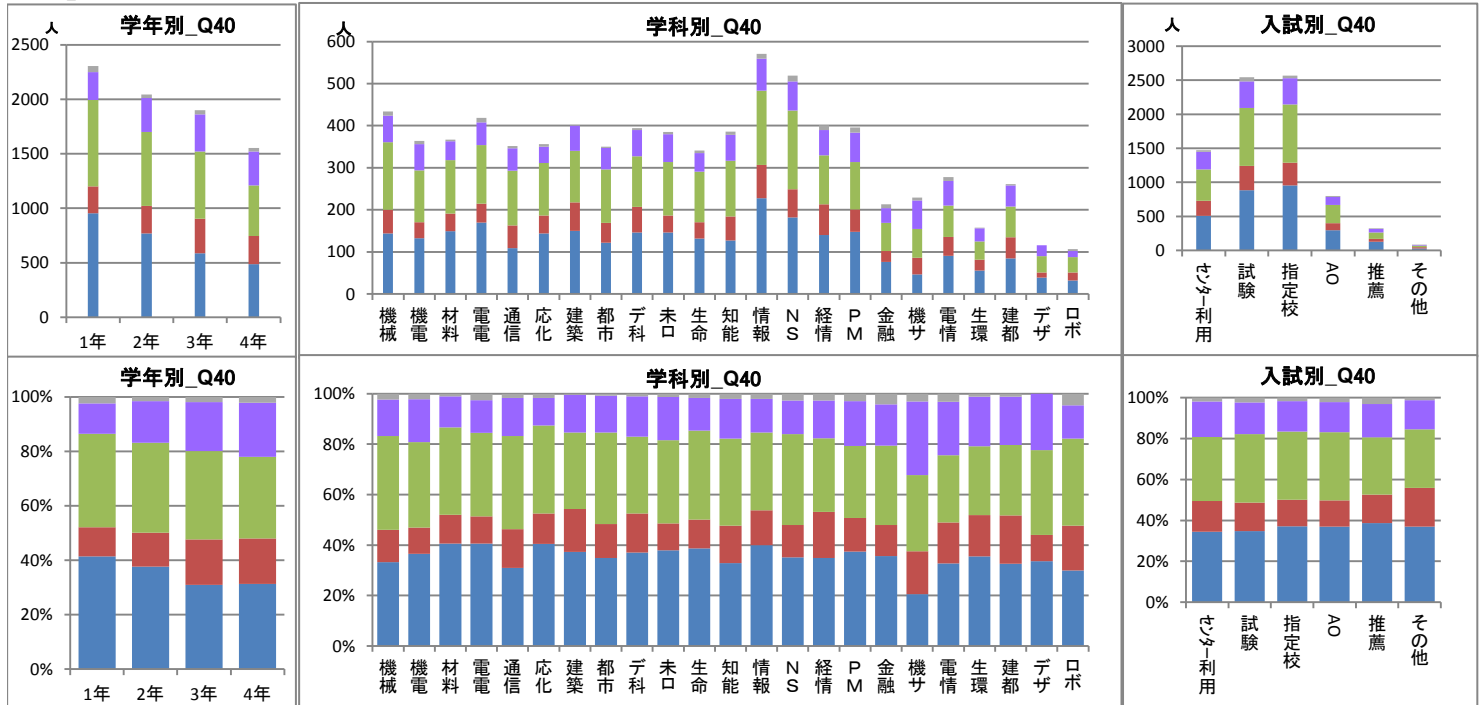
■ 満足している ■ やや満足している ■ どちらともいえない ■ やや不満である ■ 不満である

■39_学生食堂についてどのように感じていますか



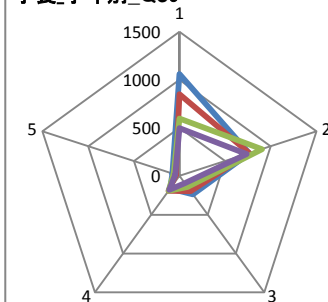
1 価格・メニューともに満足している 2 価格には満足している 3 メニューには満足している 4 不満足である 5 利用したことがない

■40_購買についてどのように感じていますか



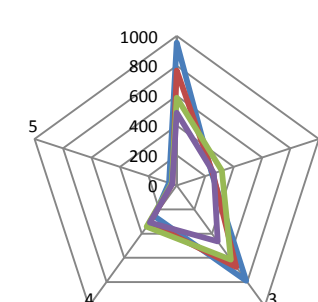
1 品揃え・価格ともに満足している 2 価格には満足している 3 品揃えには満足している 4 不満足である 5 利用したことがない

学食_学年別_Q39



- 1 価格・メニューともに満足している
- 2 価格には満足している
- 3 メニューには満足している
- 4 不満足である
- 5 利用したことがない

購買_学年別_Q40₁



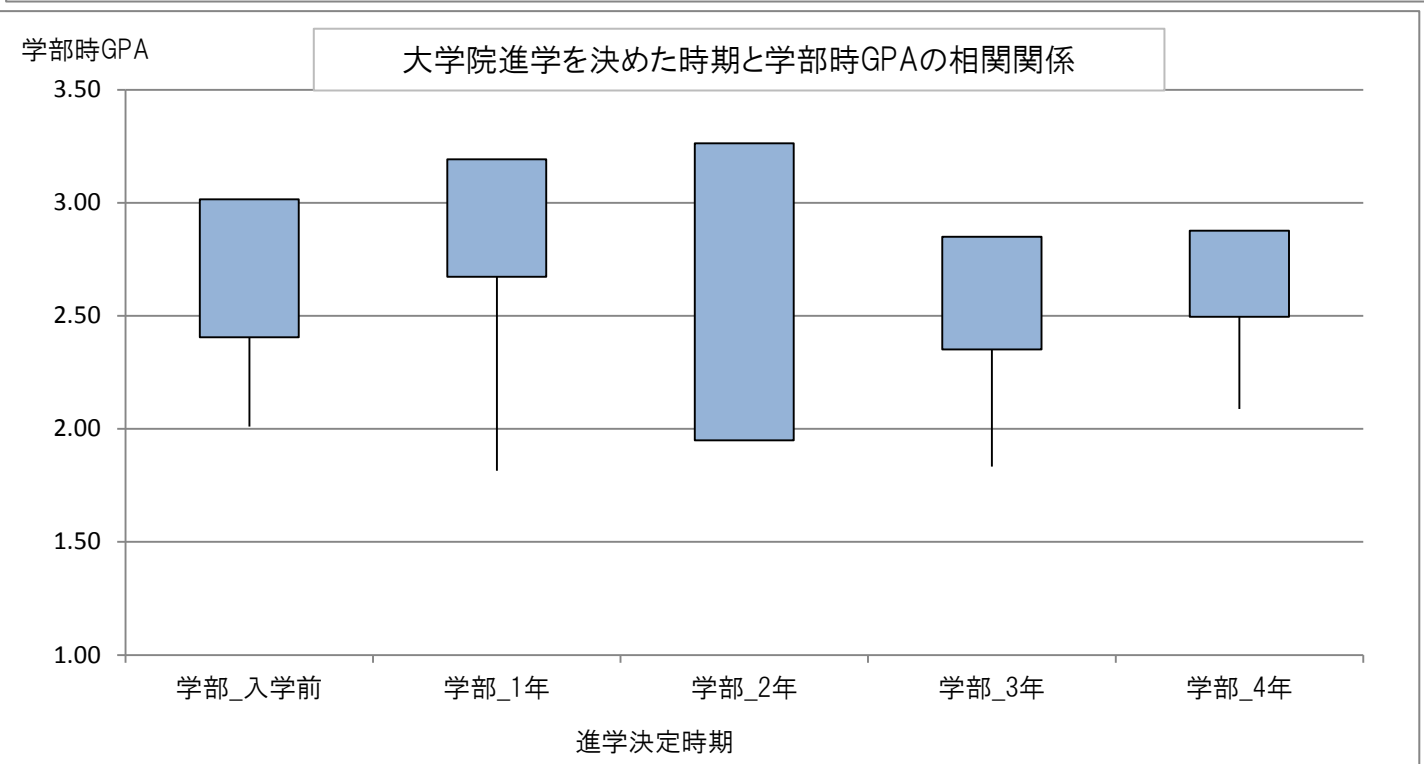
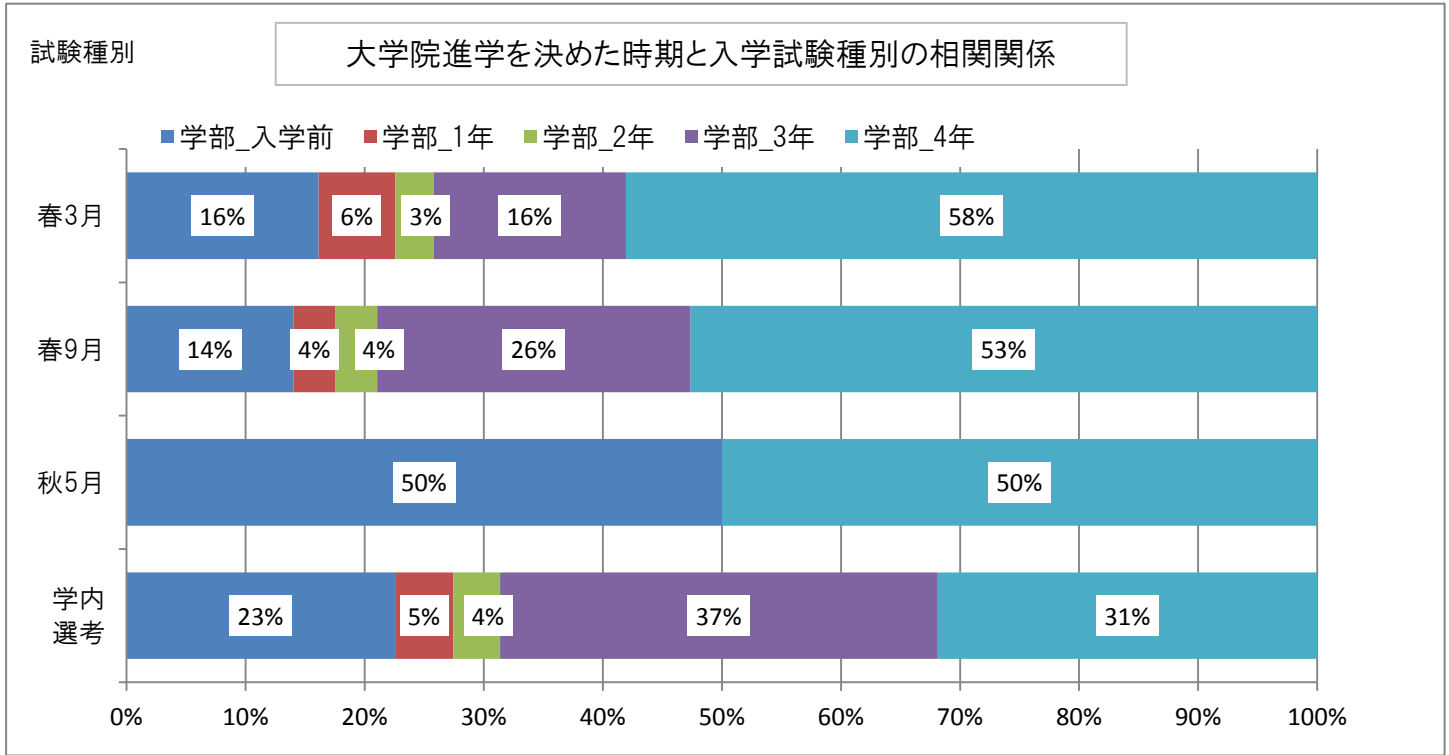
- 1 品揃え・価格ともに満足している
- 2 価格には満足している
- 3 品揃えには満足している
- 4 不満足である
- 5 利用したことがない

1. 大学院進学を決めた時期と試験種・成績の関係

進学を決めた時期データと入学試験種別・学部時GPA関連データ

[所見]

学部生が大学院進学を決めた時期と入学試験種別との相関では、やはり入学試験の時期が遅くなるほど学部4年生で決定した割合が高くなる傾向にある。全体的には研究室に配属される3年次後期及び4年次が決定時期であり、専門分野を深く学ぶことで進学意欲が高まる傾向を確認できる。次に学部時GPA値との相関では、トップ層に高い値があるのは学部入学前、学部1年次、学部2年次となっており、初期段階における学びの動機付けで啓発されることことで、高いモチベーションが維持されるものと考えられる。但し、ボトム層については、概ね差異が見られない傾向にある。



[グラフ&集計方法の解説]

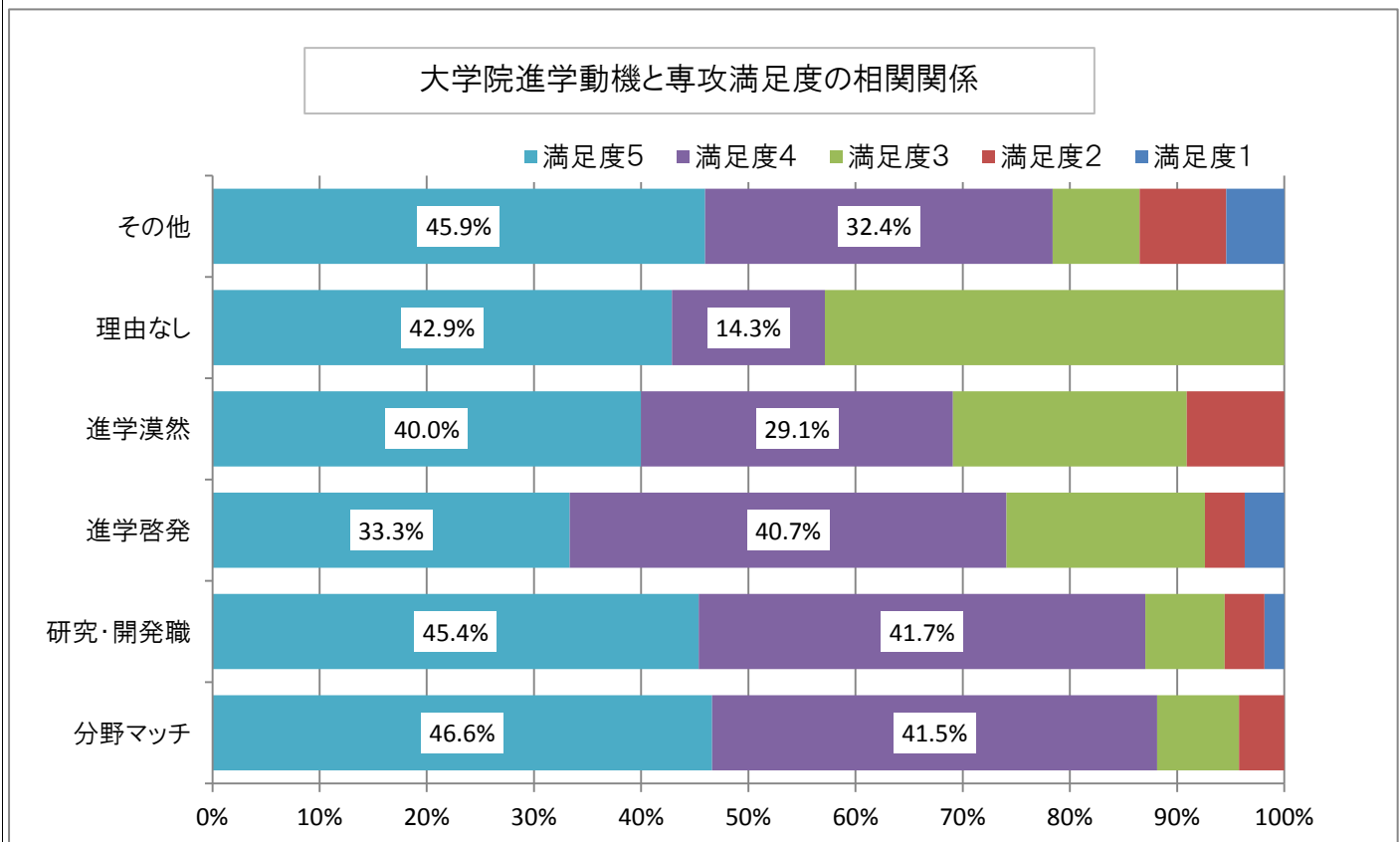
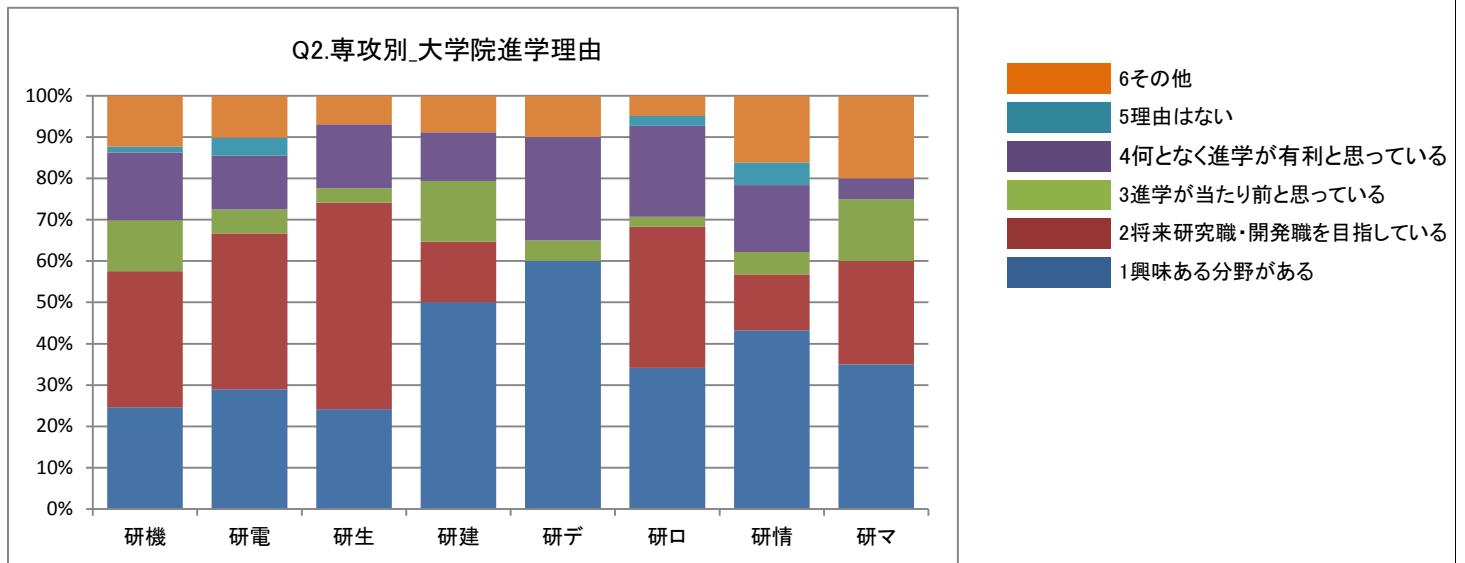
学部時GPA値: 本学学部からの進学者のみが対象で、学部卒業時の成績からGPAを再算出した値

2. 大学院の進学動機と満足度の関係性

進学動機データ・専攻満足度相関データ

[所見]

進学動機は今後も大学院進学者を確保するうえで重要なデータとなる。今回調査の場合、専攻別においては概ね「興味ある分野がある」及び「将来研究職や開発職を目指している」の回答割合が50%以上となり、半数以上は自身のやりたいことや将来を考慮して進学する傾向となった。一方で「何となく進学が有利」、「理由はない」及び「その他」の回答率は概ねの専攻で30%程度となっているため、モチベーションの維持・向上は重要であると思われる。また、専攻満足度との相関関係では、想定どおり、動機が明確であるほど満足度は高くなる傾向にあるため、学部学生への意識啓発では、細かい研究分野やキャリアパスを重点的に伝える必要があると考える。



[グラフ&集計方法の解説]

進学動機と専攻満足度の相関は、満足度⇒Q3(専攻満足度)の結果を集計した値

回答 1⇒満足度5 2⇒満足度4 3⇒満足度3 4⇒満足度2 5⇒満足度1 に置き換えて集計

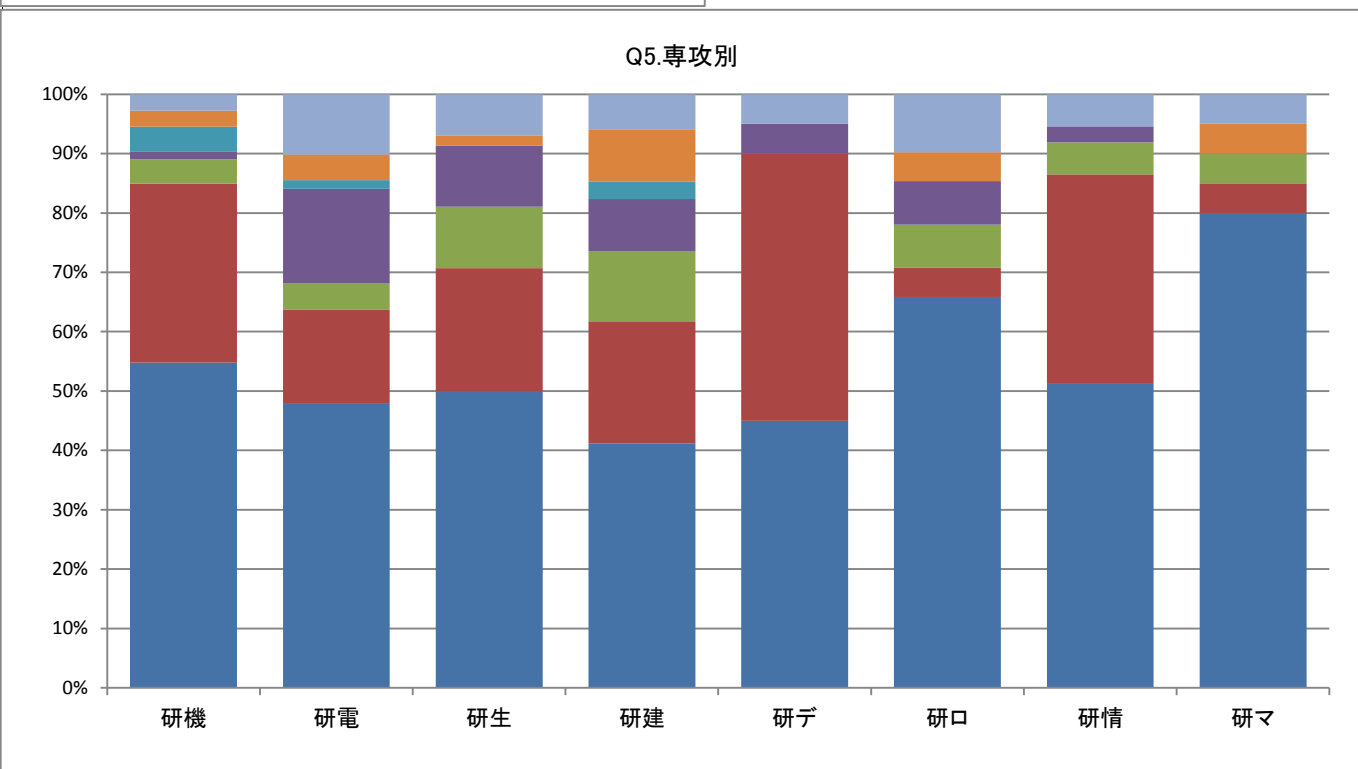
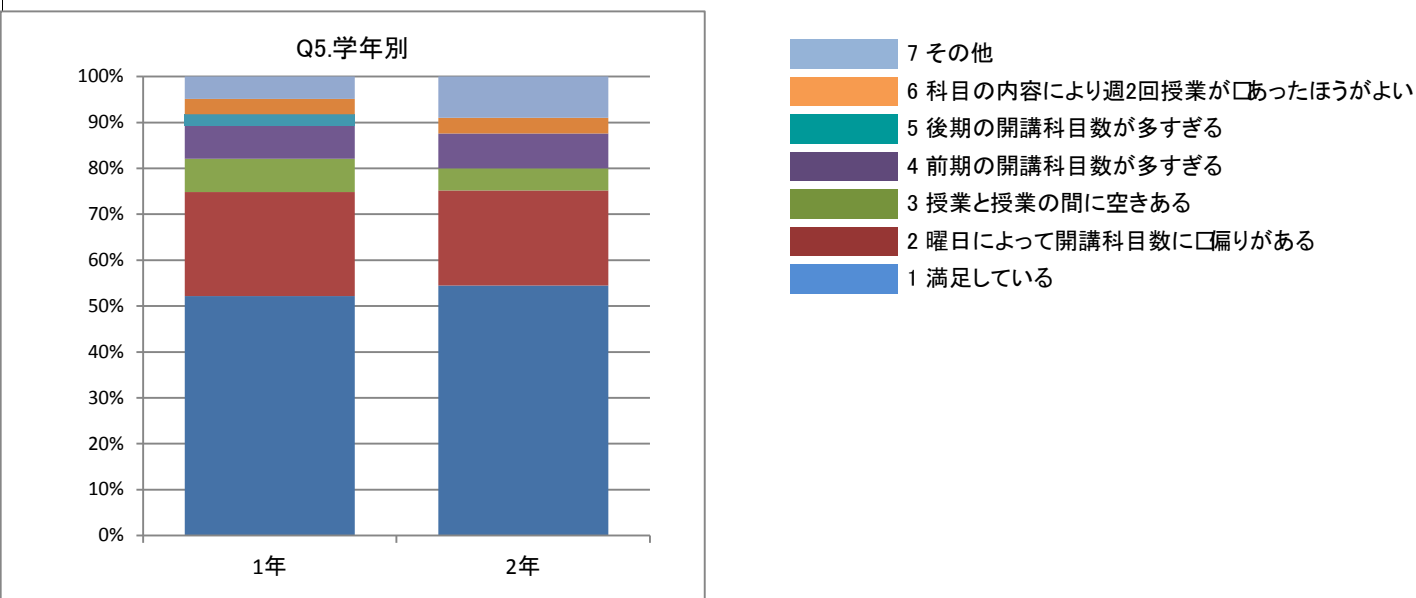
3. 時間割の検証

時間割の状況に関するデータ

[所見]

時間割の満足度では、想定のおおりに総じて満足度が高い結果となった。当然ながら学部との比較でも約10%程度の増加となっている。これは大学院における修了単位の関係で開講科目数が少なく、適切な科目配置がし易いことが一つの要因と思われるが、学部と同様に「曜日によって開講科目数に偏りがある」と回答した割合も約20%と少なくないことから、今後考慮する必要があると思われる。また、専攻別に見ると、マネの満足度が突出して高い一方で、電情・建都・デザでは授業間の空きや曜日の偏りが大きいために満足度が低くなっており、専攻別での時間割構成も再確認する必要があると考える。

■Q5_現在の時間割についてどのように感じていますか



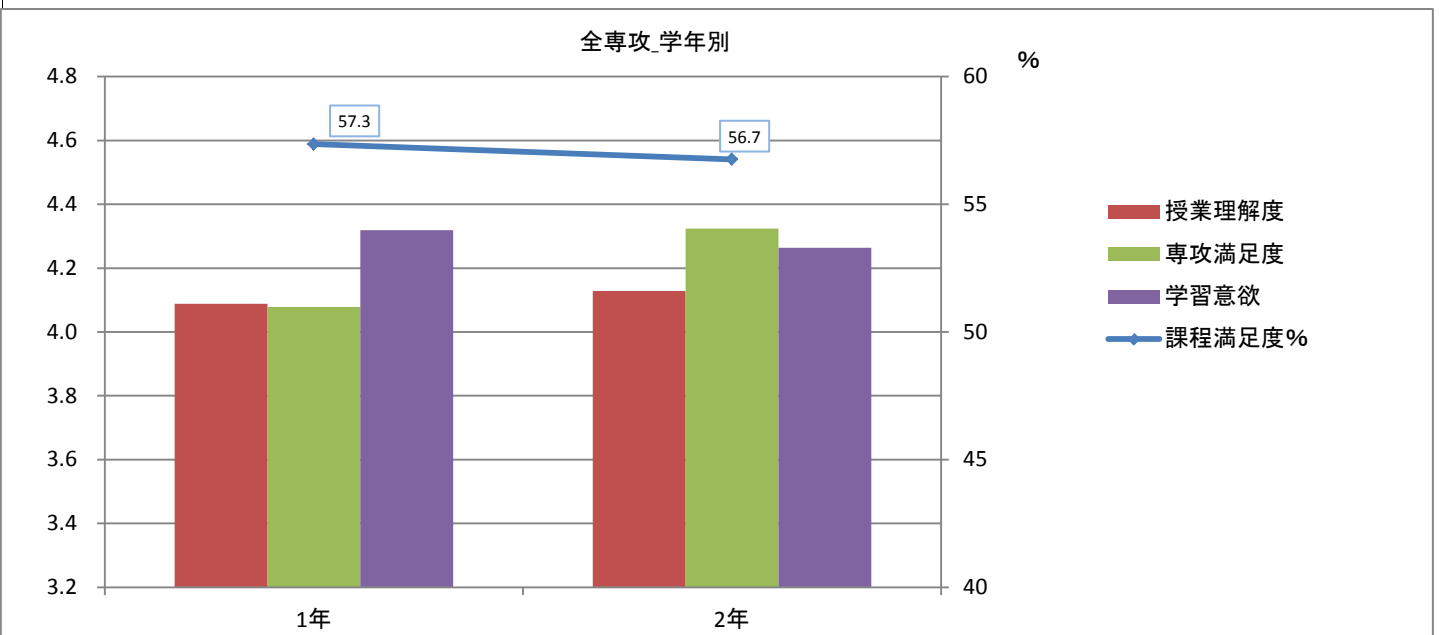
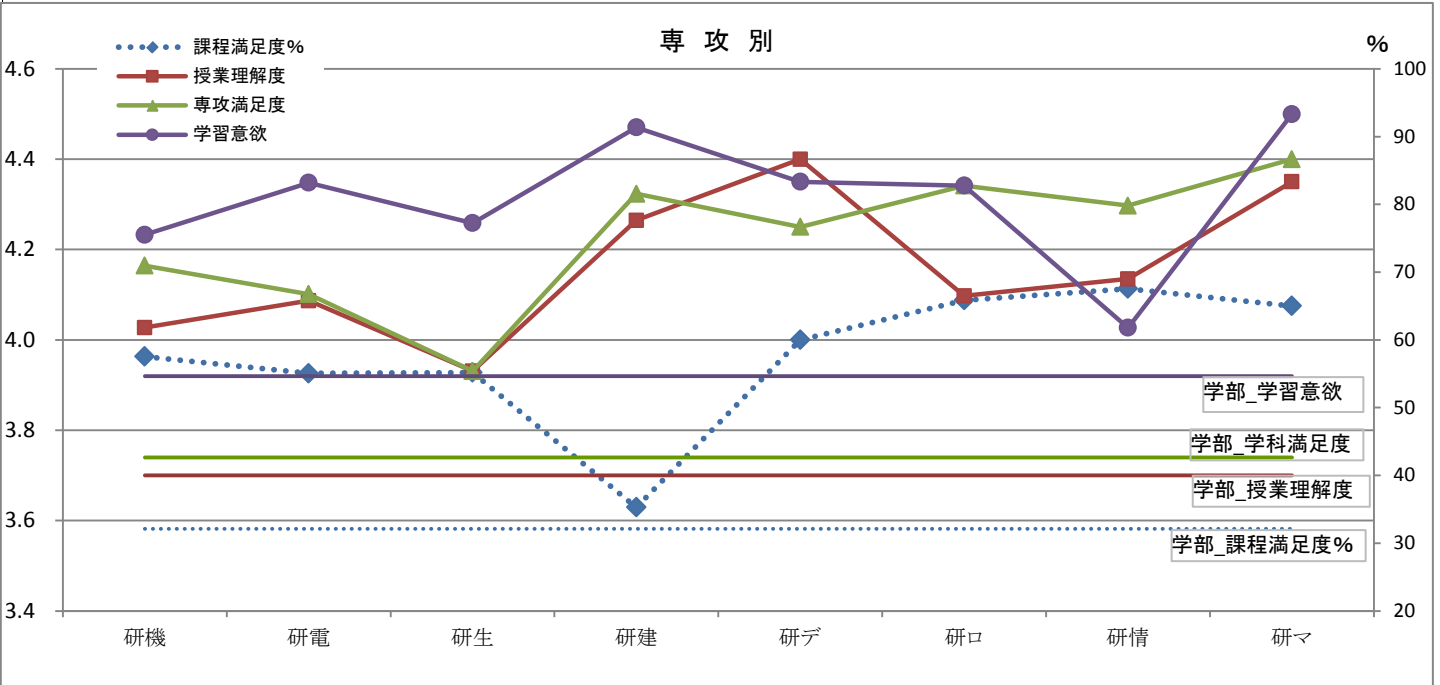
[グラフ&集計方法の解説]

特になし

4. 大学に対する満足度とモチベーション

授業理解度・学科満足度・学習意欲・課程満足度の統合データ

[所見]
 授業理解度・専攻満足度・学習意欲・カリキュラム(課程)満足度では、まず専攻別の各種満足度と学部全体の平均値を比較すると、学部全体の各値平均値よりも高い傾向にあるが、生環の全体的な満足度等の低さと建都の課程満足度の値の低さが顕著であり、注視が必要である。また、学年別で見た場合、概ねの差異はないが、学年進行により専攻の満足度は上昇する傾向がある。これは、研究活動の成果まとめを行う中で、より専門性に特化した学びが推進されることに起因していると思われる。



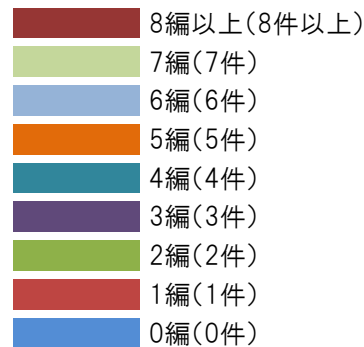
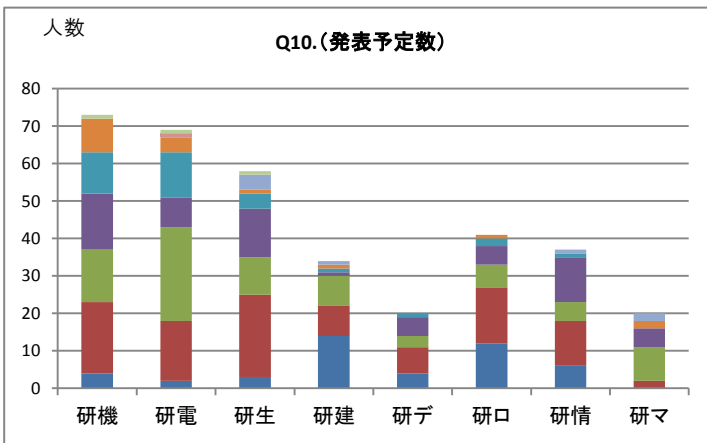
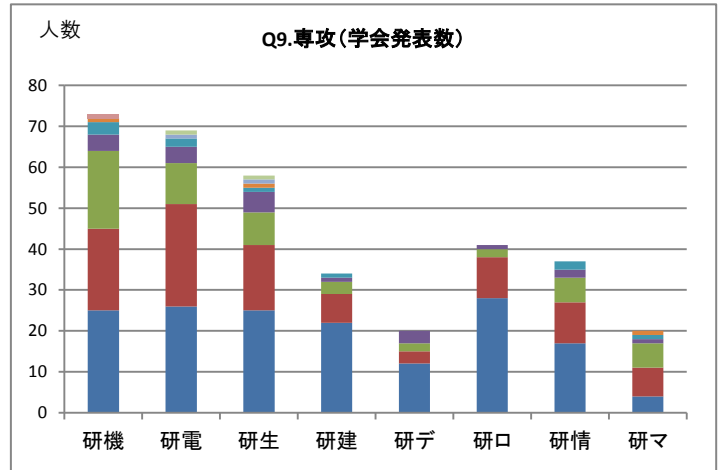
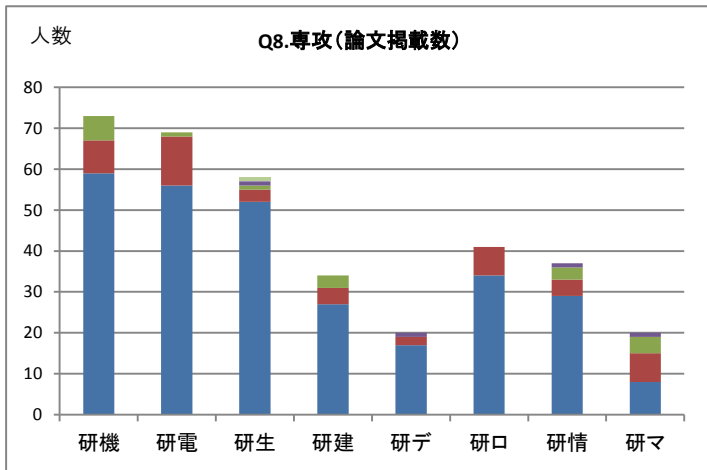
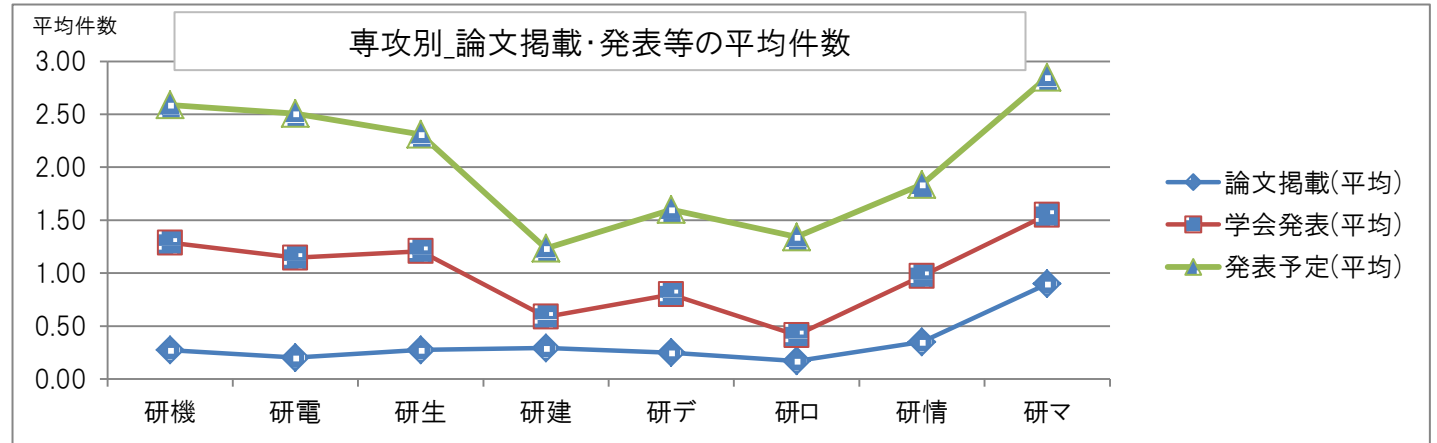
[グラフ&集計方法の解説]
 専攻満足度⇒Q3 学習意欲⇒Q6 授業理解度⇒Q7 で得た回答を数値化し平均値を主軸とし、課程満足%⇒Q4の回答1(満足している)の割合%を2軸とし、グラフ化した。
 Q3、Q6、Q7については、回答 1⇒5点 2⇒4点 3⇒3点 4⇒2点 5⇒1点 に置き換えて集計

5. 研究成果の公表状況

論文掲載数・学会発表数・発表予定数の状況データ・平均データ

[所見]

論文掲載数や学会発表数については、想定のとおり研究領域によって投稿できる雑誌数や発表の学会数に差異があるため、専攻により極端な差異が生じる傾向となった。やはり建都・デザは学术论文に限らず作品の成果も考えられ、ロボは掲載よりも結果主義的な状況が伺える。一方で修了まで平均で2件以上発表する予定の専攻もあり、特にマネはそのような機会が多い傾向である。これは、能力の自己評価でプレゼンの評価値が高いことの要因でもありと思われる。最後にいずれの専攻も平均で1件以上の発表を予定しており、実践的な教育と成果のアウトプットが行われている。



[グラフ&集計方法の解説]

論文掲載数⇒Q8 学会発表数⇒Q9 発表予定数⇒Q10

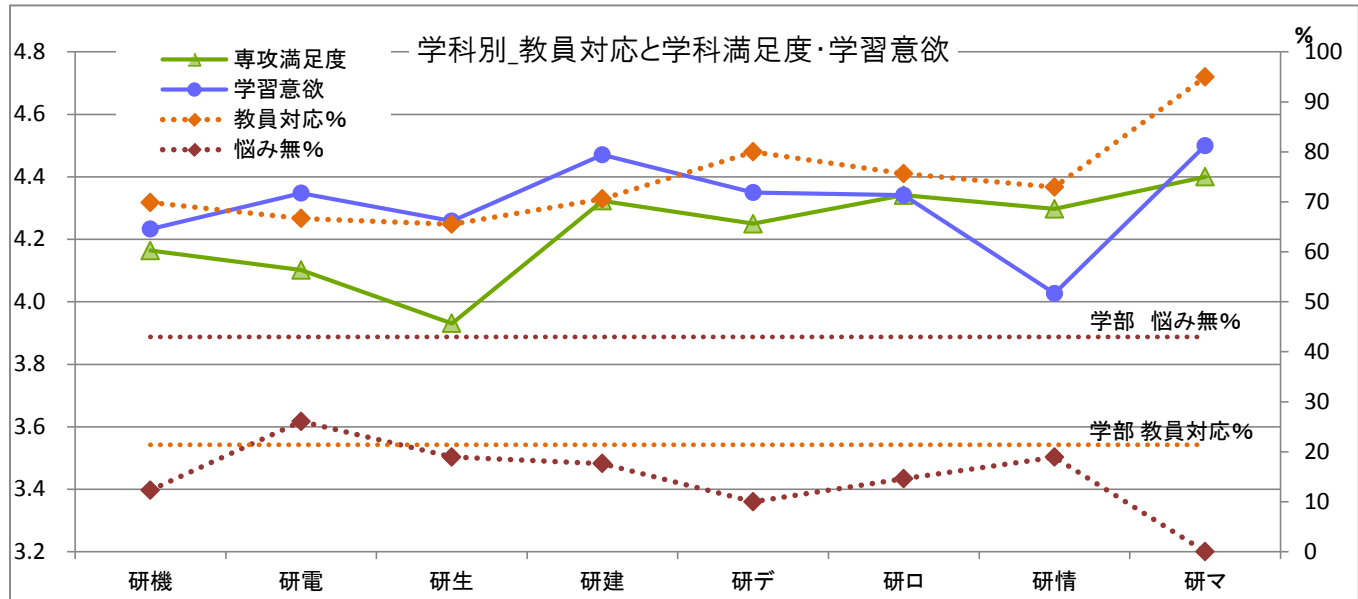
※平均値:専攻毎に合計件数を算出し、人数で除した値

6. 学内相談体制の充実度

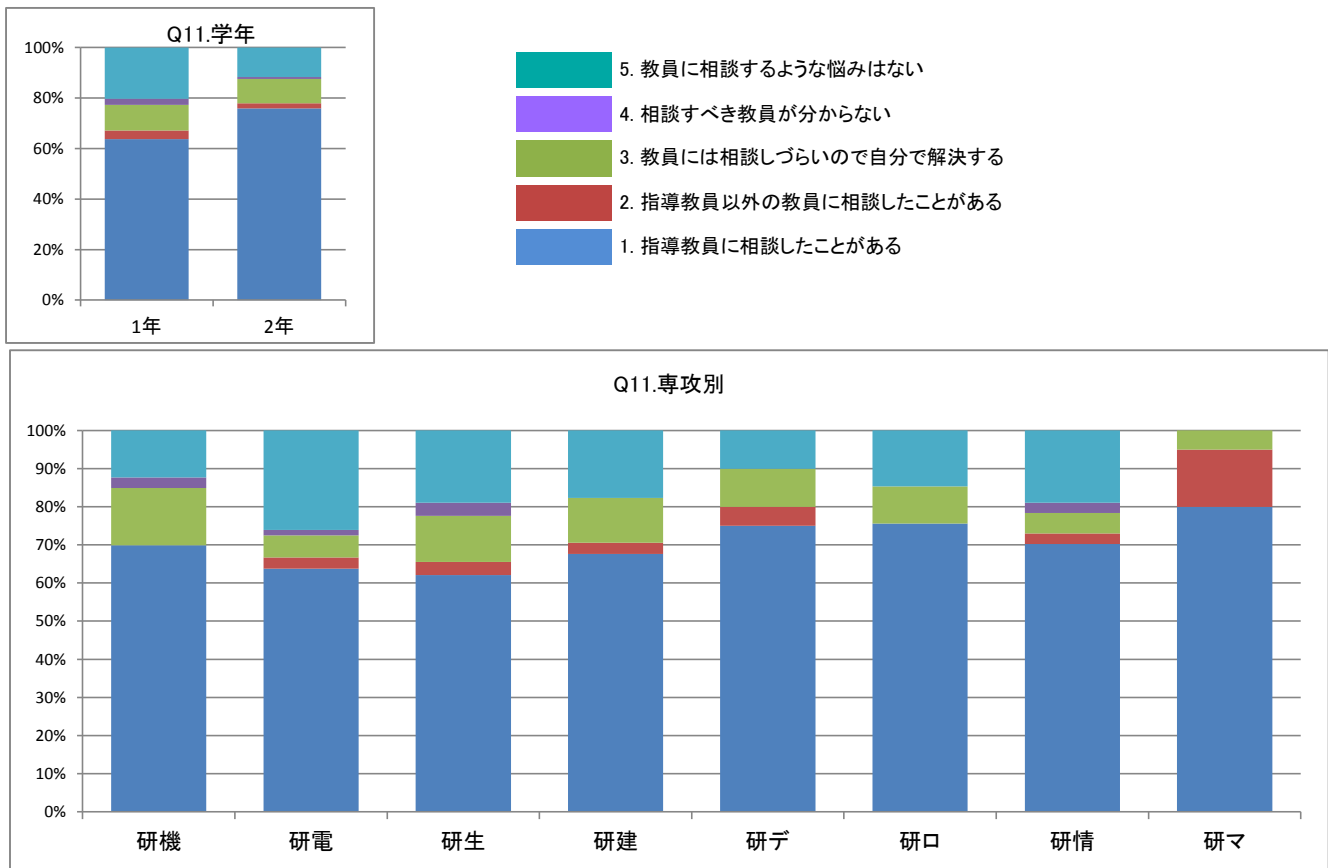
教員への相談・学科満足度・学習意欲の統合データ

[所見]

想定のとおり、大学院では指導教員との密接な関係が構築されているため、学部全体平均と比較しても圧倒的に教員の対応が高い値となっている。また、総じて「悩みは無い」と回答した割合の少ない専攻ほど教員への相談率は高く、「悩みは無い」と回答した割合の多い専攻ほど教員への相談率は高くなっているため、概ね指導教員との良好な関係性が確認できる。なお、学部と比べて、これらと専攻満足度との相関関係は見られないが、少なからず「教員には相談しづらいので自分で解決する」と回答した割合の高い専攻もあるのが実情であり、教員との関係が密接になる大学院ほど注視が必要である。最後に専攻の特色では、マネにおいて顕著に良好な状況が伺える。



■ Q11 大学院入学後に、授業・研究や生活面で教員に相談したことはありますか



[グラフ&集計方法の解説]

専攻満足度⇒Q3 学習意欲⇒Q6 で得た回答を数値化し平均値を主軸とし、教員対応%⇒Q11の回答1(指導教員に相談したことがある)または2(指導教員以外の教員に相談したことがある)と回答した割合%と悩み無%⇒Q11の回答5(教員に相談するような悩みがない)と回答した割合%を2軸としグラフ化した。

Q1とQ4については、回答 1⇒5点 2⇒4点 3⇒3点 4⇒2点 5⇒1点 に置き換えて集計

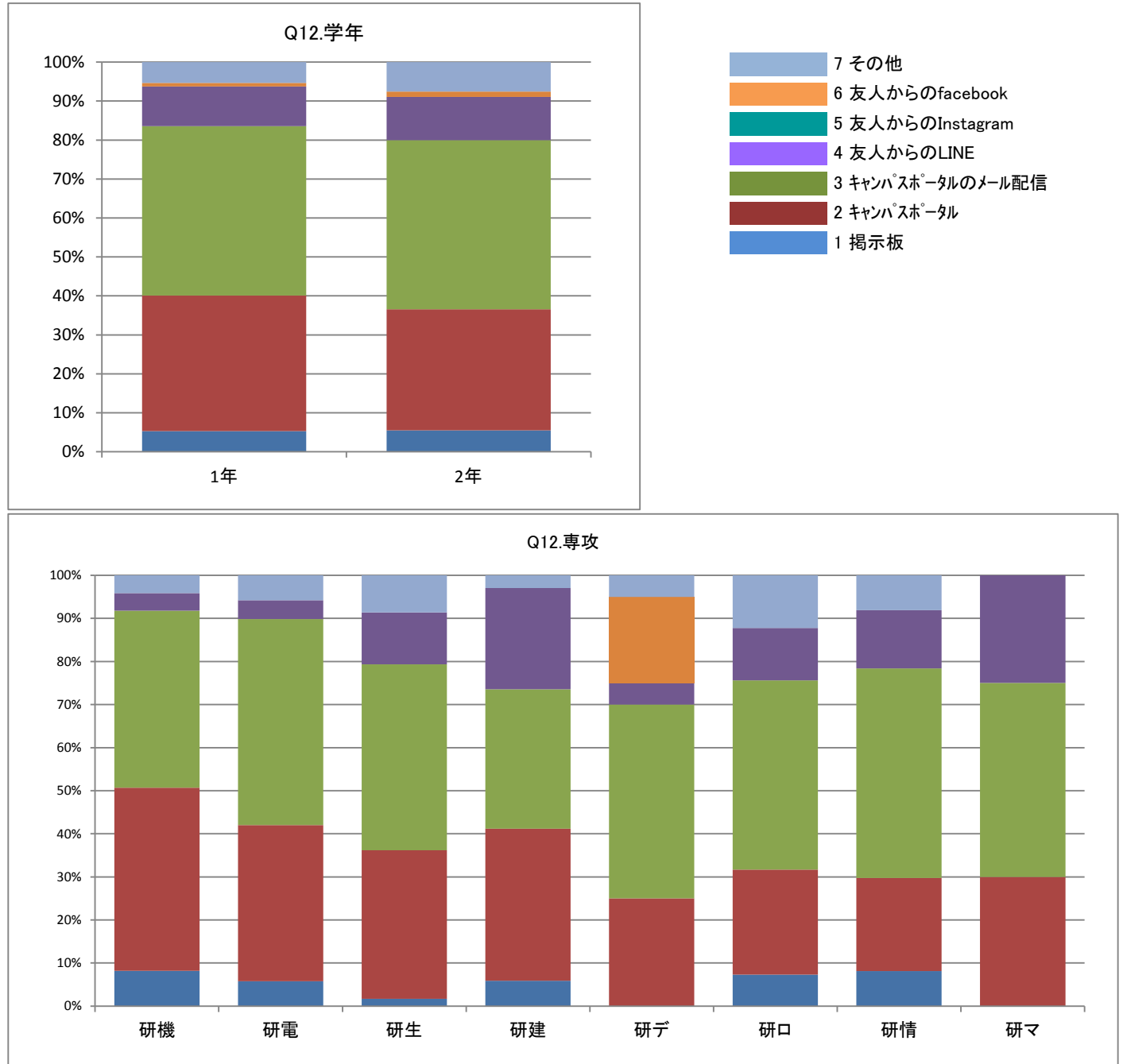
7. 大学からの通知

大学からの通知利用状況データ

[所見]

この設問は、学生への連絡通知について、各ツールの利用状況を把握し、より円滑な情報配信の改善に役立てるためのものであるが、学部の結果と同様に総じて大学のツールである「キャンパスポータル」又は「キャンパスポータルのメール配信」の割合が高く、全体の7割強を占めているため、一定の有効性は確認できる。但し、次点はLINEによる共有となっているため、今後もその動向を注視する必要がある。また、専攻の特色として、デザではFace Book利用率の高さが伺える。

■Q12_大学から通知やお知らせを得るために最も役に立っている方法は何ですか



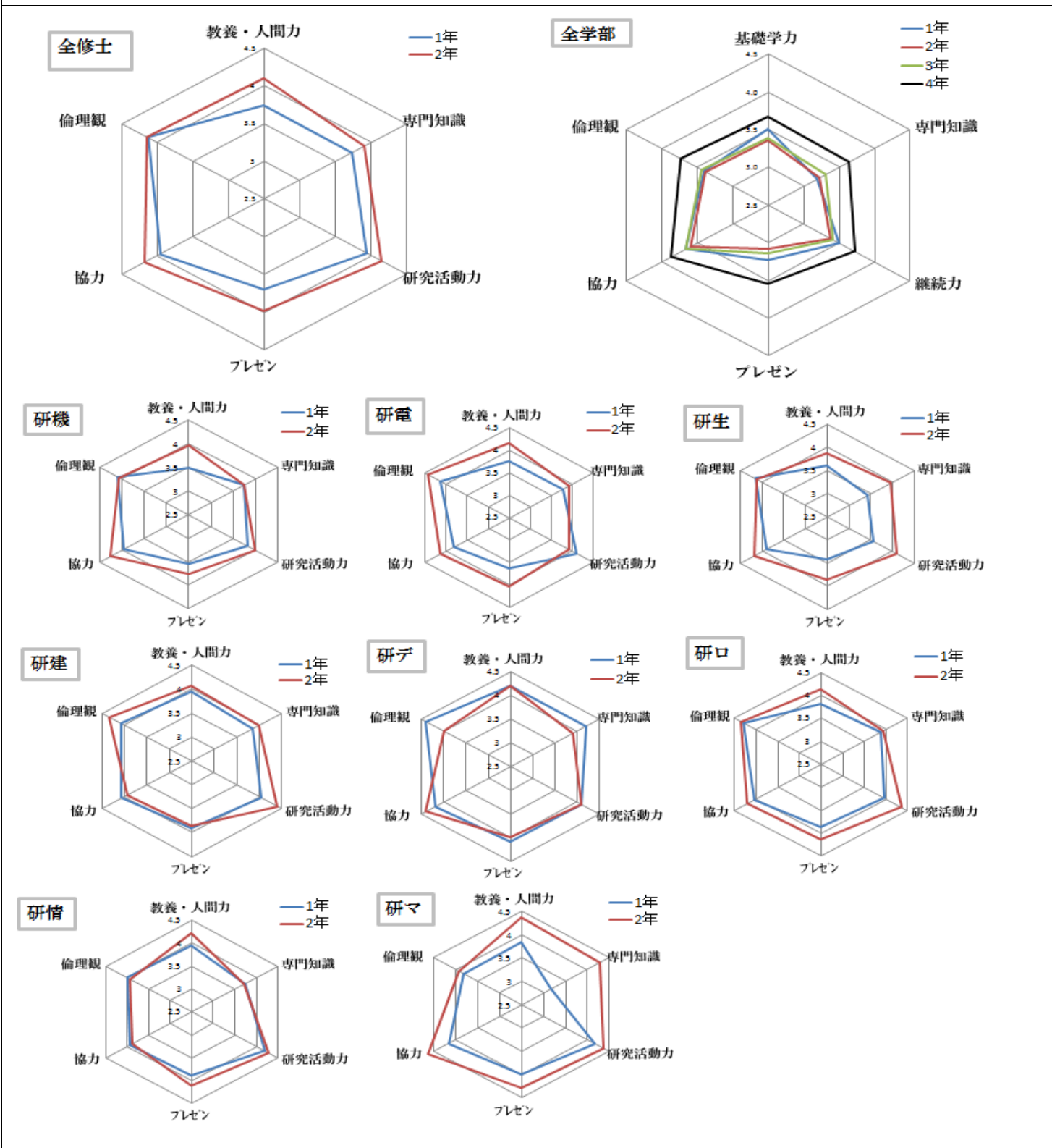
[グラフ&集計方法の解説]

特になし

8. 各種能力の自己評価

教養/人間力・専門知識・研究活動力・プレゼン・協力・倫理観の自己評価統合データ

[所見]
 まず学年別で見た専攻全体の能力値では、やはり修士2年次の値が総じて高く評価されている。また、学部全体平均との比較でも大学院の値は高く評価されており、大学院教育の成果が確認できる。更に、専攻別においても大学院の特色である研究活動力やプレゼンも概ね高い値を示しており、多様な学びや経験が積み重なっていると考えられる。特に全体的に高い自己評価となっているのがマネであり、学部でもPMは顕著に高い評価値となっていたため、大学院では更なる成長を感じている傾向が強いと思われる。このような能力は、特に大学院の実践的な教育を通して、急激に成長する可能性もあるため経年的に測定する必要がある。



[グラフ&集計方法の解説]

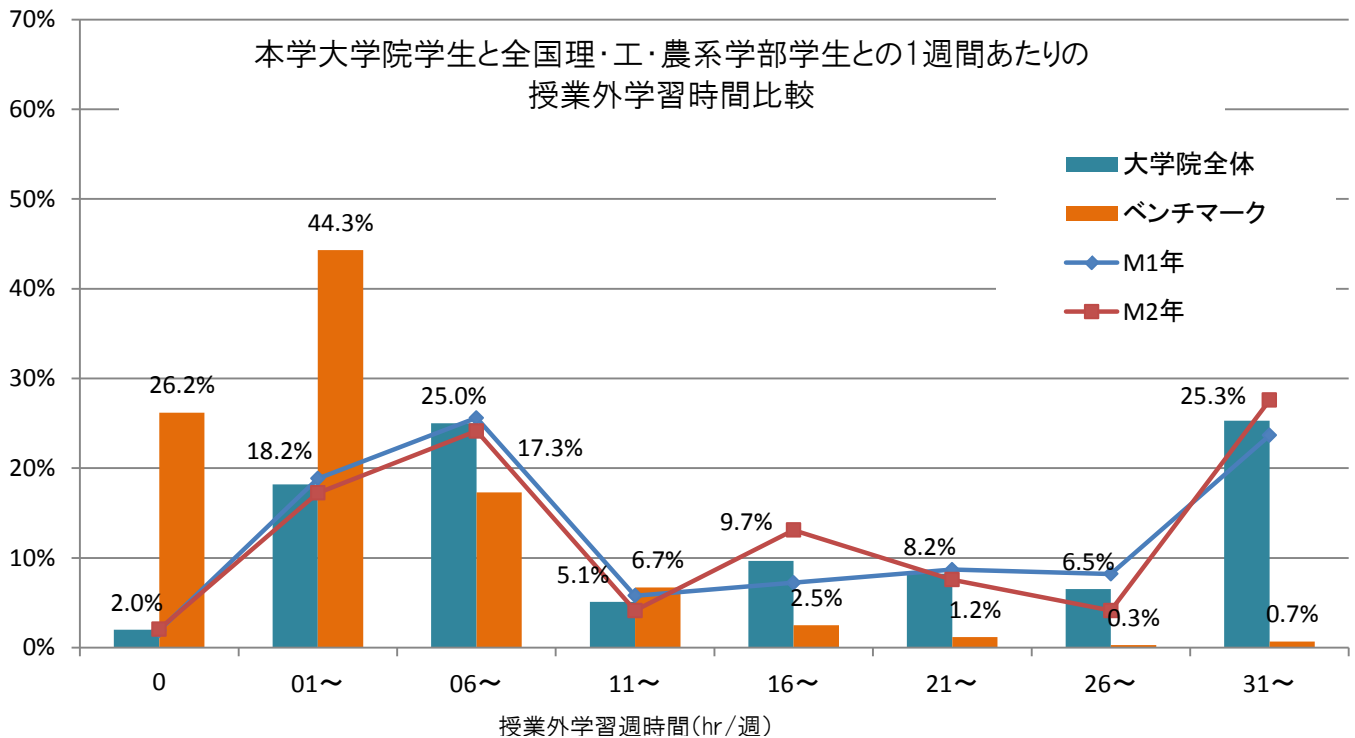
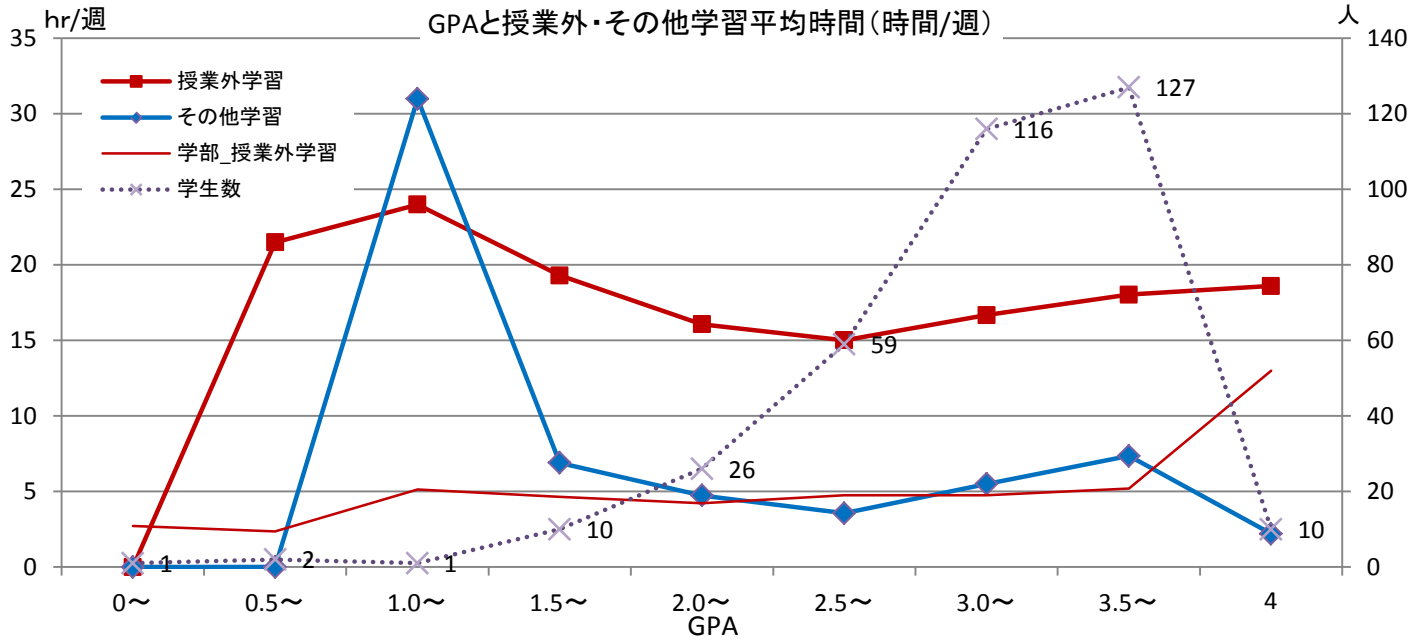
以下の6つの要素がどの程度身についていると感じているか？の回答を数値化し平均値をグラフ化
 教養・人間力⇒Q14 専門知識⇒Q15 研究活動力⇒Q16 プレゼン⇒Q17 協力⇒Q18
 倫理観:Q19
 回答 1⇒5点 2⇒4点 3⇒3点 4⇒2点 5⇒1点 に置き換えて集計

9. 授業外学習の状況

授業外学習(予習・復習)・授業以外の学習時間データ及びGPA関連・ベンチマーク比較データ

[所見]

GPA値の相関では、学部と同様にGPA値の一定範囲内(1.5から3.5)では授業外の時間数に差異はない傾向となった。但し、大学院学生は、授業以外にも研究に係る実験・実習・フィールドワークなどの活動時間が多くあるため、本学の学部生とは比較にならない学習時間が確保されている。これは、ベンチマーク(全国の理工農系学部生の平均)との比較でも明らかである。但し、0時間から5時間の範囲に院生全体の20%が存在していることから、注視が必要であると共に、設問の方法も考慮する必要があると考える。



[グラフ&集計方法の解説]

GPAとの相関をみたグラフは、授業外学習⇒Q20 その他学習⇒Q21で回答した時間/週の平均を主軸、学生数(アンケート回答数)を2軸としてグラフ化した。

GPA:大学院での成績から暫定的に算出した値(特別研究と認定単位を除き、学部の計算式に準じて算出)

全国理工農系学部生との比較をみたグラフは週時間幅での学生の割合をグラフ化した。

ベンチマーク:国立教育政策研究所「2014年大学生の学習実態に関する調査研究」

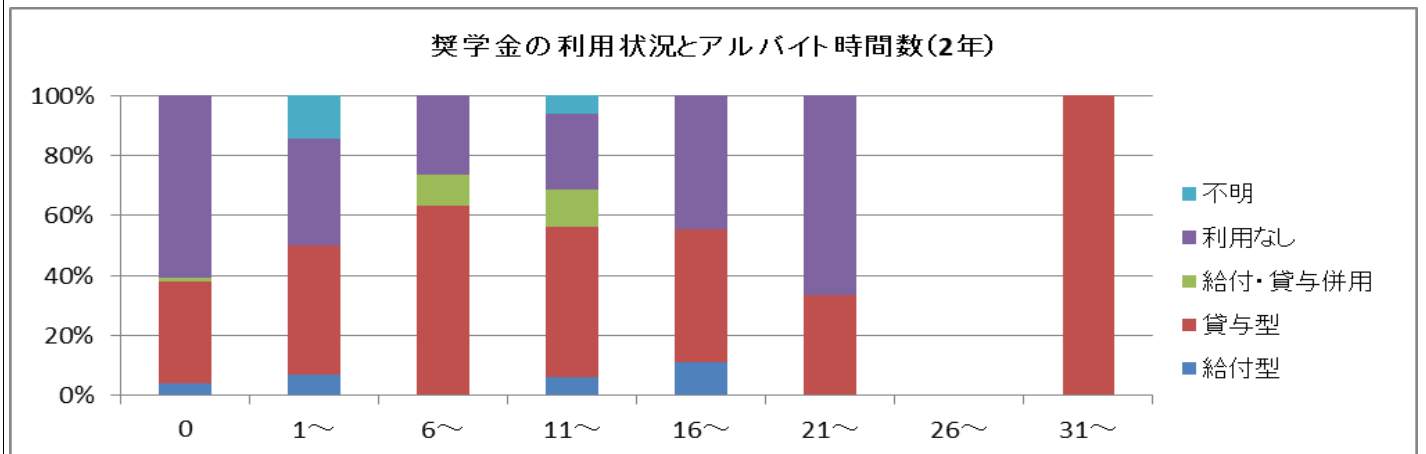
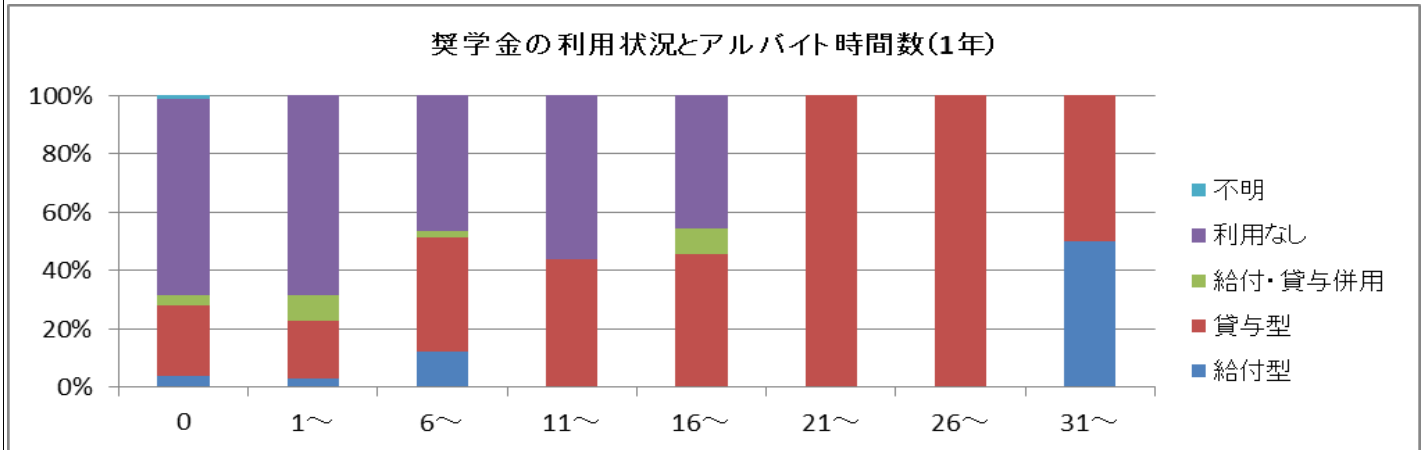
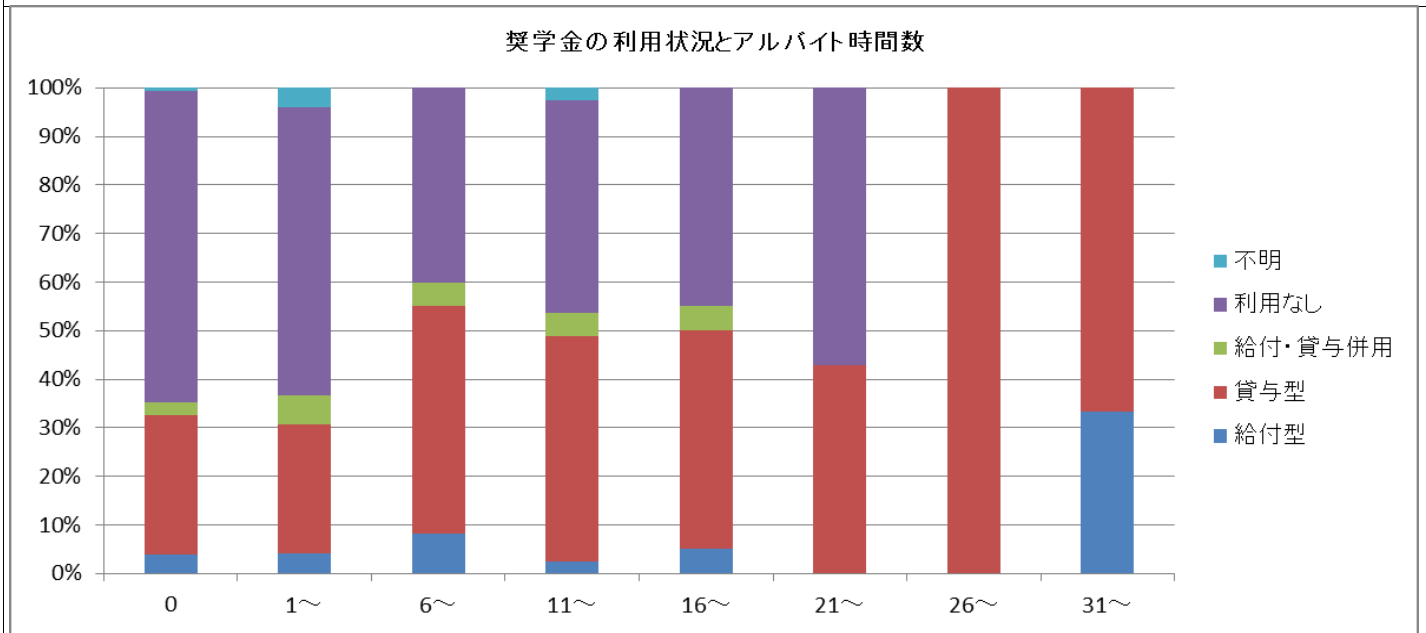
※1週間あたりの予習・復習時間(理・工・農系学部生;ケース数約5,000人)

奨学金利用およびアルバイト状況

奨学金利用状況・1週間のアルバイト時間数集計データ

[所見]

奨学金は回答した院生(修士課程)の約半数が利用している。本学独自の「千葉工業大学大学院奨学金(貸与型)」をはじめとする貸与型がほとんどである。大学院については自らが強く希望して進学する傾向にあるため、学費や生活費を自分で工面する学生が多い。アルバイト時間が高い程、奨学金利用者が多くなっている。また、学費自体も学部の6割程度となり貸与額も抑えられることから、大学院で奨学金を初めて申請する者が増えている。

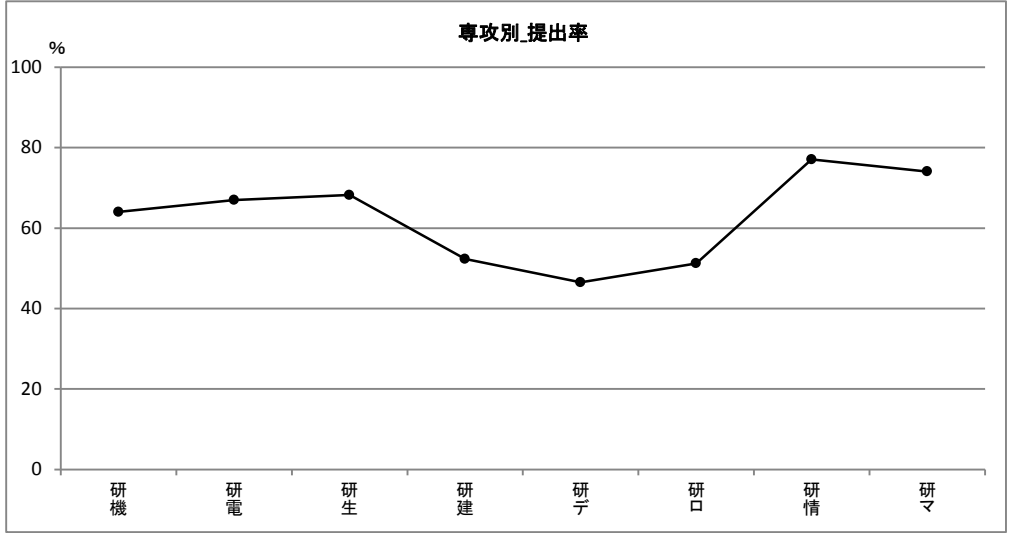
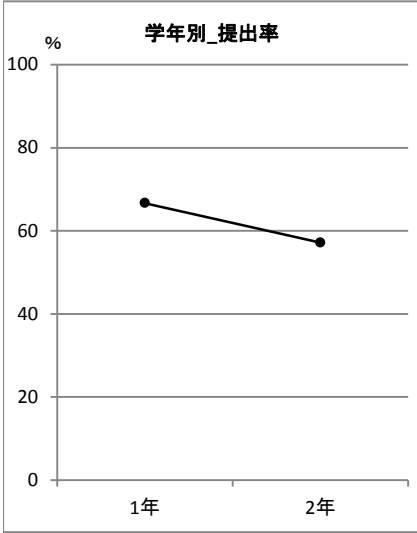


[グラフ&集計方法の解説]MSP明朝(11ポイント)

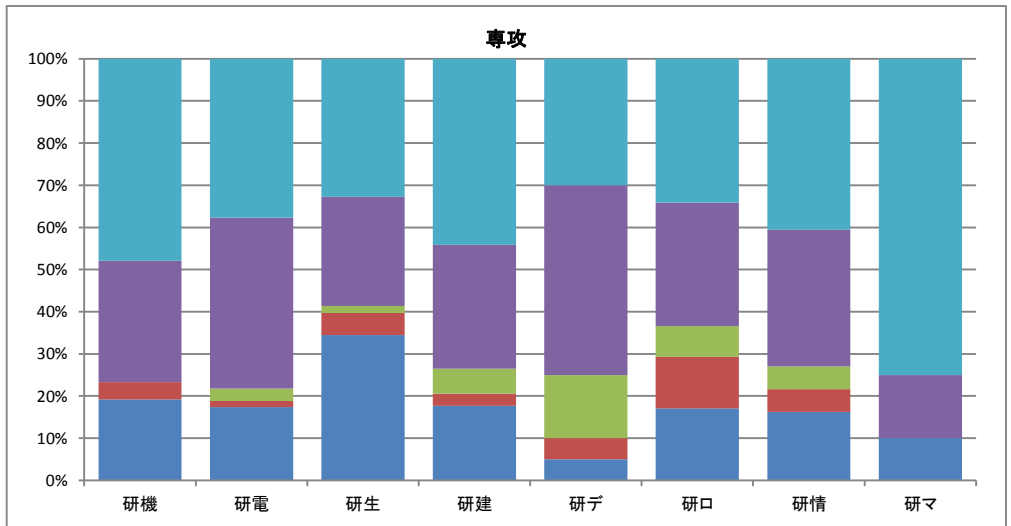
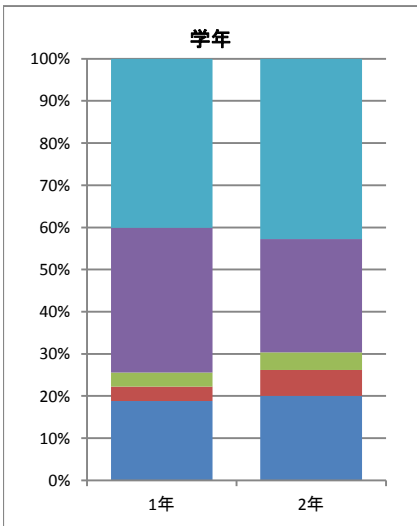
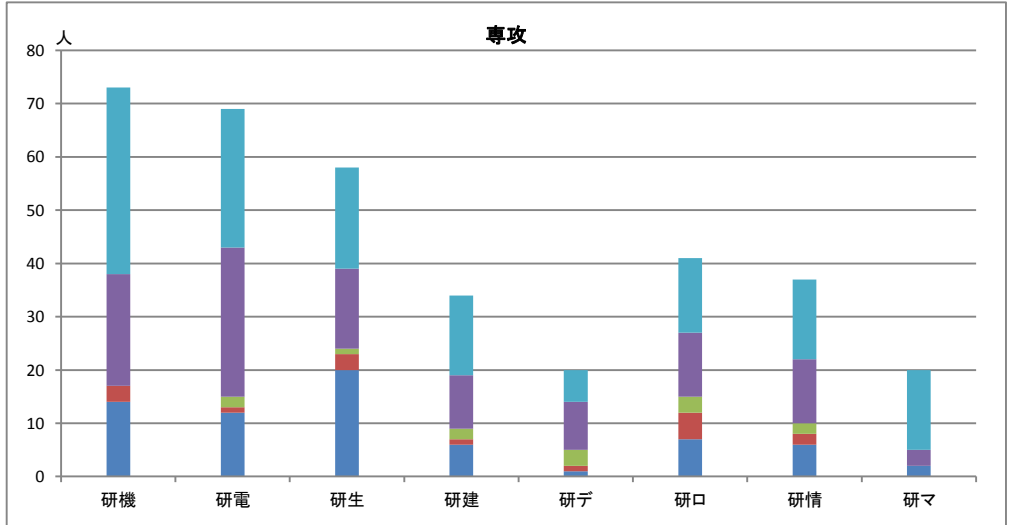
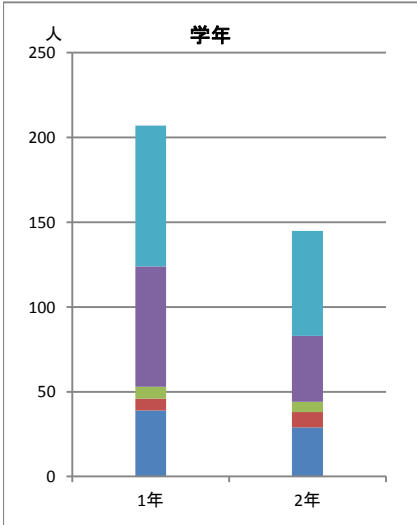
※奨学金の利用者と1週間当たりのアルバイト時間を修士課程の全学生および学年ごとに集計した。

2018年度 学生生活アンケート集計結果 修士課程

■_00提出率

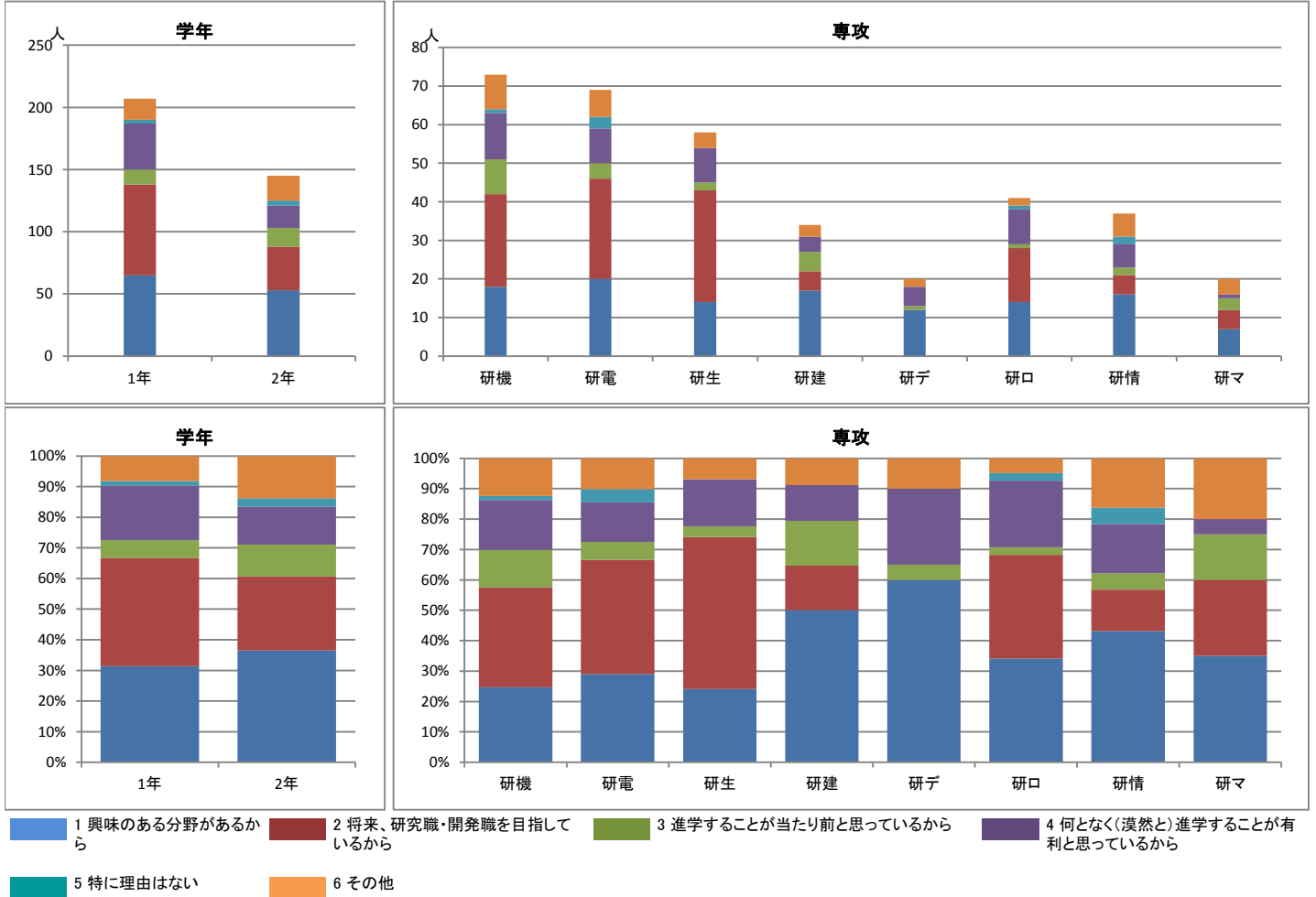


■_01大学院進学を決めた時期はいつですか

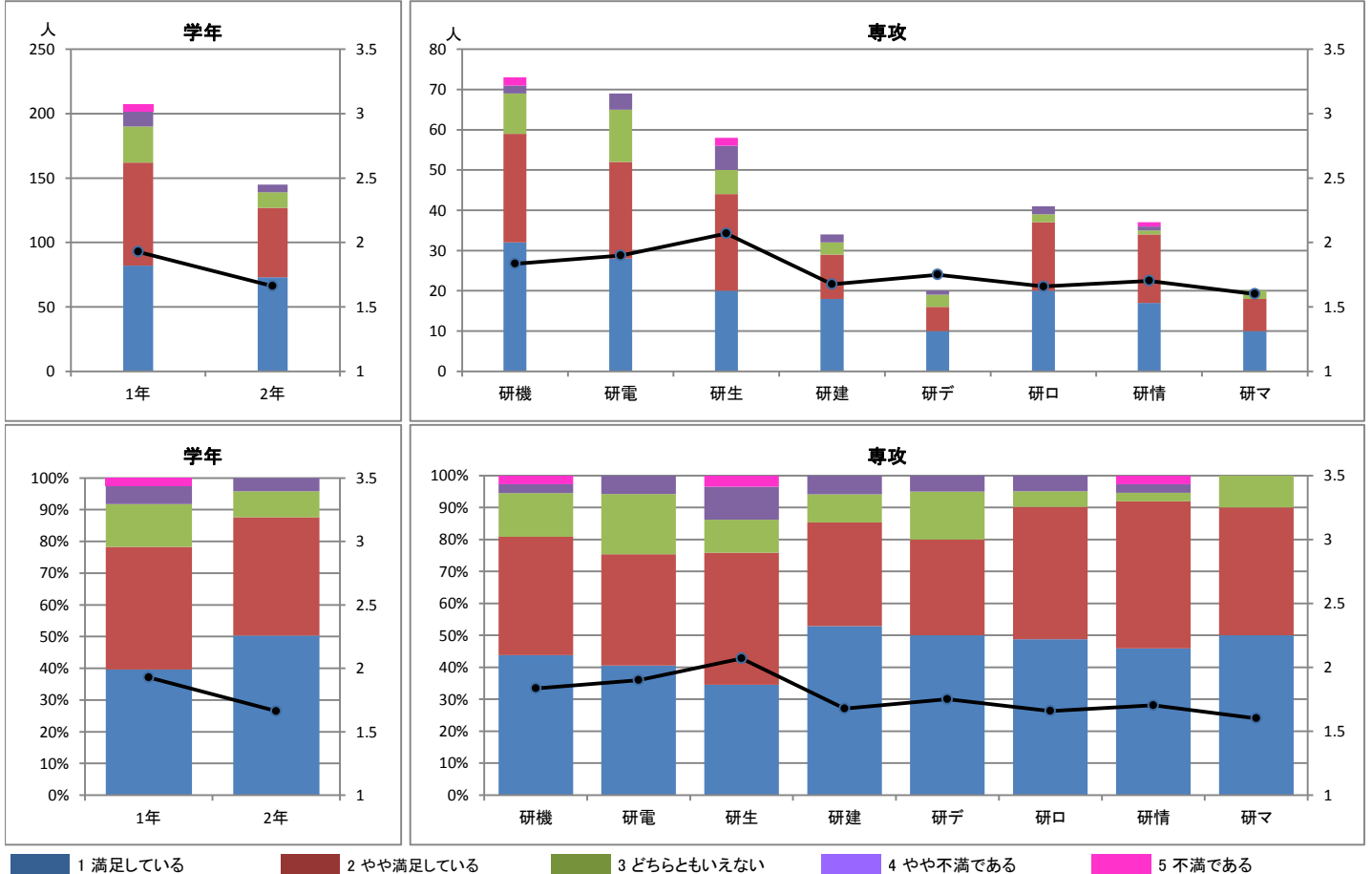


■ 1 学部入学前から決めていた
 ■ 2 学部1年次の時
 ■ 3 学部2年次の時
 ■ 4 学部3年次の時
 ■ 5 学部4年次の時

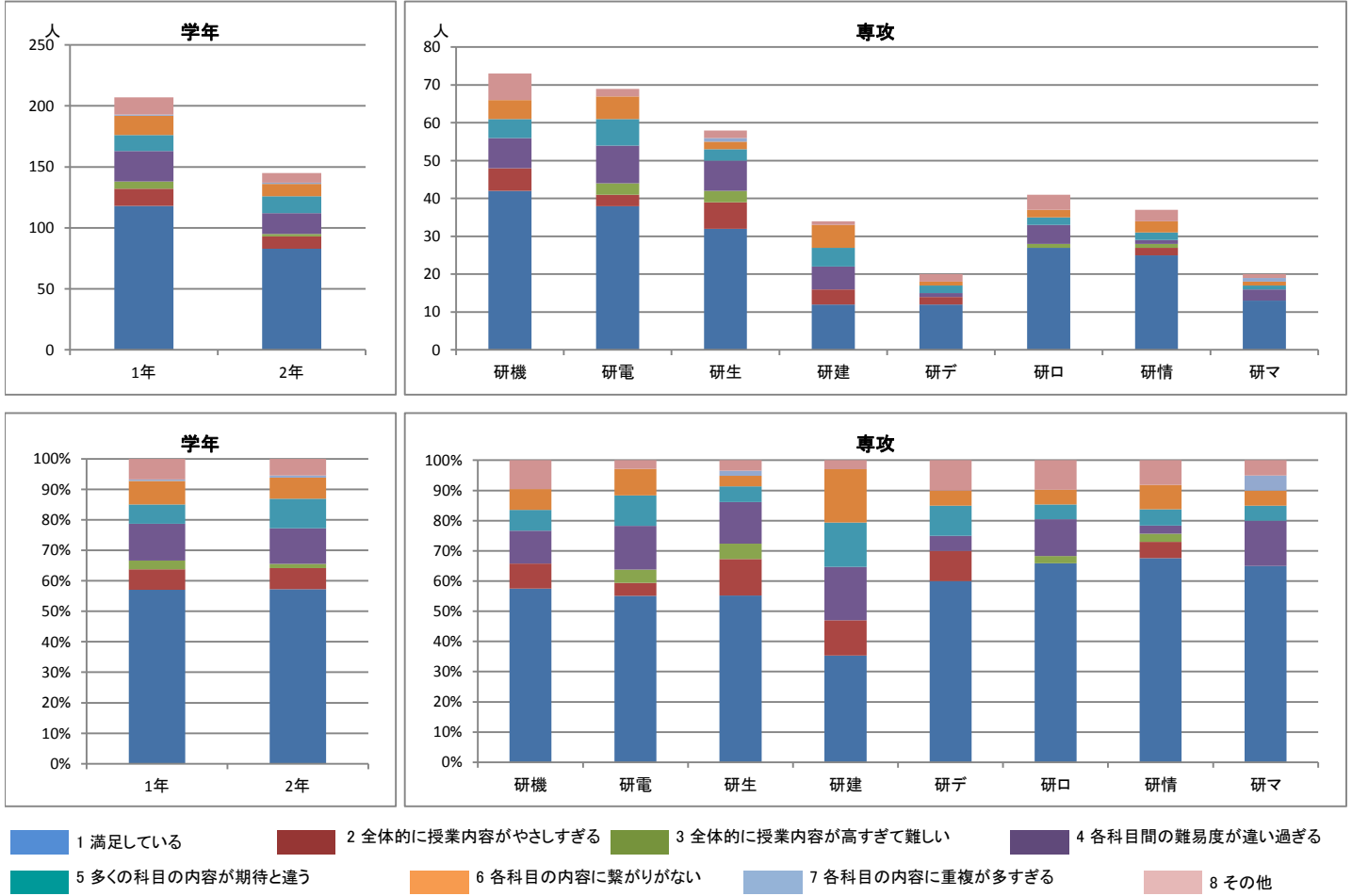
■_02大学院進学を決めた理由は何ですか



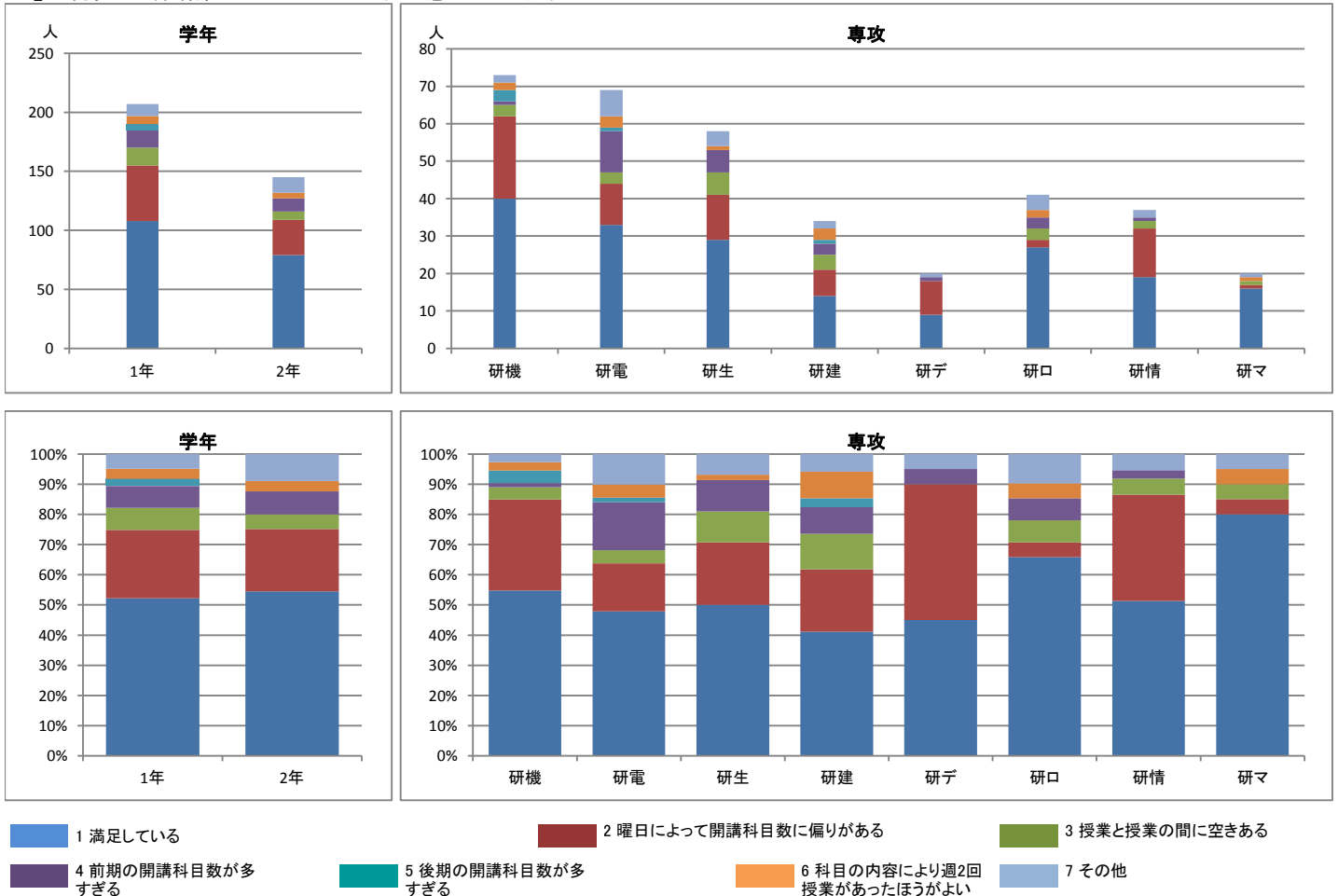
■_03現在在籍している専攻についてどの程度満足していますか



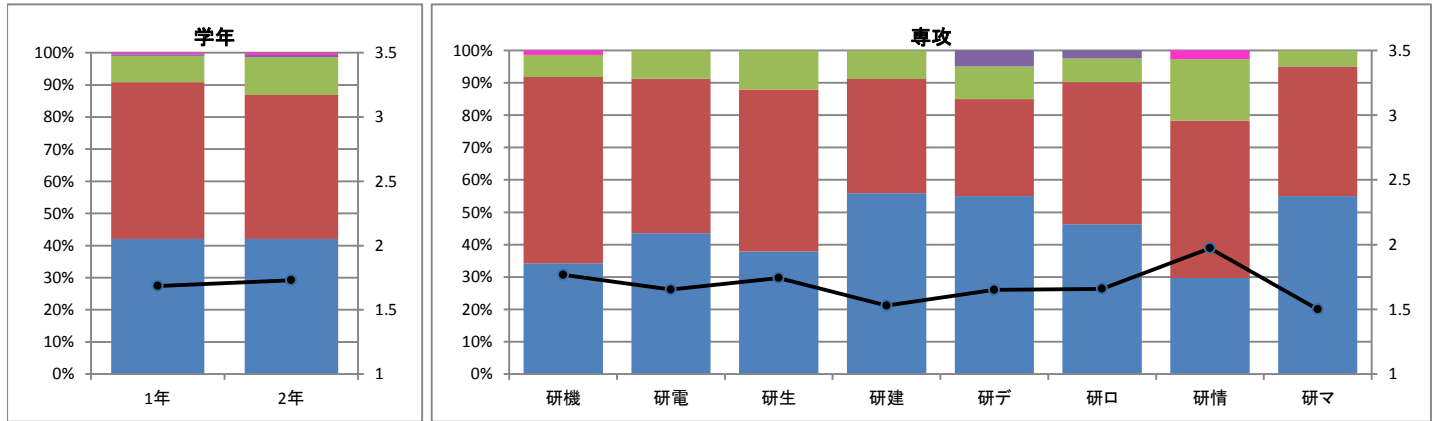
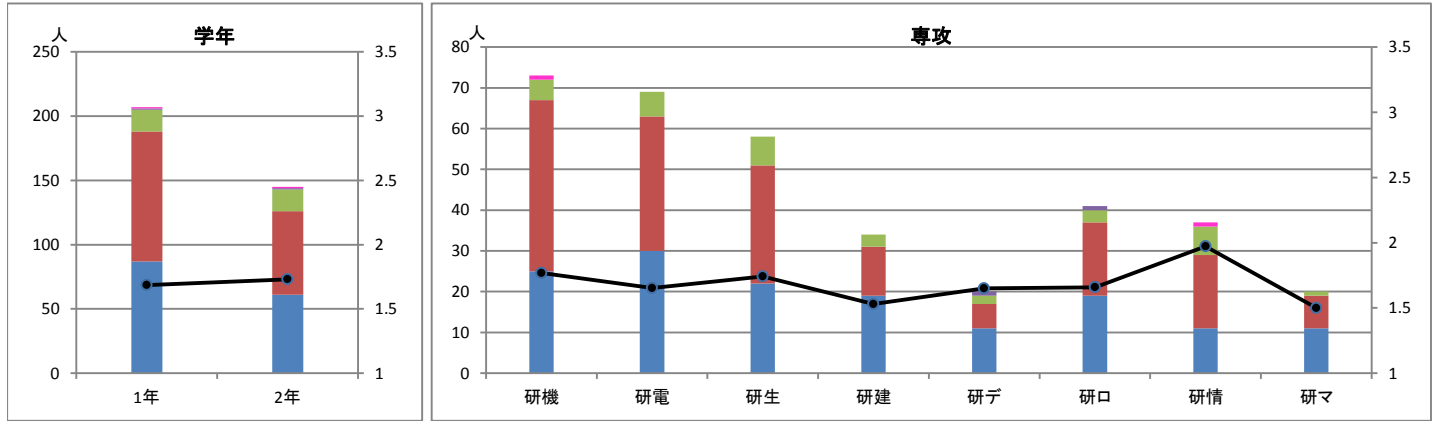
■_04現在のカリキュラム（教育課程）についてどのように感じていますか



■_05現在の時間割についてどのように感じていますか

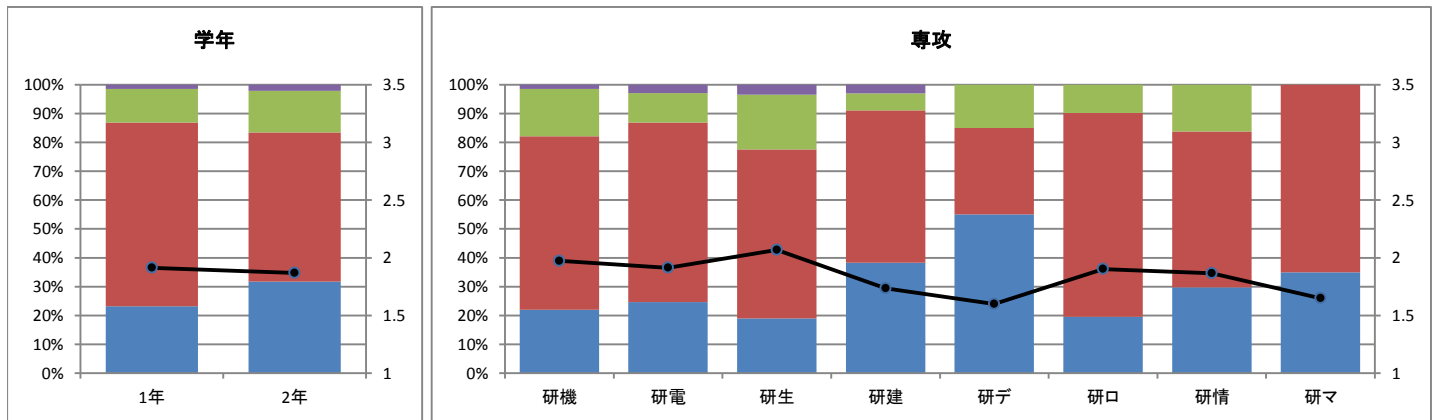
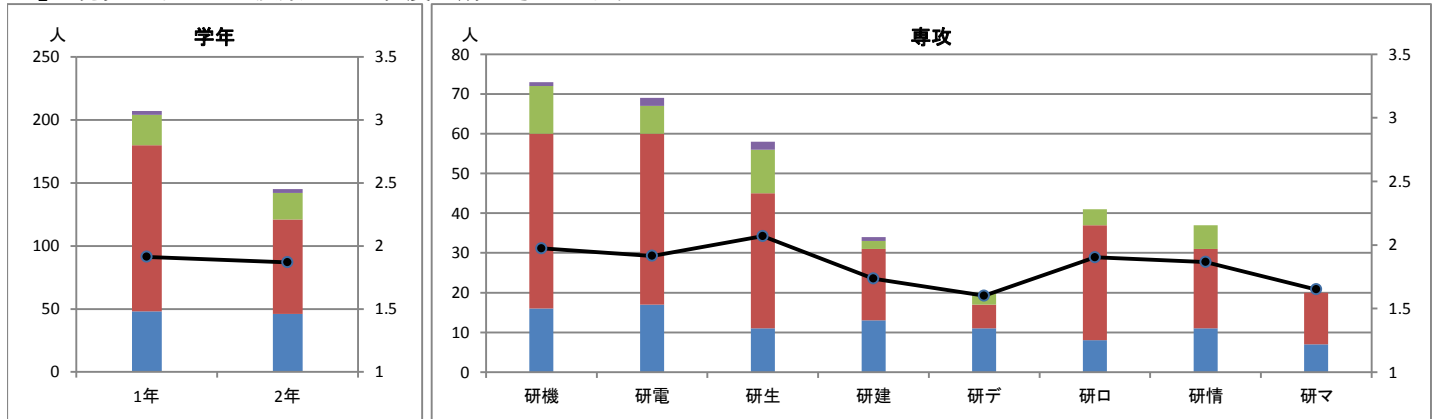


■_06現在、あなたの授業に対する意欲はどの程度ありますか



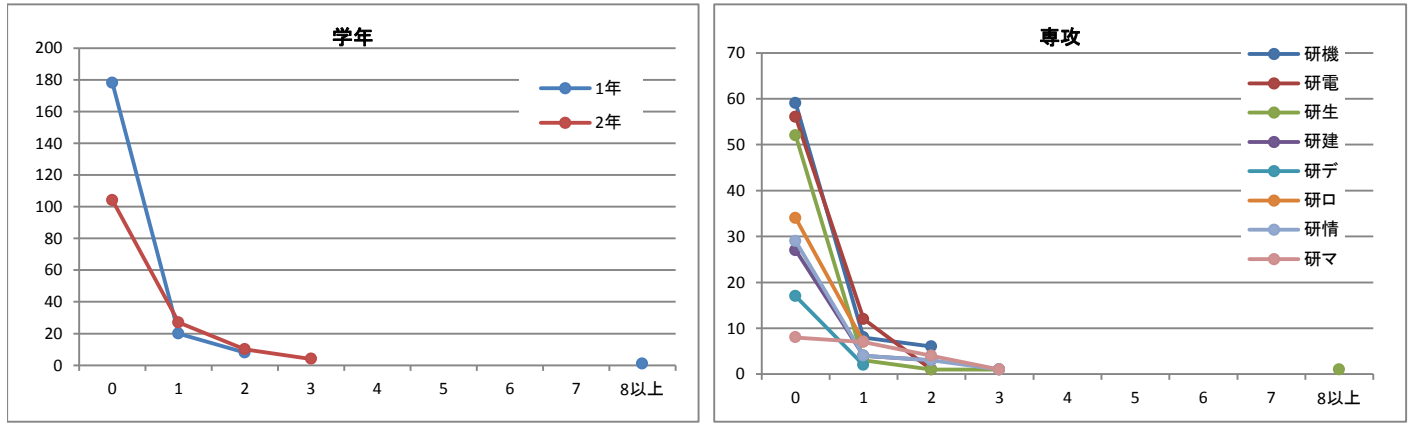
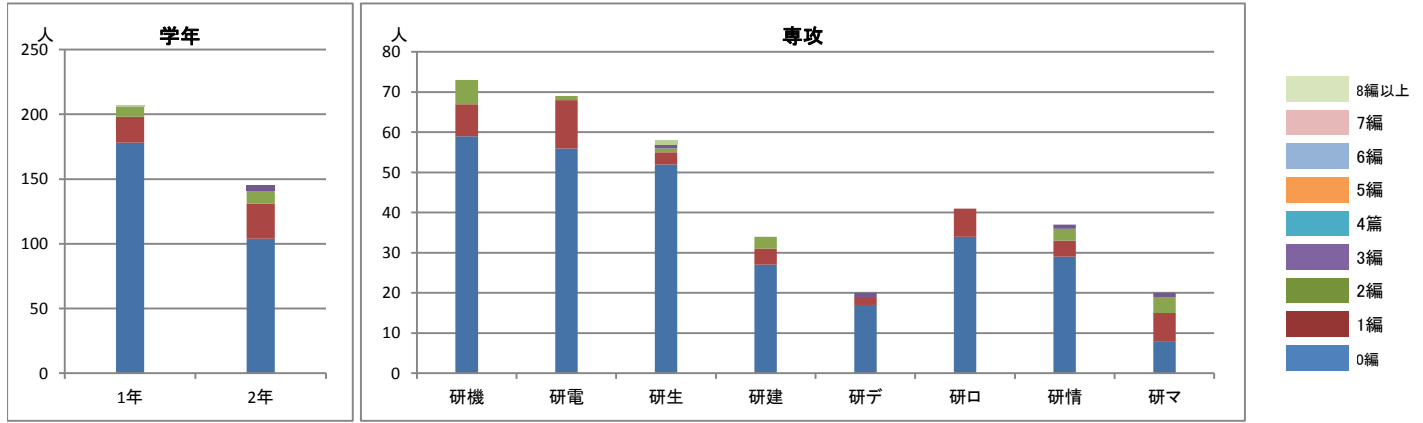
1 学習意欲がある 2 ある程度学習意欲がある 3 どちらともいえない 4 あまり学習意欲がない 5 学習意欲がない

■_07現在、あなたは授業をどの程度理解できていますか

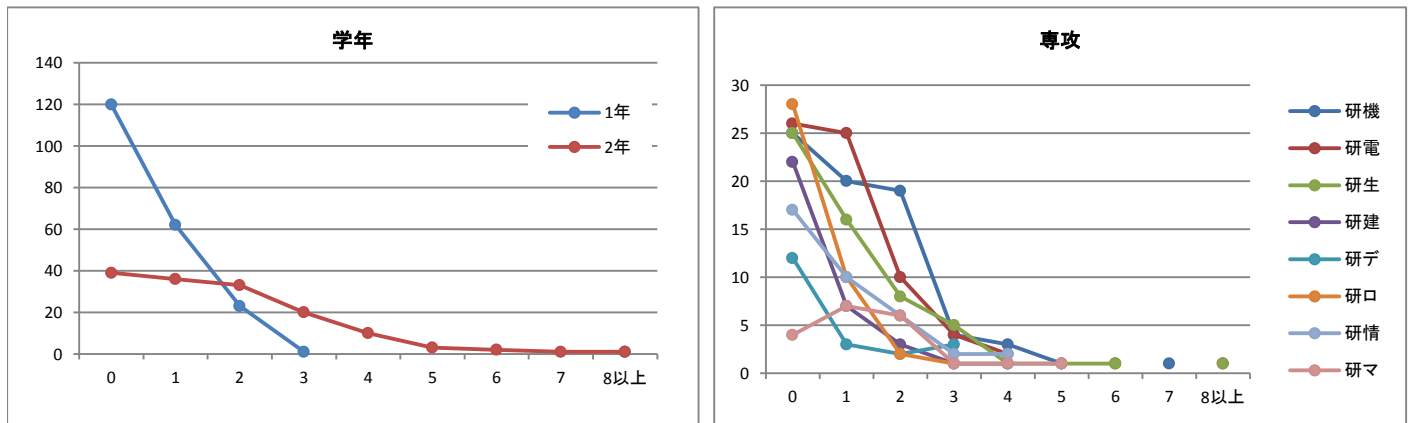
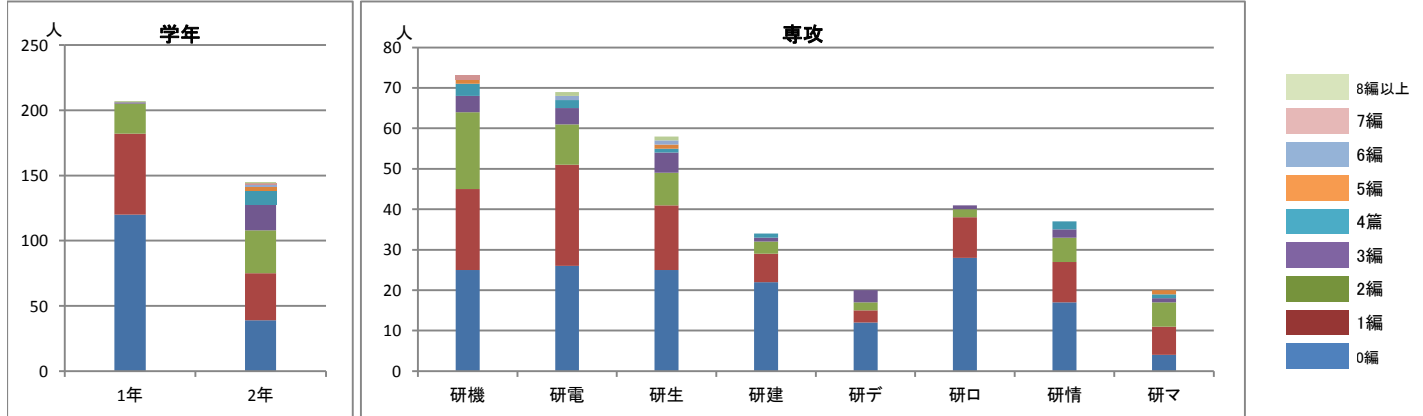


1 理解できている 2 ある程度理解できている 3 どちらともいえない 4 あまり理解できてない 5 理解できていない

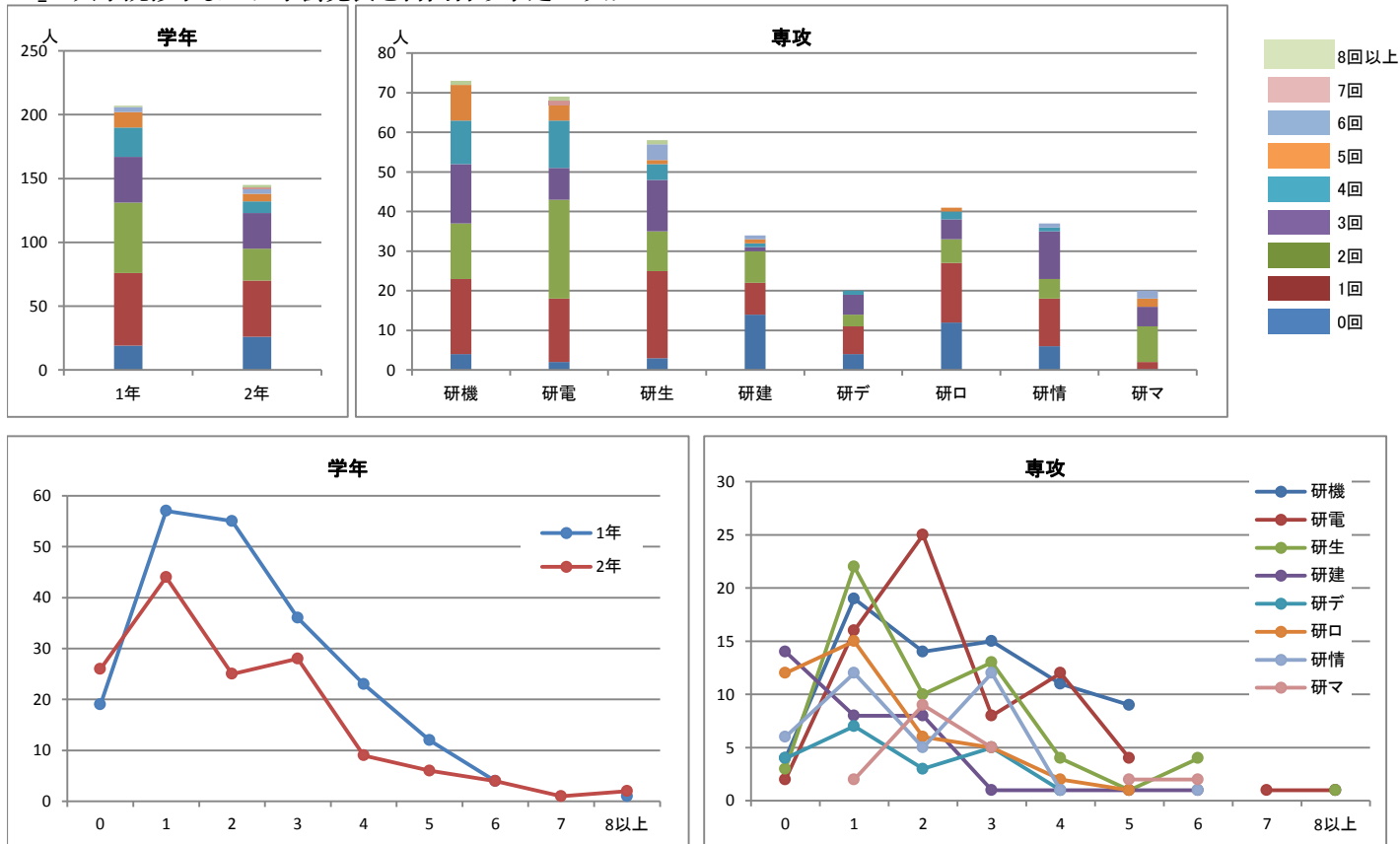
■_08学会誌等に掲載された論文は何編ありますか



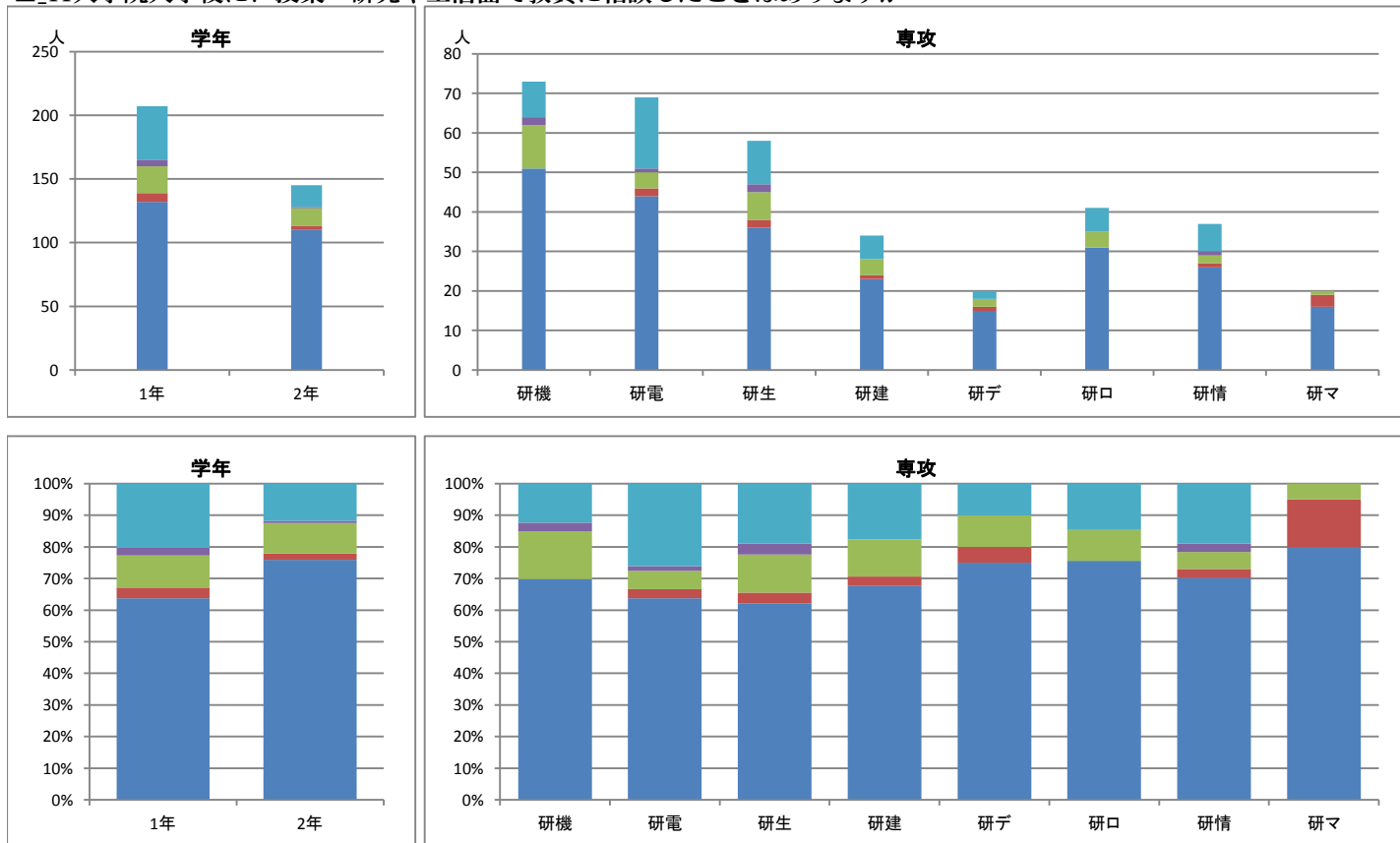
■_09学会発表（国際会議を含む）を通過で何回行いましたか



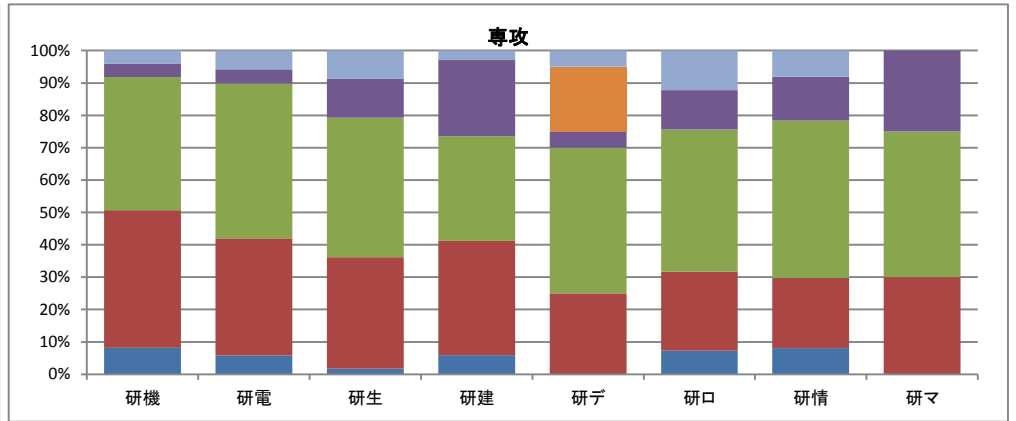
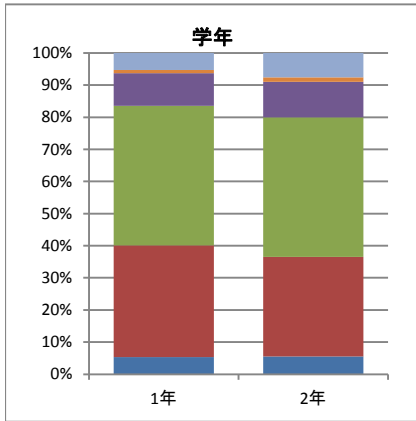
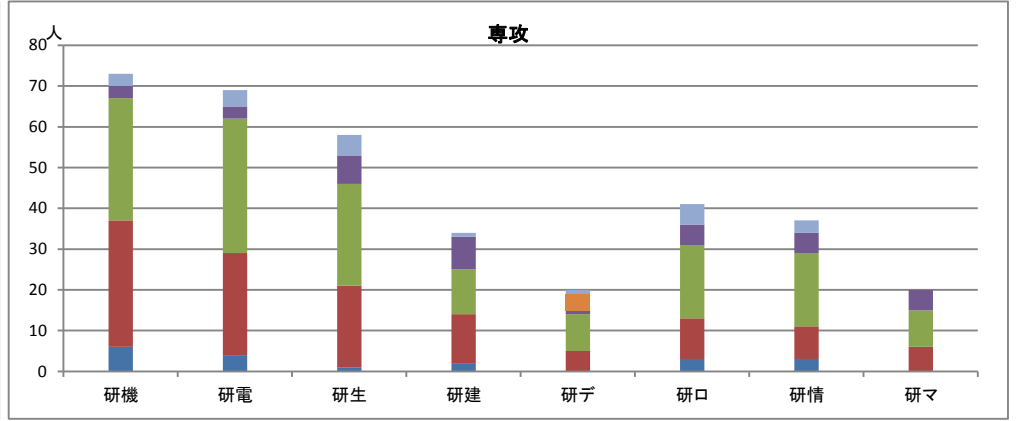
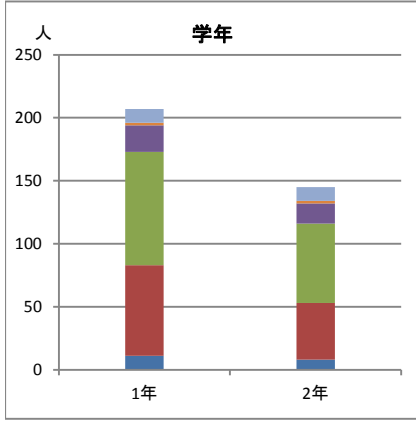
■_10大学院修了までに学会発表を何回行う予定ですか



■_11大学院入学後に、授業・研究や生活面で教員に相談したことはありますか



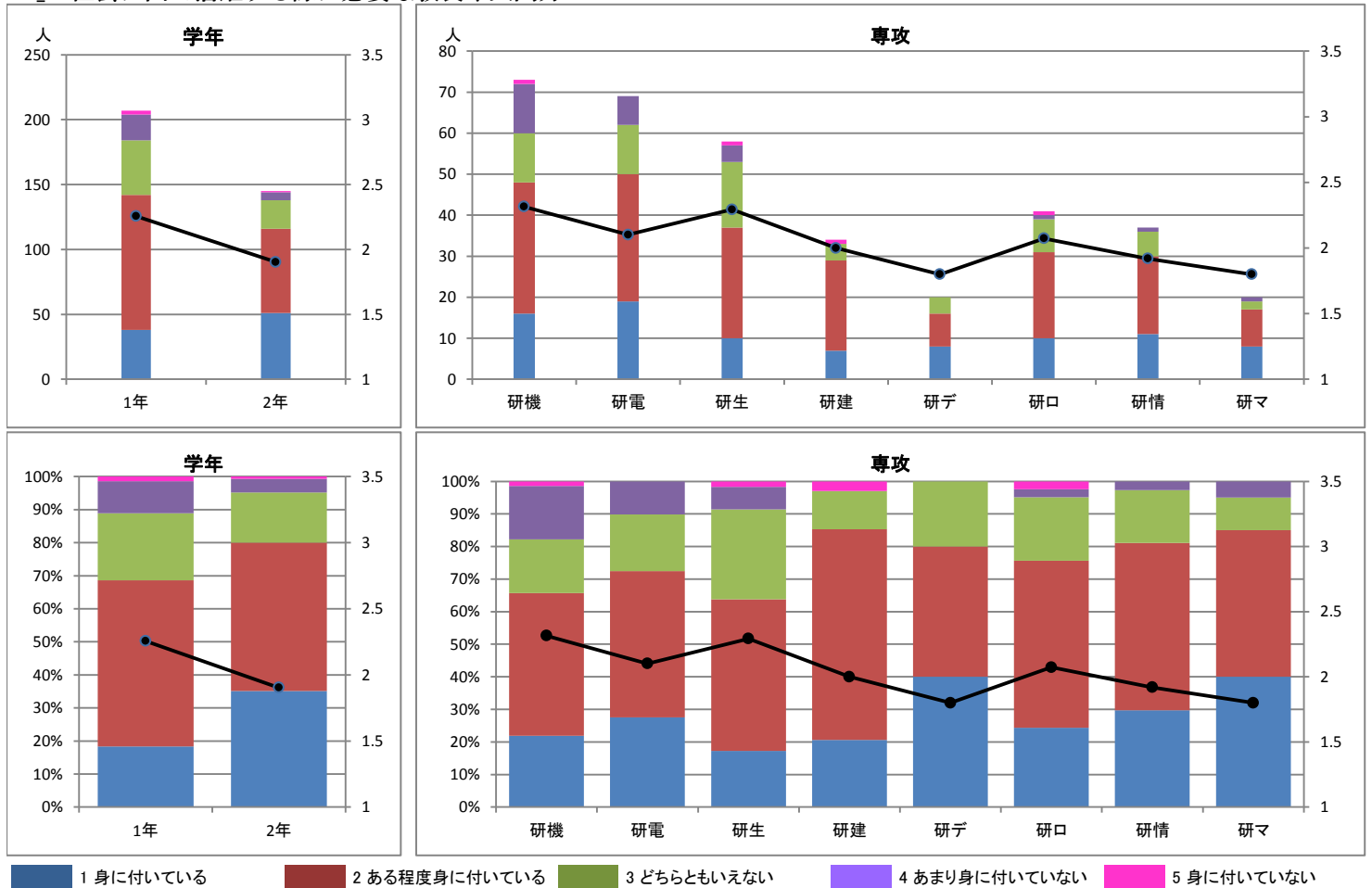
■_12大学から通知やお知らせを得るために最も役に立っている方法は何ですか



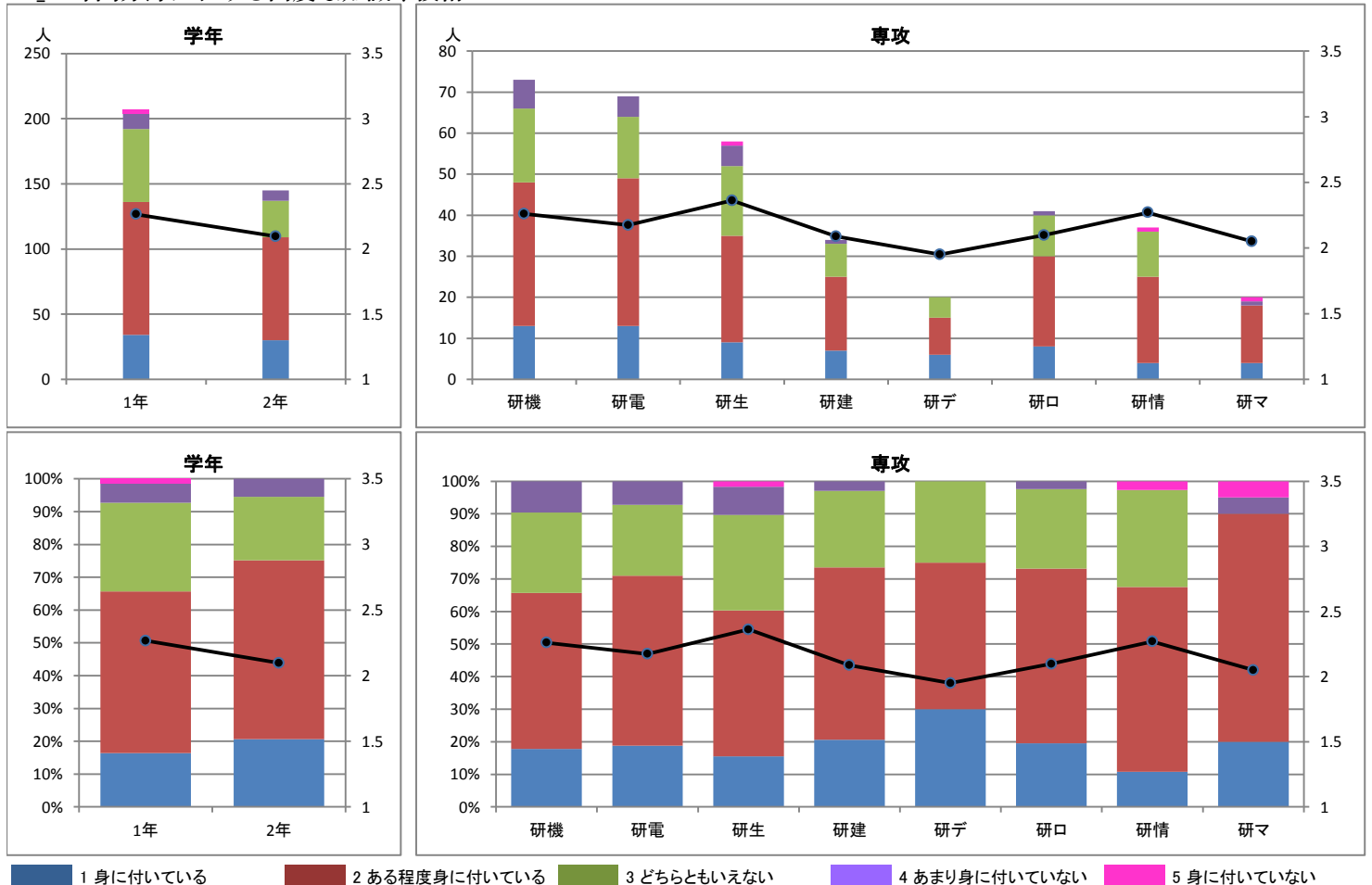
- 1 掲示板
- 2 キャンパスポータル
- 3 キャンパスポータルのメール配信
- 4 友人からのLINE
- 5 友人からのInstagram
- 6 友人からのFacebook
- 7 その他

■以下の6つの要素がどの程度身についていると感じていますか■

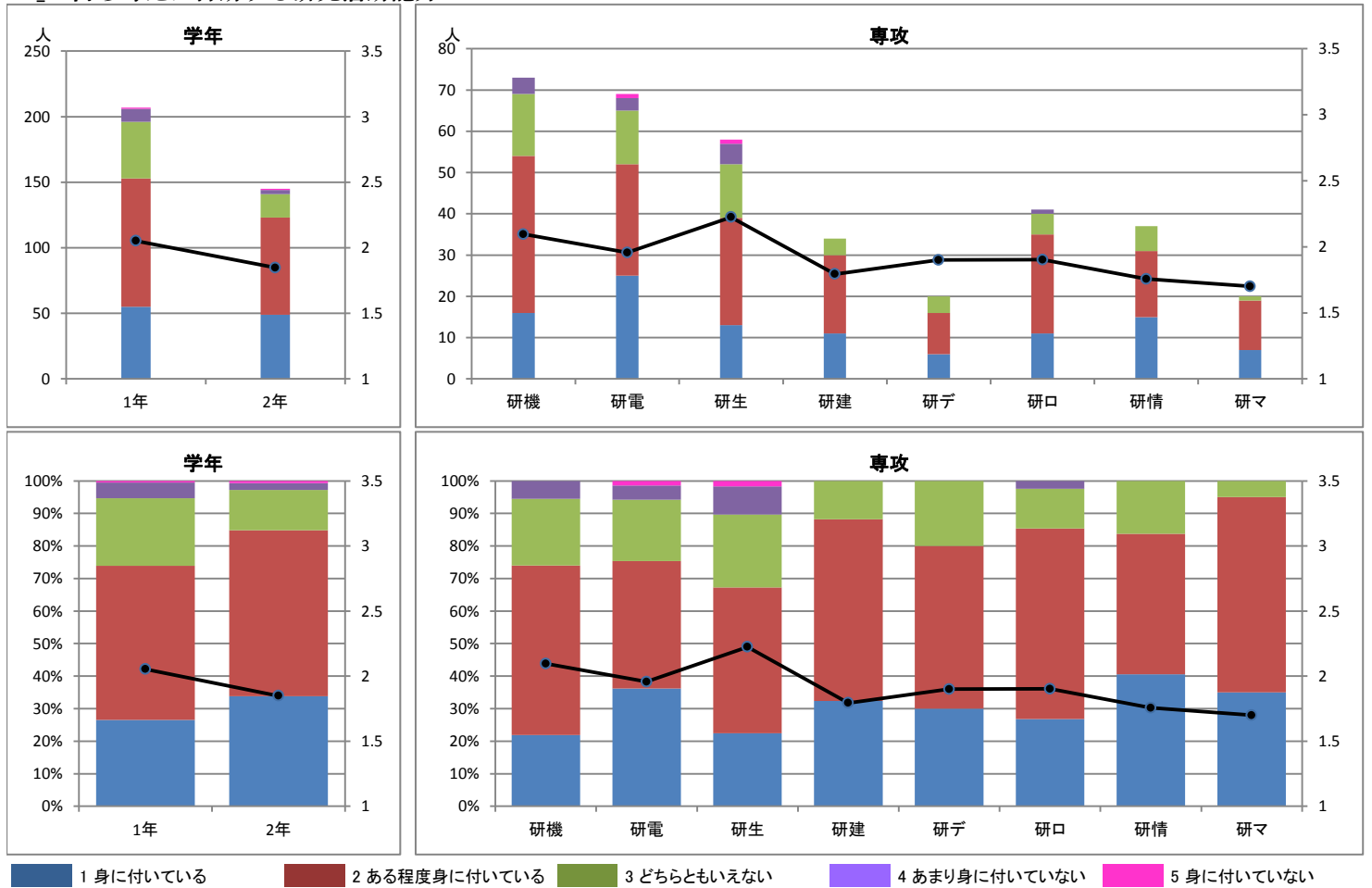
■_14社会に出て活躍するために必要な教養や人間力



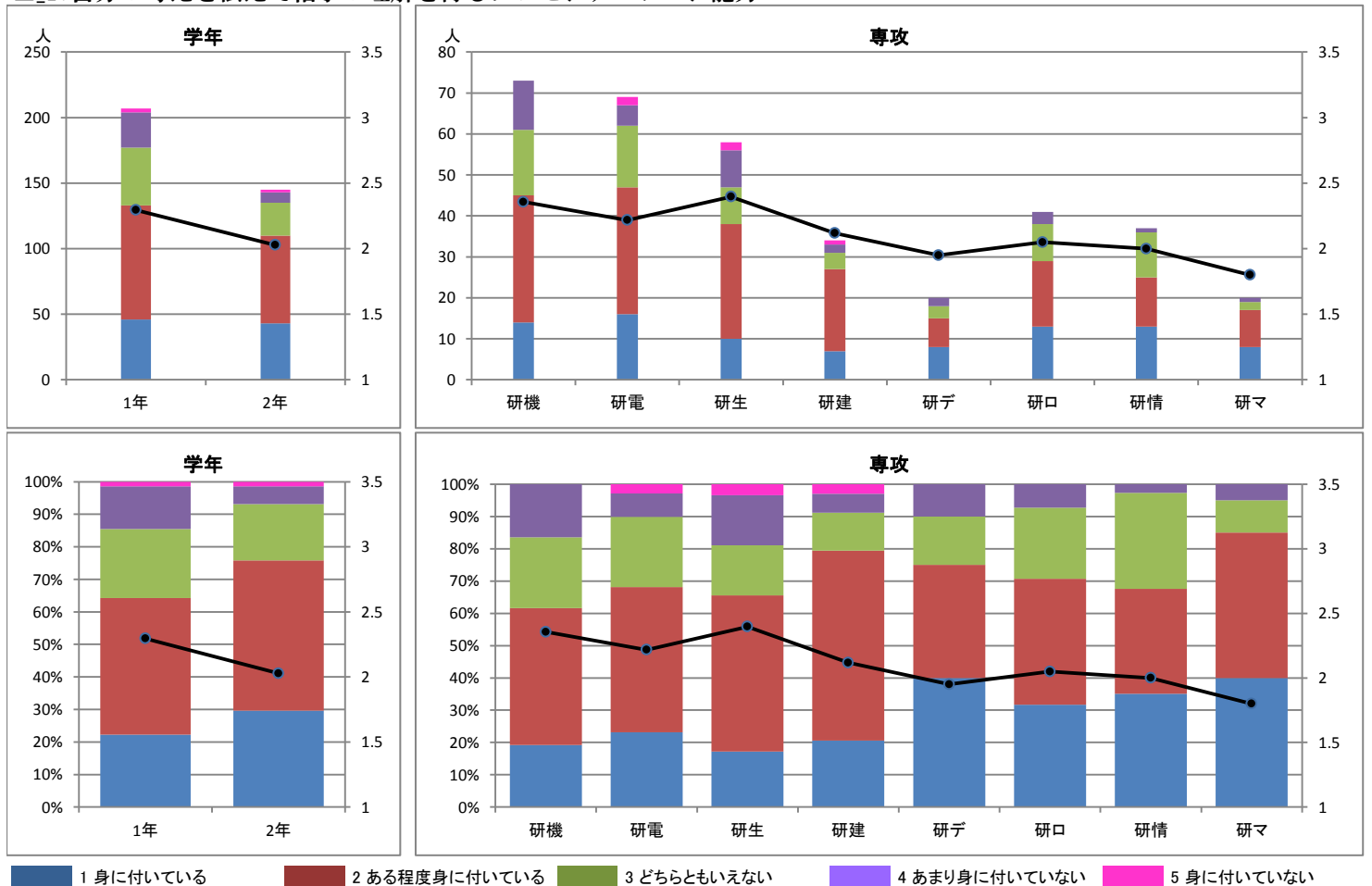
■_15専門分野における高度な知識や技術



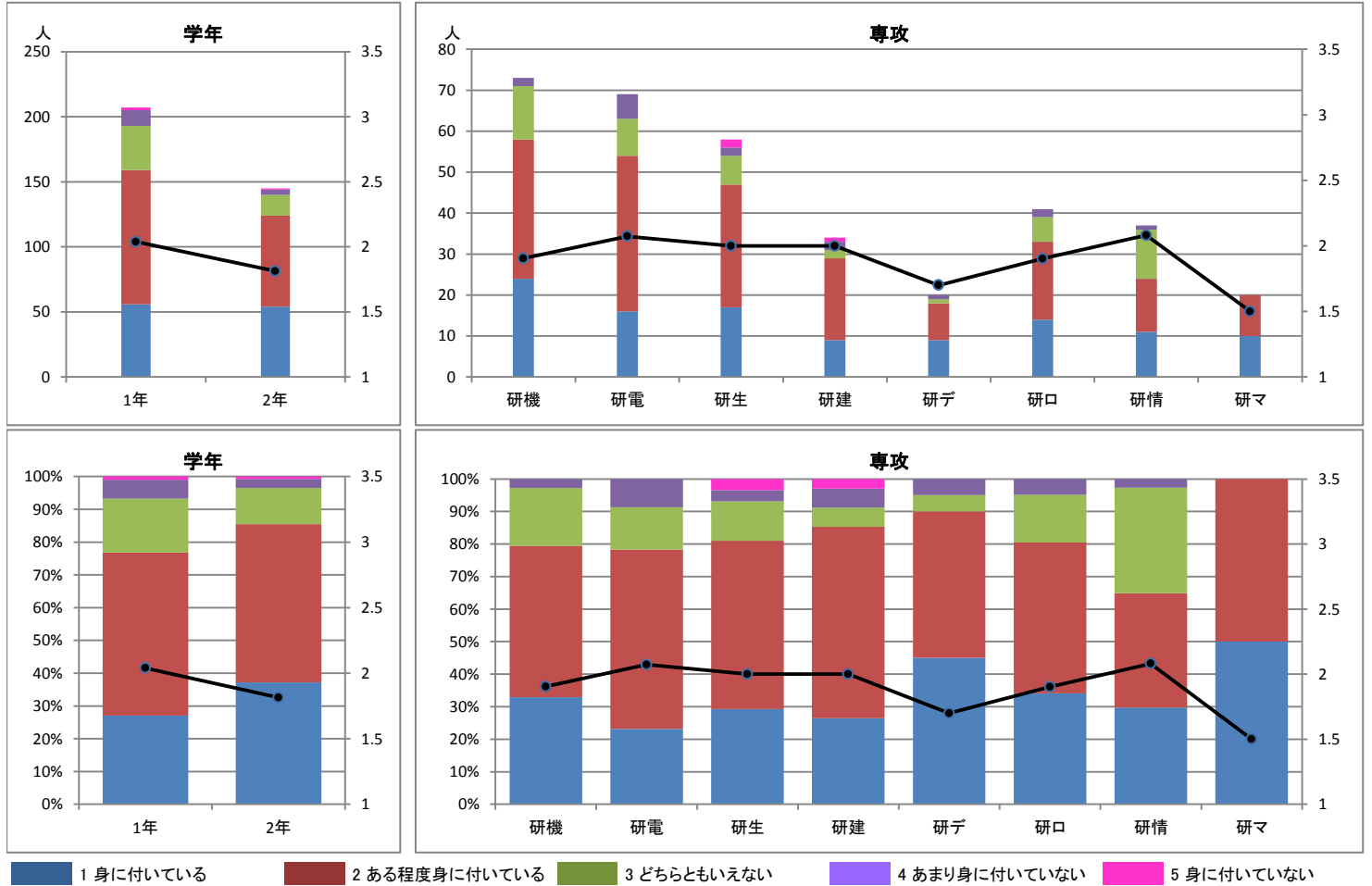
■ 16自ら考え、行動する研究活動能力



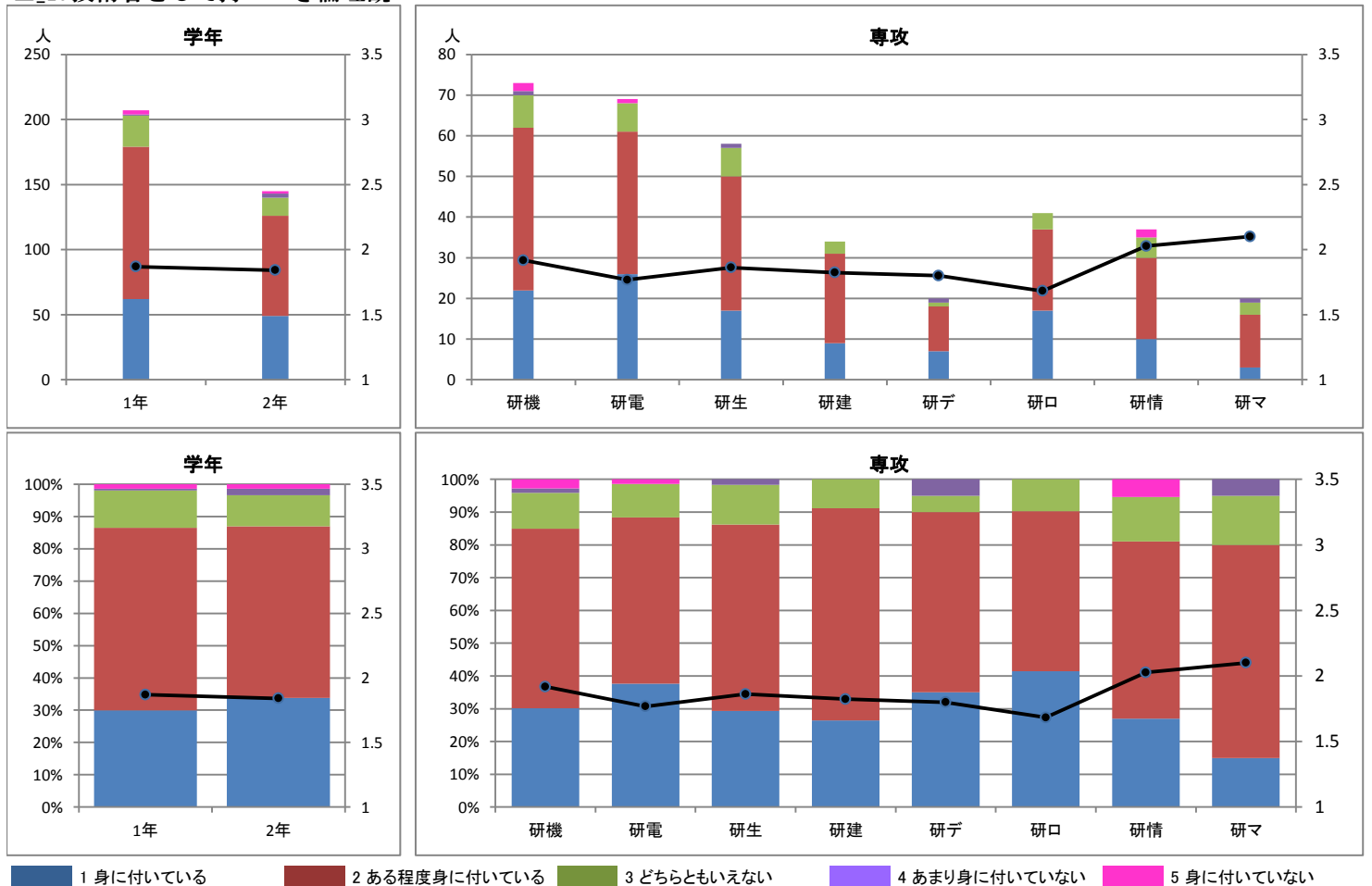
■ 17自分の考えを伝えて相手の理解を得るプレゼンテーション能力



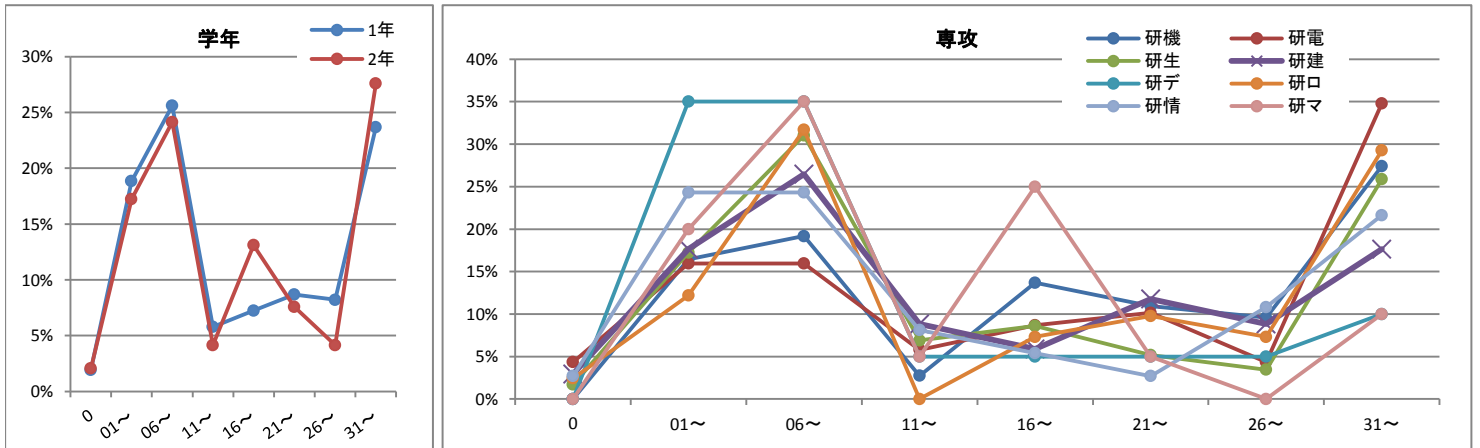
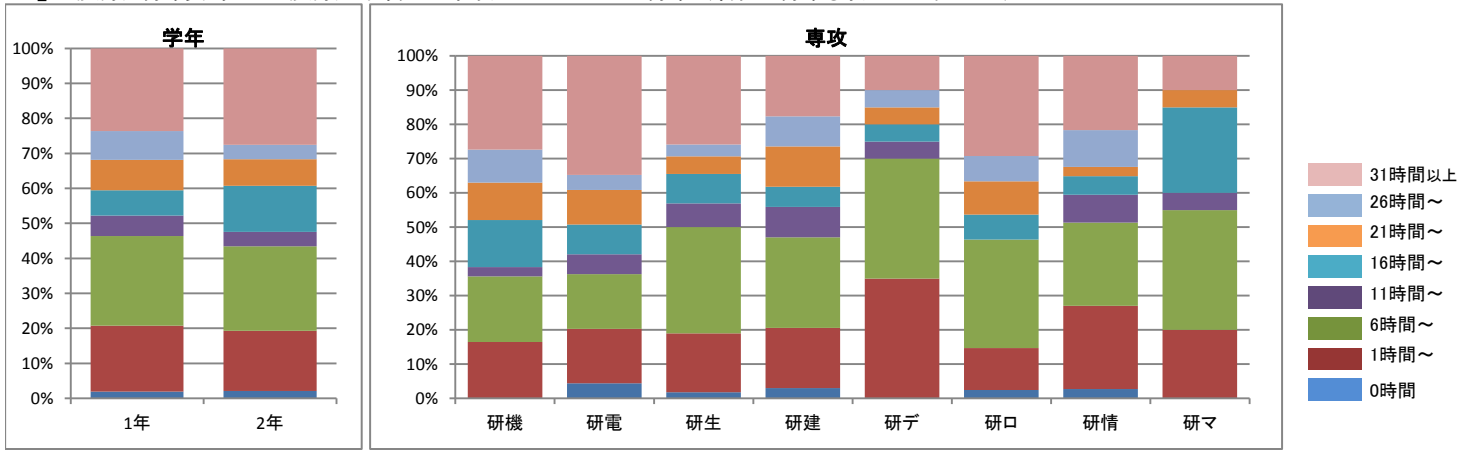
■_18共同作業を通して他者と協力関係を作り上げる能力



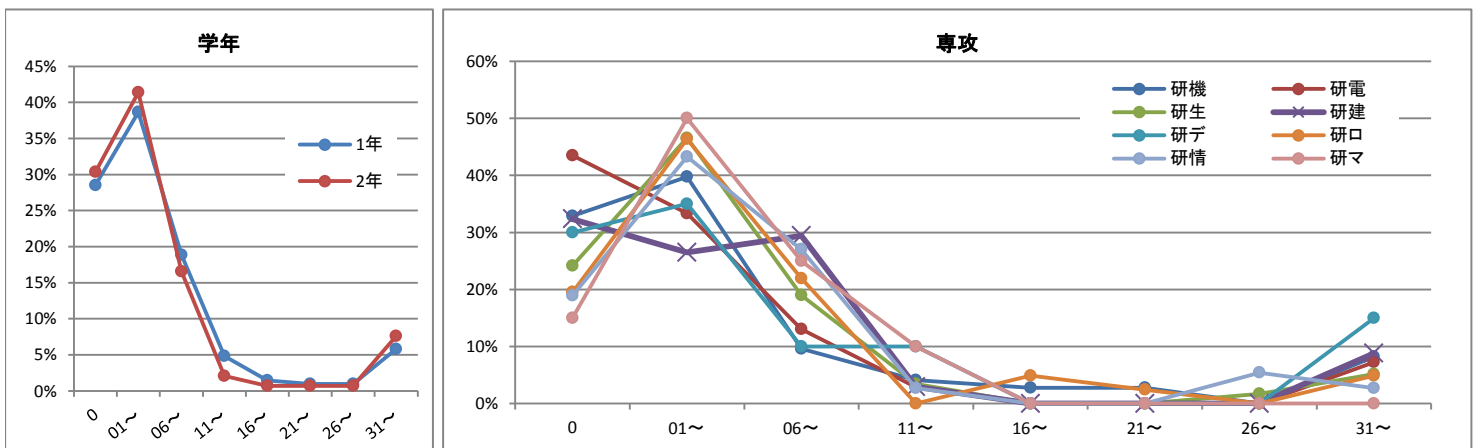
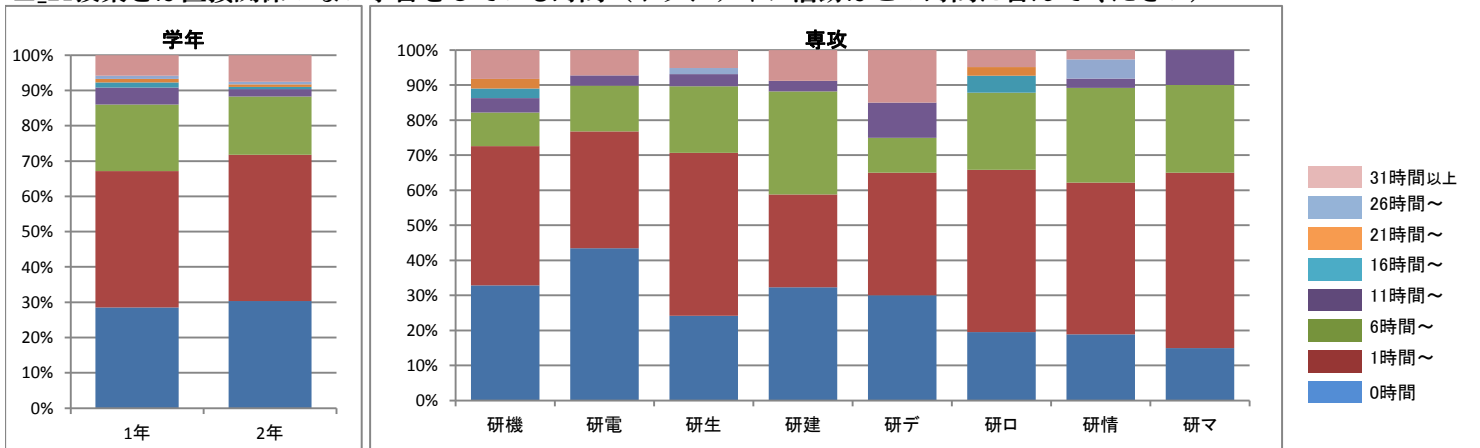
■_19技術者として持つべき倫理観



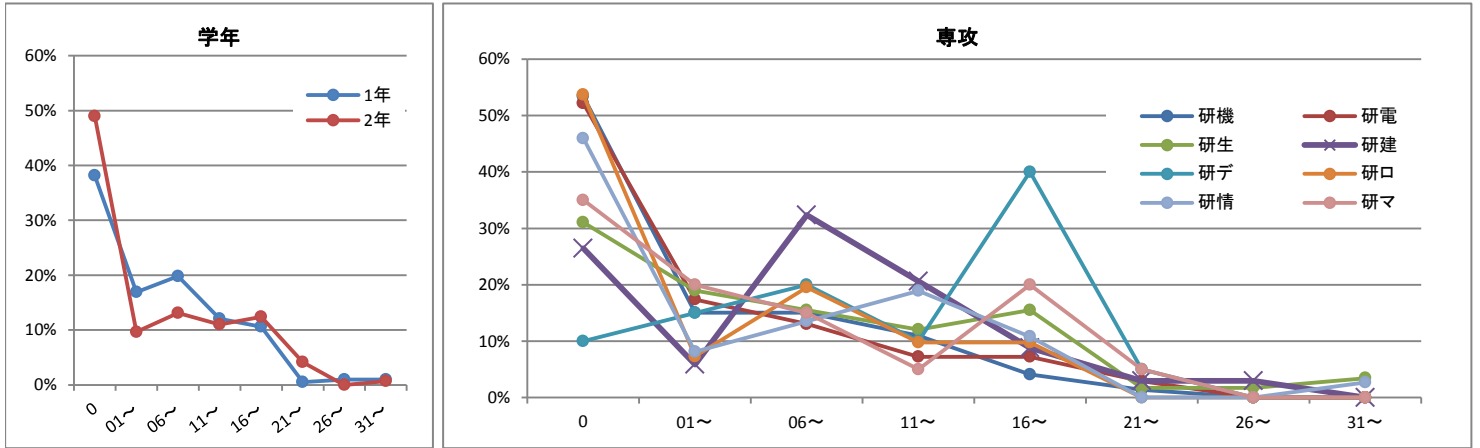
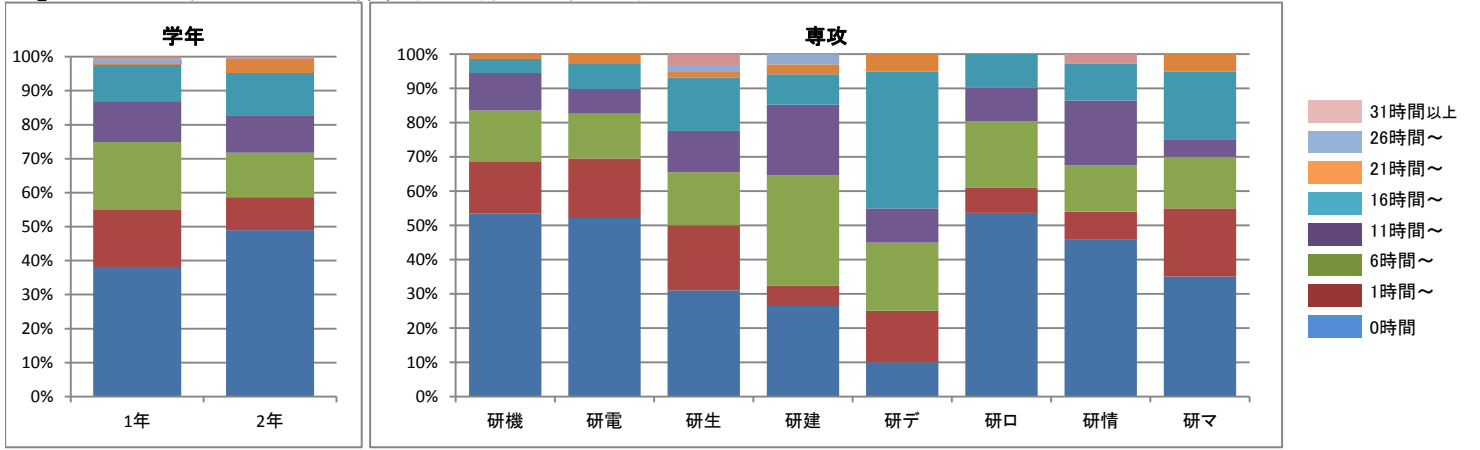
■ 授業期間中で以下の3つの事柄をしている時間は1週間あたり平均何時間ですか■
 ■ 20授業時間以外に、授業に関する学習をしている時間（研究時間も含めて下さい）



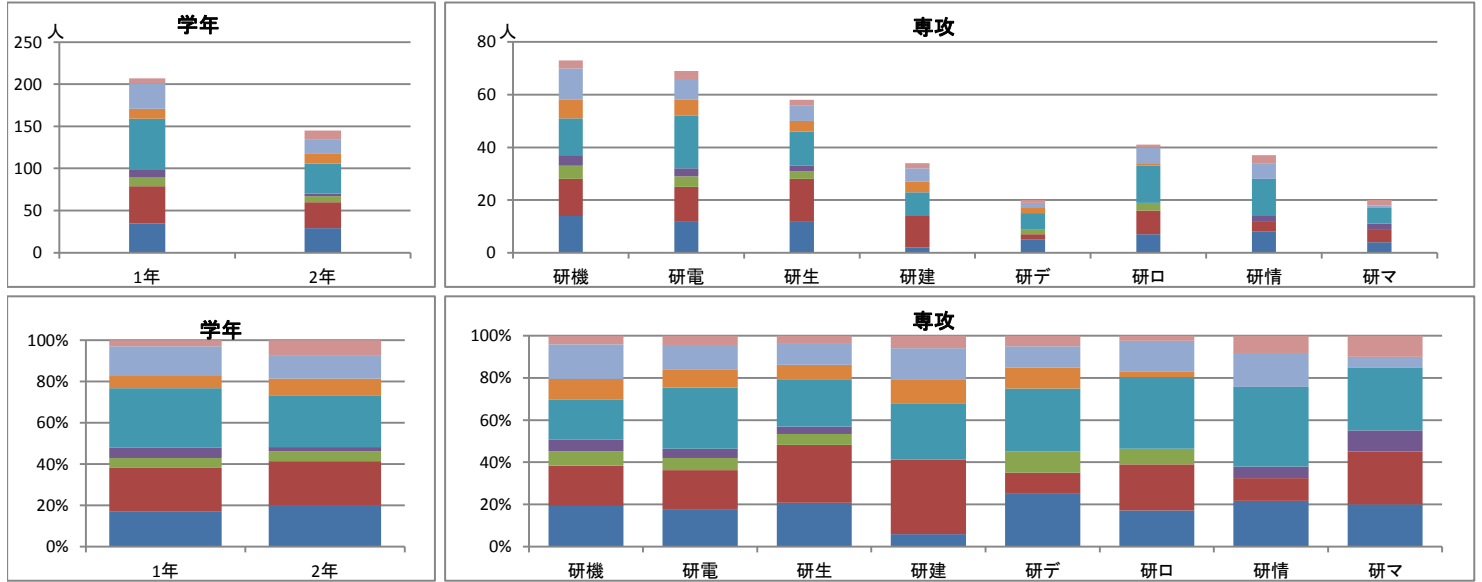
■ 21授業とは直接関係のない学習をしている時間（ボランティア活動はこの時間に含んでください）



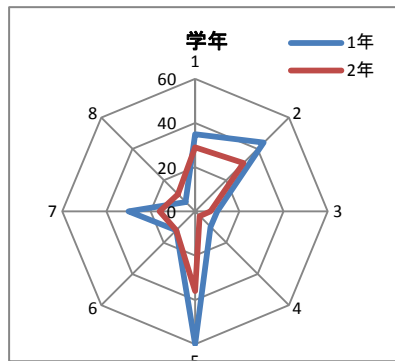
■_22アルバイトをしている時間 (TAは除いて下さい)



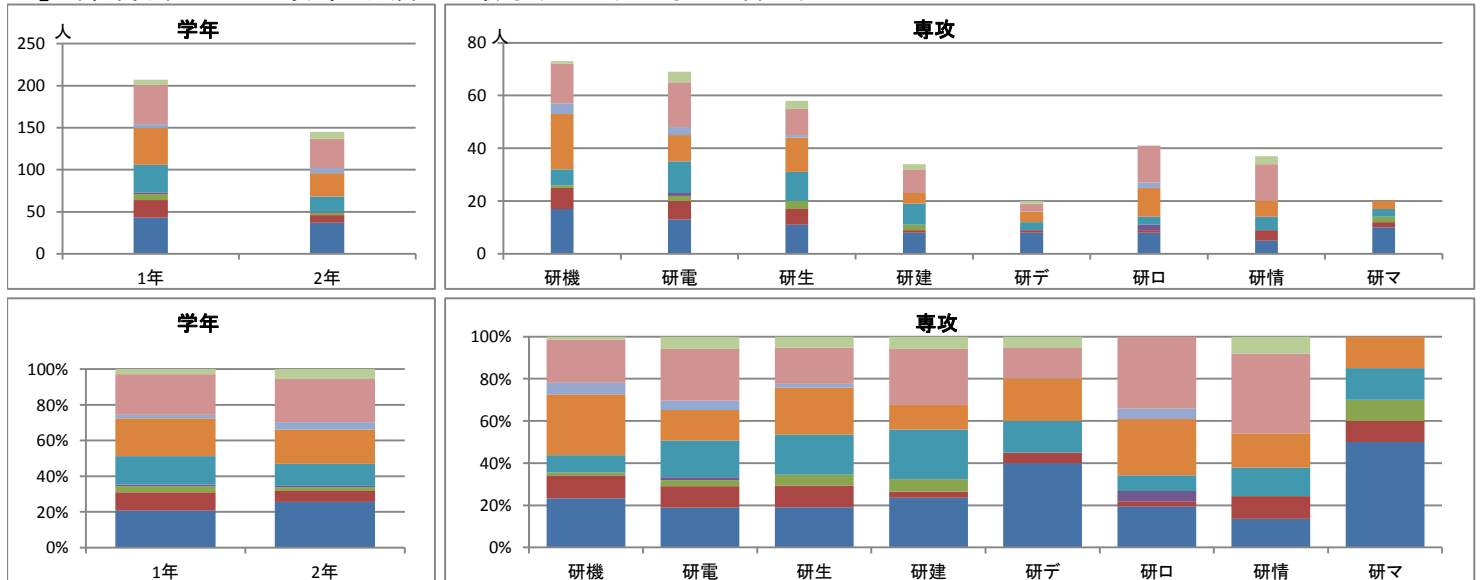
■_23ボランティア活動に対する自身の気持ちに最も当てはまるものは何ですか



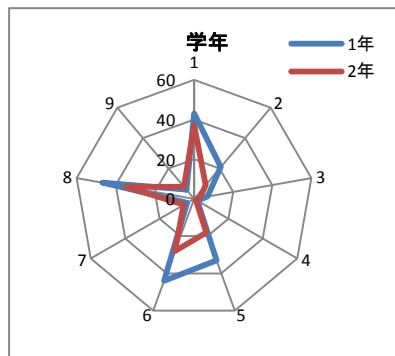
- 1.誰かの役に立ちたいという気持ちから参加したい/参加した
- 2.社会勉強の1つとして参加したい/参加した
- 3.新しい出会いのために参加したい/参加した
- 4.就職に役立つと思うから参加したい/参加した
- 5.ボランティアに興味がない
- 6.参加の仕方が分からない
- 7.無給だから参加しない
- 8.その他



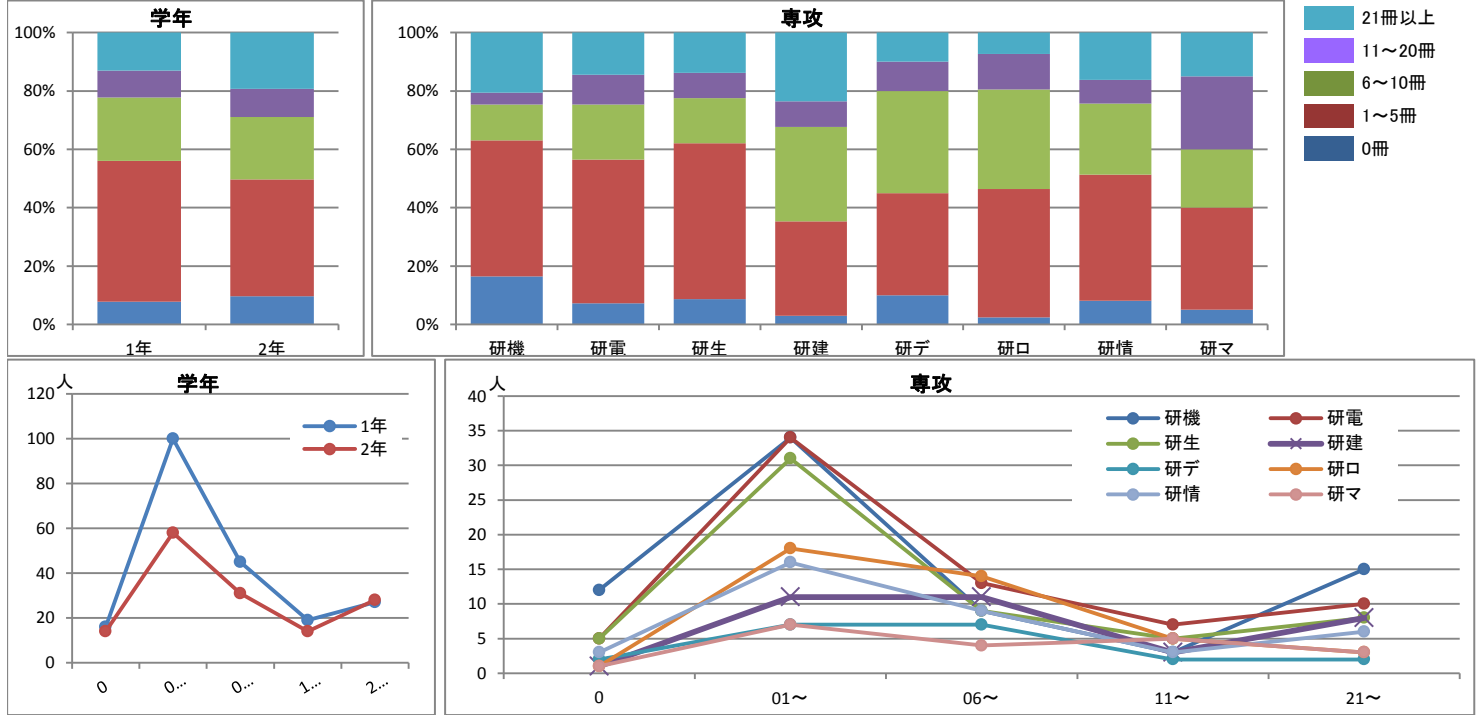
■_24海外留学について自身の気持ちに最もあてはまるものは何ですか



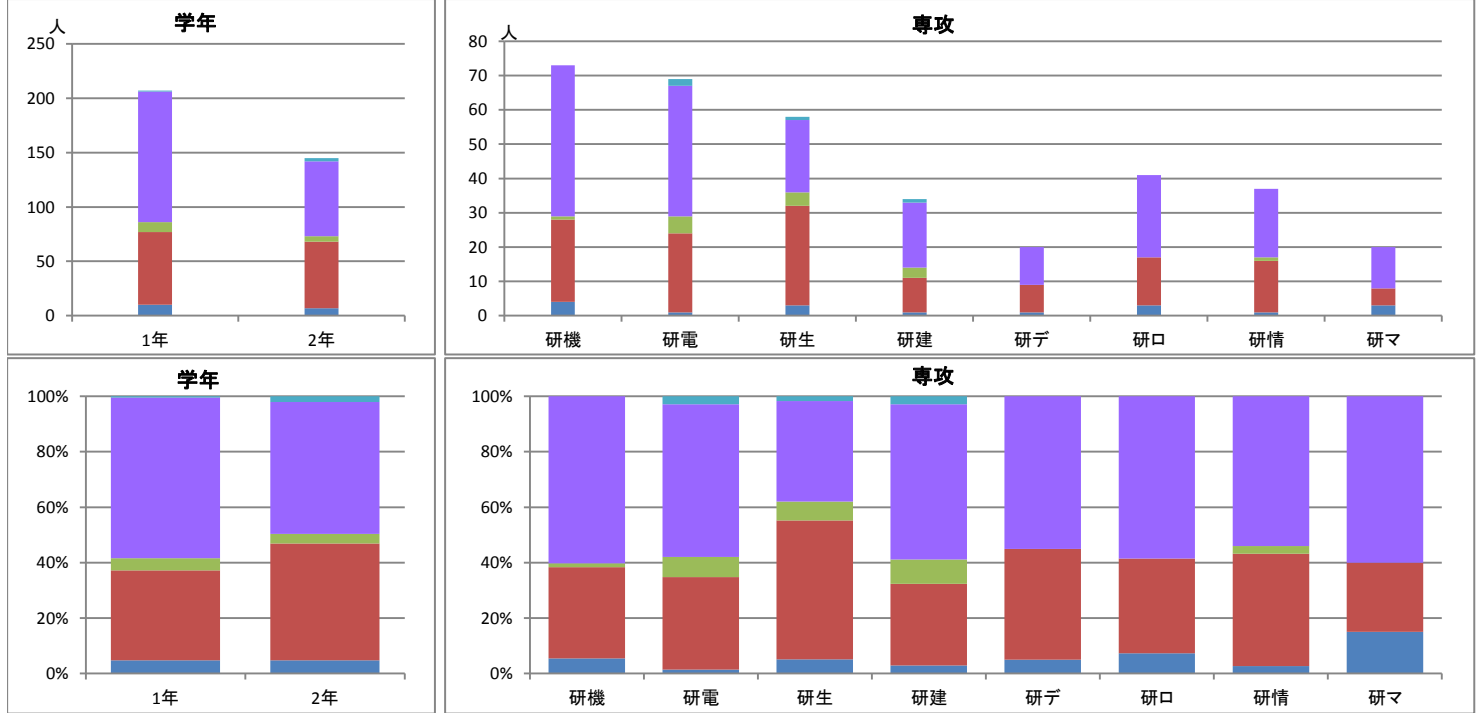
- 1 自身の見聞を広めるために留学したい/留学した
- 2 外国語を学ぶために留学したい/留学した
- 3 就職してから必要と感じているため留学したい/留学した
- 4 親に勧められているため留学したい/留学した
- 5 留学したいが経済的に余裕がない
- 6 留学したいが語学力が不安
- 7 留学したいが社会情勢や治安が不安
- 8 留学したくない
- 9 その他



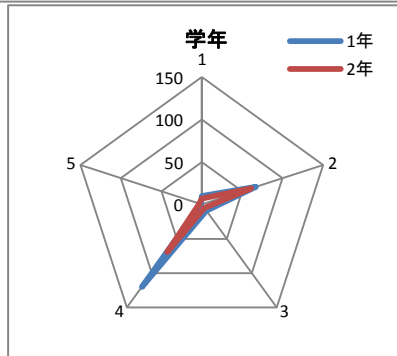
■_25最近1年間に書籍（雑誌は除く）など、何冊読みましたか



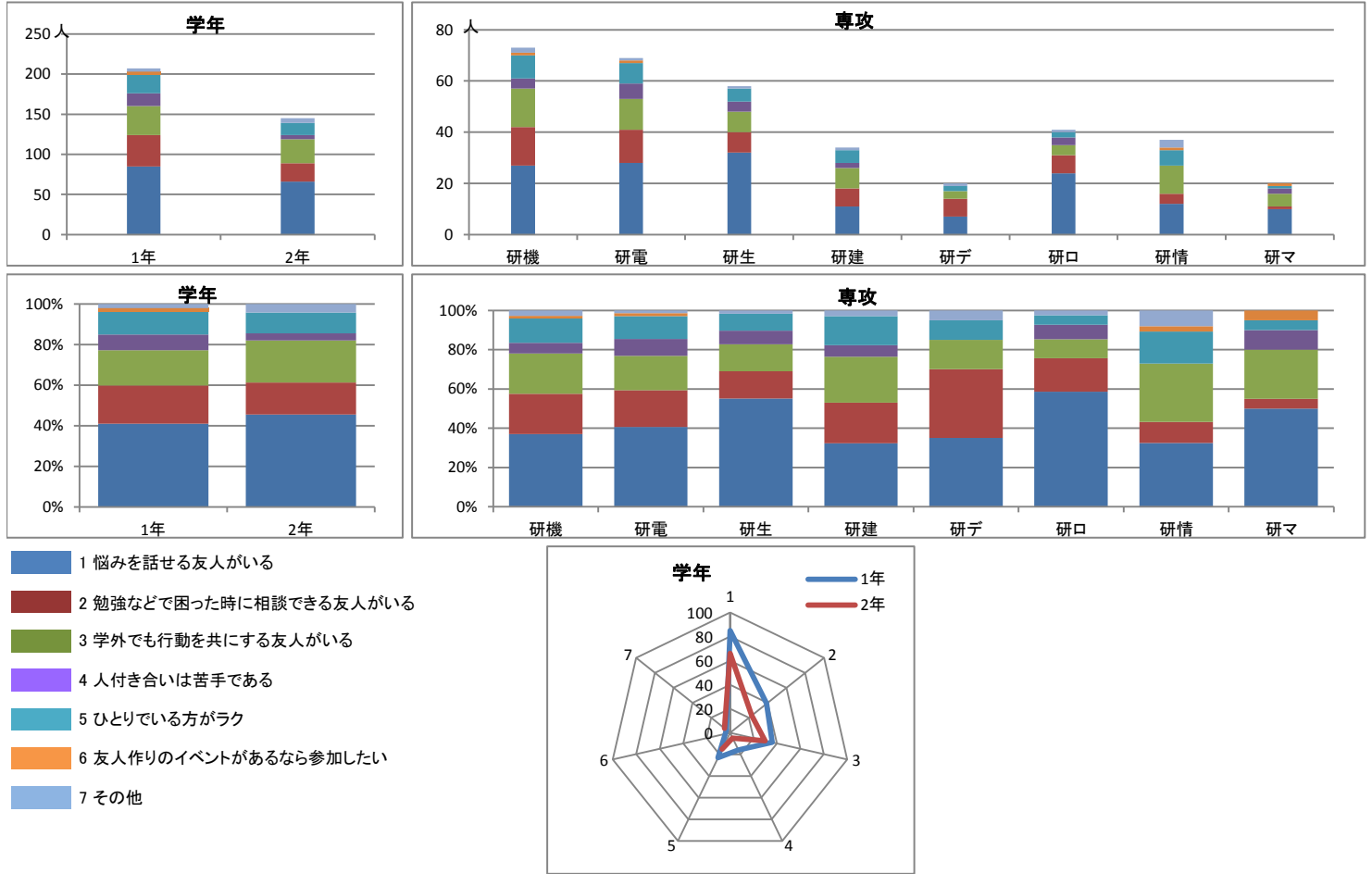
■_26奨学金制度を利用していますか



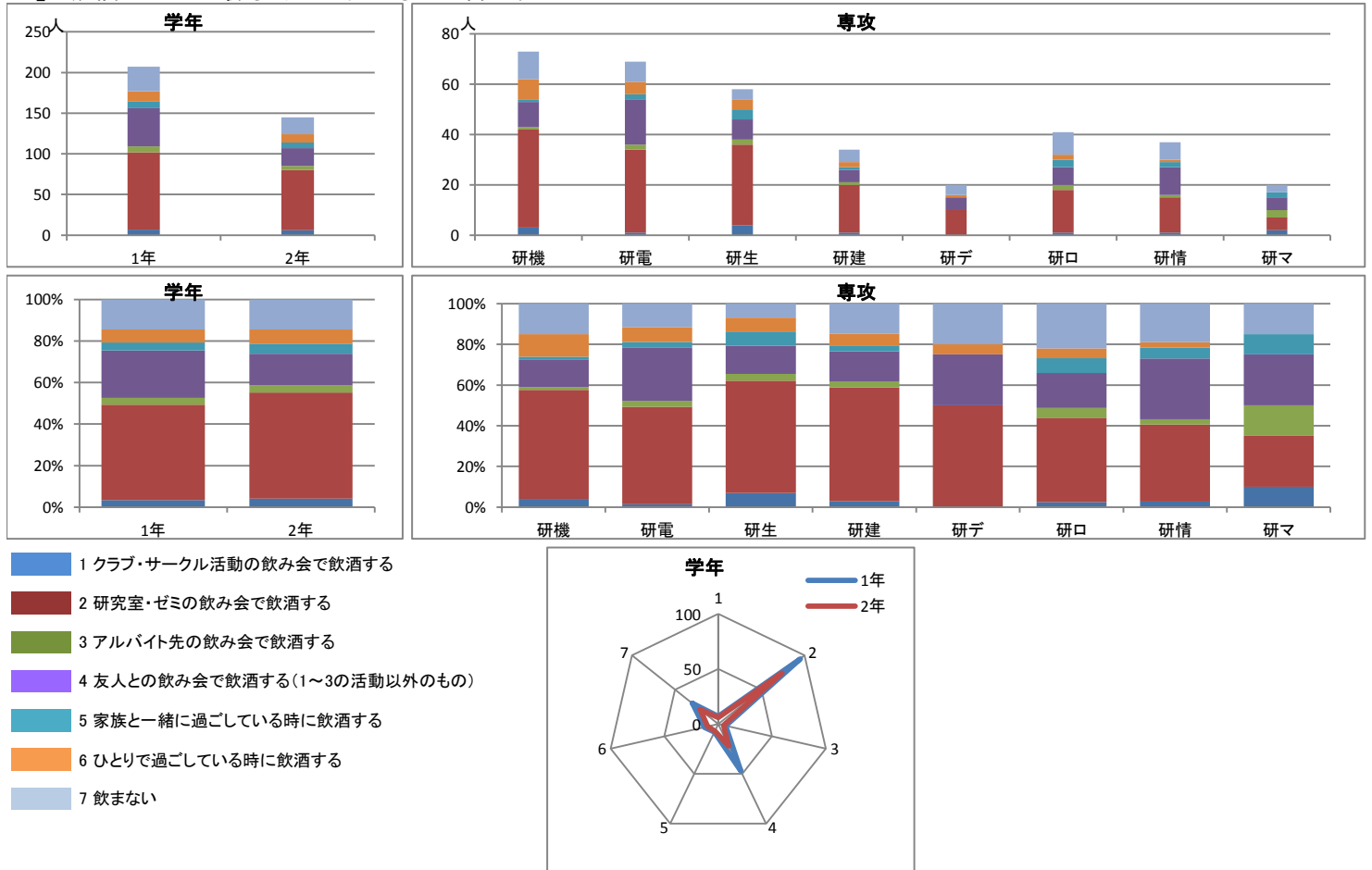
- 1 給付型(返済義務なし)奨学金を利用している
- 2 貸与型(返済義務あり)奨学金を利用している
- 3 給付型も貸与型も両方利用している
- 4 利用していない
- 5 利用しているかどうか分からない



■_27「友人」について最もあてはまるものを選んでください

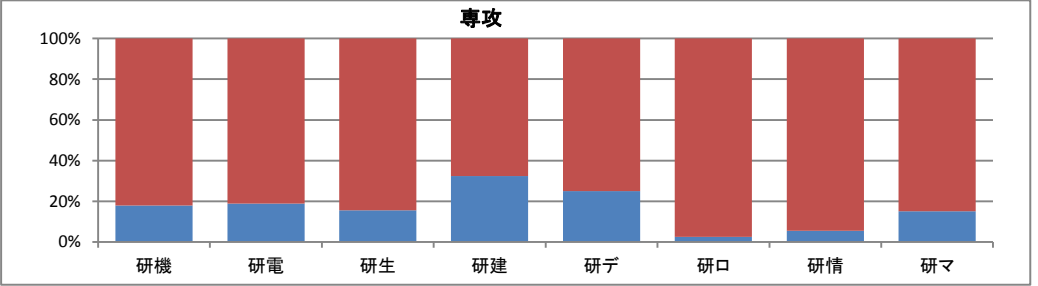
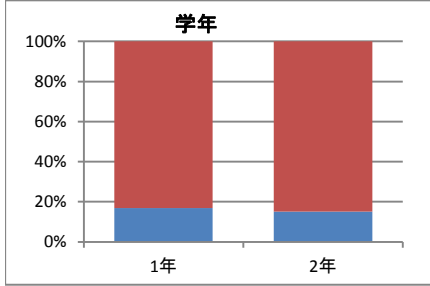
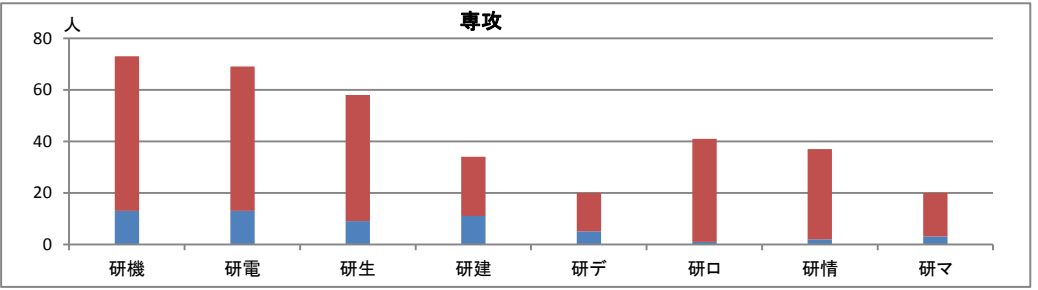
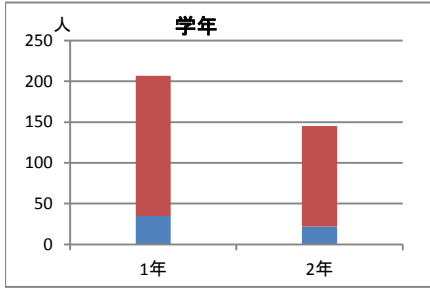


■_28飲酒について最も当てはまるものは何ですか

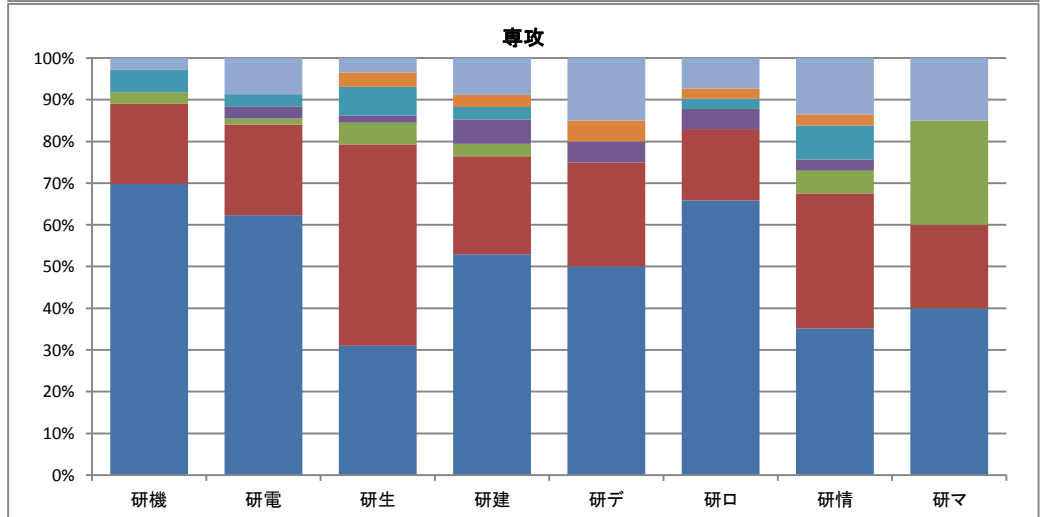
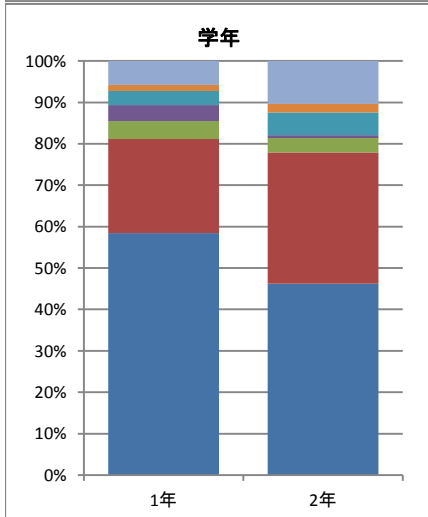
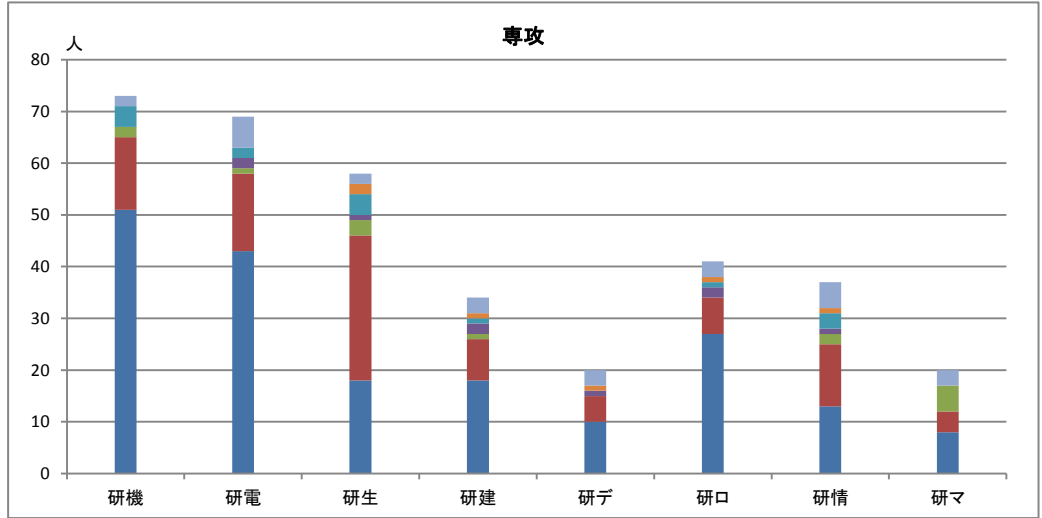
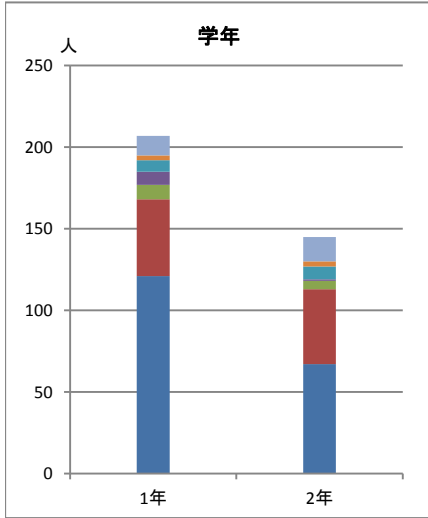


■_29あなたは喫煙しますか

1 はい 2 いいえ

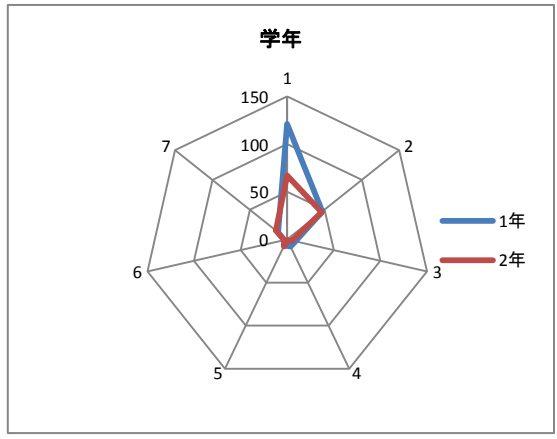


■_33将来就職するにあたって、どのような就職先を考えていますか

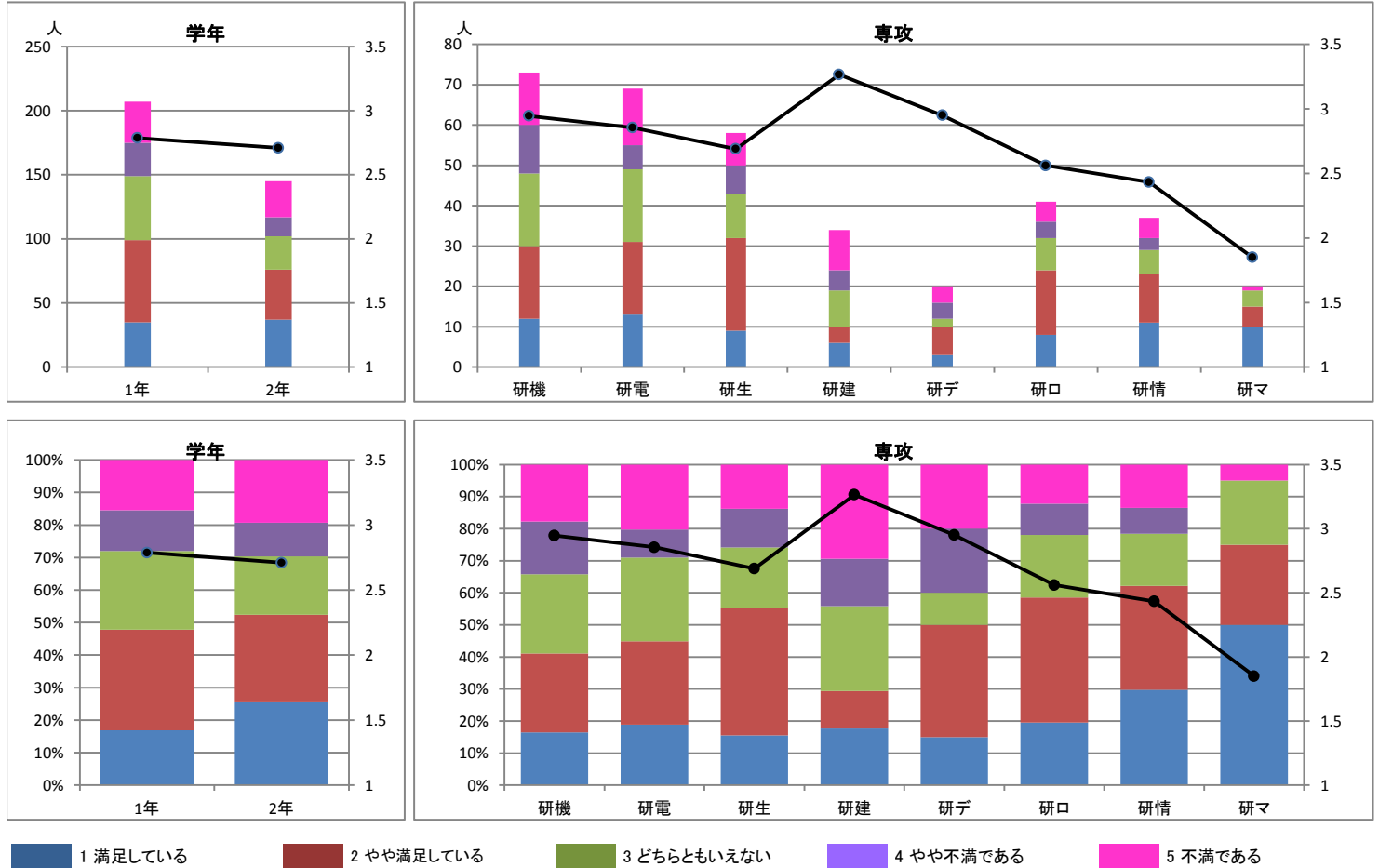


- 1 大手・上場企業への就職
- 2 中小企業への就職
- 3 外資系企業への就職
- 4 ヘンチャー企業への就職
- 5 公務員・教員への就職
- 6 起業
- 7 その他

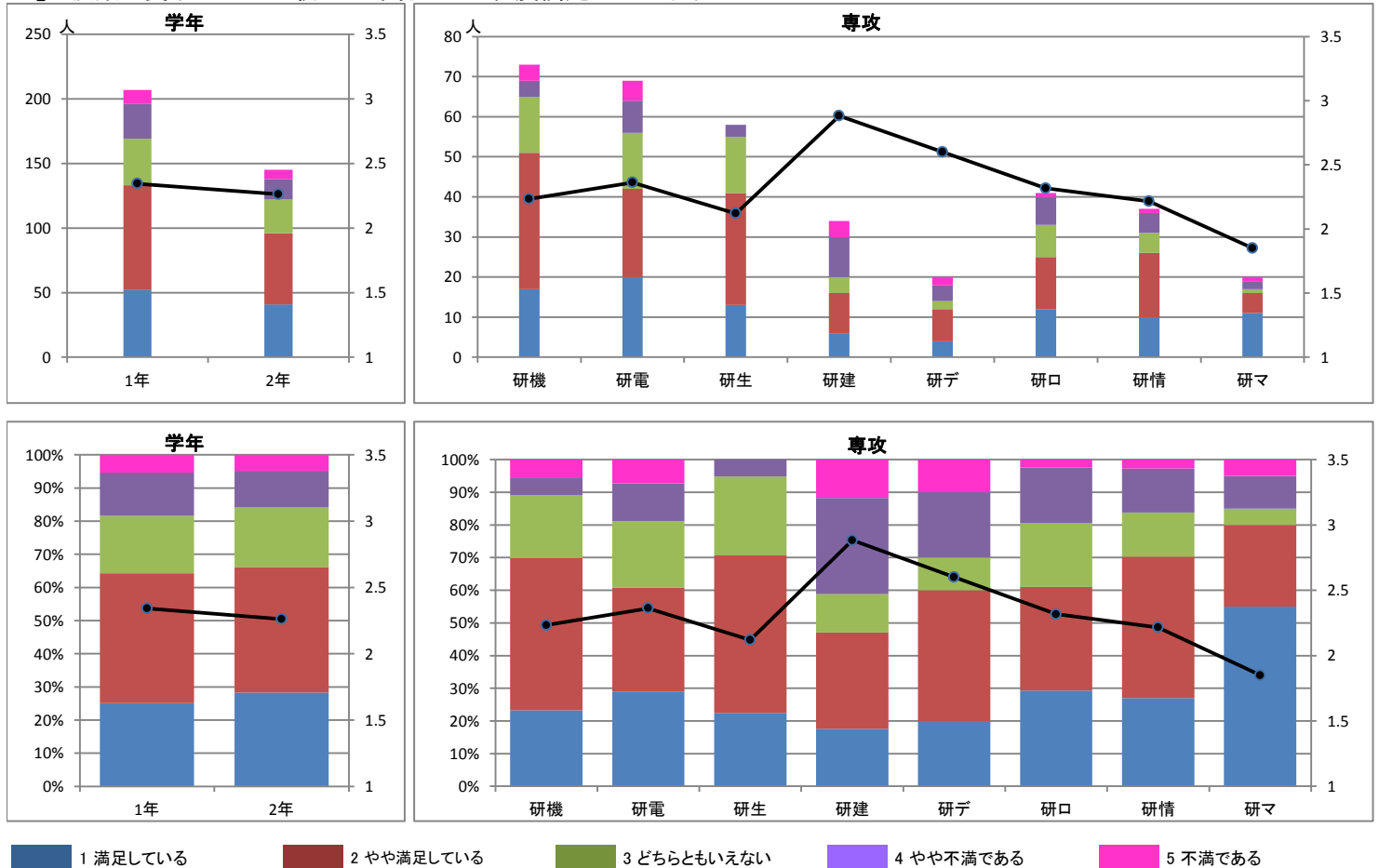
- 1 大手・上場企業への就職を考えている
- 2 中小企業への就職を考えている
- 3 外資系企業への就職を考えている
- 4 ヘンチャー企業への就職を考えている
- 5 公務員・教員への就職を考えている
- 6 起業を考えている
- 7 その他



■_35本学の事務スタッフの対応についてどの程度満足していますか



■_36授業を受ける上で、教室の環境にどの程度満足していますか



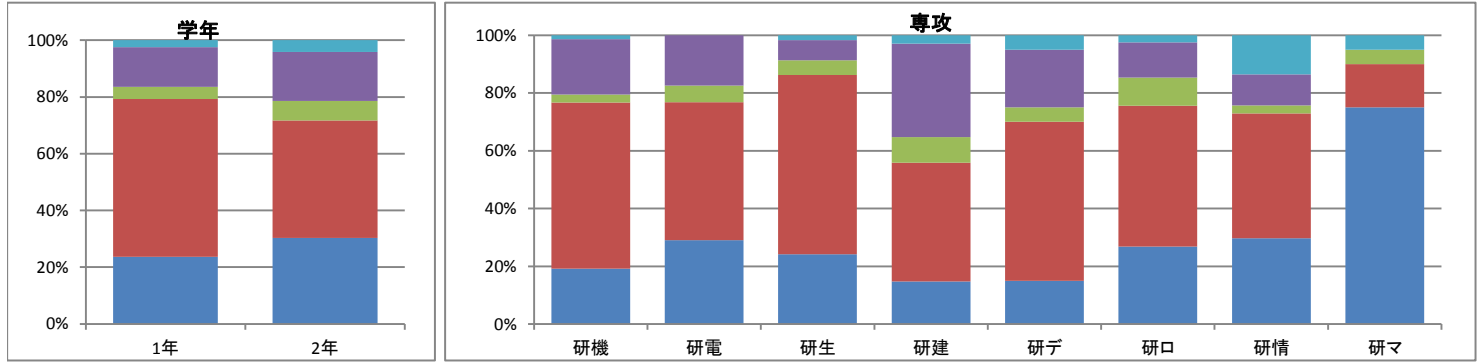
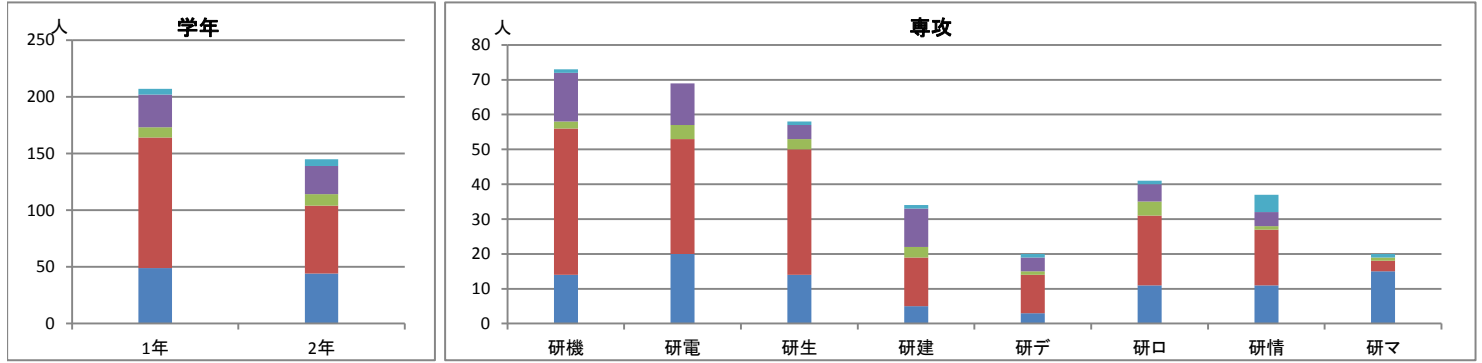
■_37研究の設備や機器についてどの程度満足していますか



■_38図書館全般についてどの程度満足していますか

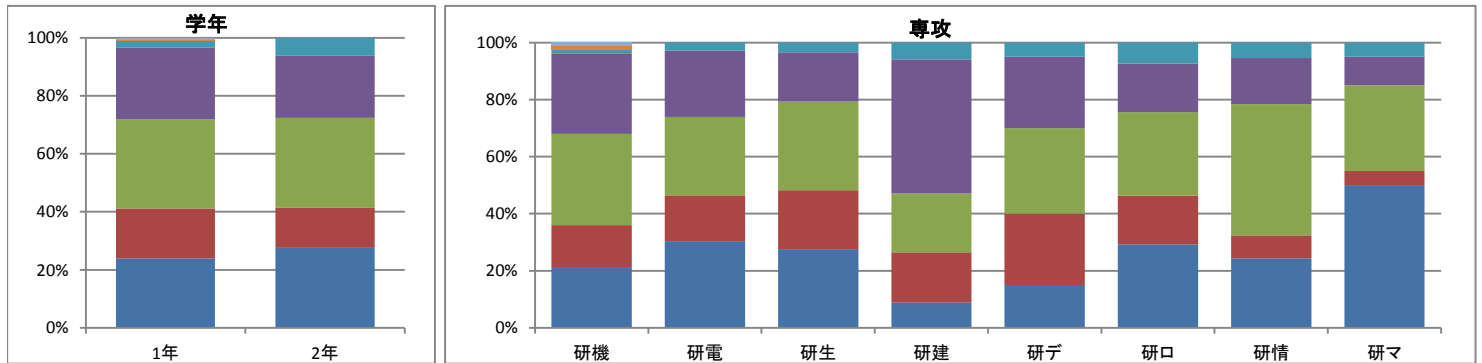
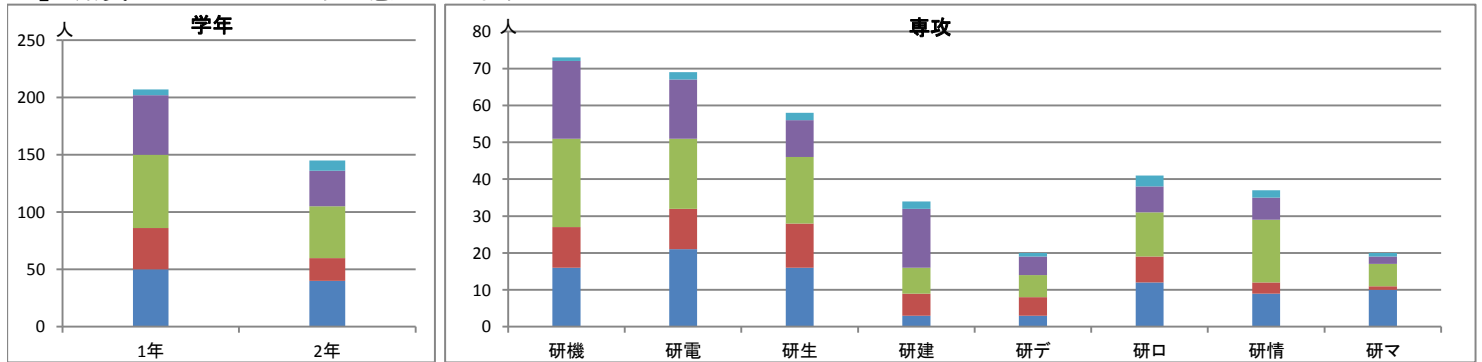


■_39学生食堂についてどのように感じていますか

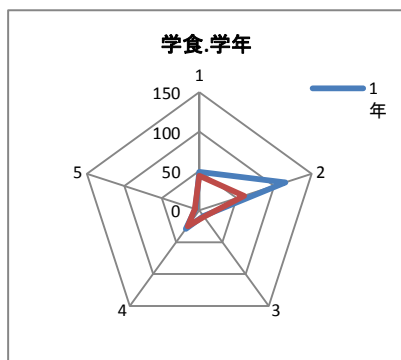


1 価格・メニューともに満足している 2 価格には満足している 3 メニューには満足している 4 不満足である 5 利用したことがない

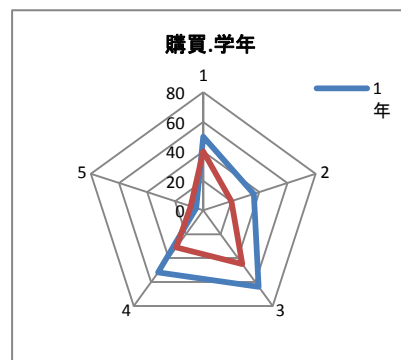
■_40購買についてどのように感じていますか



1 品揃え・価格ともに満足している 2 価格には満足している 3 品揃えには満足している 4 不満足である 5 利用したことがない



1 価格・メニューともに満足している
2 価格には満足している
3 メニューには満足している
4 不満足である
5 利用したことがない



1 品揃え・価格ともに満足している
2 価格には満足している
3 品揃えには満足している
4 不満足である
5 利用したことがない